

めむろ未来学

3/3 年次報告

「次代に輝く 芽室の人」を育む



芽室町教育研究所

目 次

I	（再掲）はじめに ～めむろ未来学とは～……………	I
II	芽室小・芽室中エリア ……………	II
	○検証授業のまとめ 芽室小学校	
	○検証授業のまとめ 芽室中学校	
	○令和5年度全体計画 芽室小・芽室中編	
	○単元計画（追加分）	
III	芽室南小・芽室中エリア ……………	III
	○検証授業のまとめ 芽室南小学校	
	○令和5年度全体計画 芽室南小・芽室中編	
	○単元計画（追加分）	
IV	上美生小・上美生中エリア ……………	IV
	○検証授業のまとめ 上美生小学校	
	○検証授業のまとめ 上美生中学校	
	○令和5年度全体計画 上美生小・上美生中編	
	○単元計画（追加分）	
V	芽室西小・芽室西中エリア ……………	V
	○検証授業のまとめ 芽室西小学校	
	○検証授業のまとめ 芽室中西学校	
	○令和5年度全体計画 芽室小・芽室中編	
	○単元計画（追加分）	
VI	担当者	
VII	編集後記	

I はじめに（再掲）

秀麗な日高山脈を背に十勝平野の中央で大自然の懷に抱かれたまち、めむろ。基幹産業である農業は道内有数の生産量を誇り、豊富な地場資源を活用した食料品製造業や関連産業とともに栄えてきました。

しかしながら今後は、出生率の低下や家族構成の変化による人口減が見込まれ、人々の生活様式や産業形態も大きく変化すると予想されています。

我がまちめむろを、持続可能なまちとしてつなぐ人材を育てるために、『心豊かで「次代に輝く芽室の人」を地域全体で育む』教育大綱の基本理念のもと、「みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ」の創り手となる児童生徒を育む学びとして、めむろ未来学をすすめるものです。

～めむろ未来学とは～

ふるさとめむろの未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを
町内の全小・中学校で取り組むための教育課程及び学びのスタイル

- ・探究＝ものごとを深く掘り下げながら課題を追究する
- ・提案＝追究した新たなアイディアを相互に交わしまとめる
- ・発信＝持続可能なまちのため内外の様々な方々に向けて発する

～めむろ未来学が目指す子どもの姿～

めむろの魅力を探究し 提案や発信していく活動を通して
ふるさとに愛着と誇りをもち 未来を創ることのできる児童・生徒

学校と地域が協働し、様々な教育活動をすすめます

- 地域を素材や題材にした各教科の授業構築
- 農業指導員やJAめむろの協力による食農体験
- 栄養教諭による食育指導や給食指導
- 認知症サポーター講座や高齢者疑似体験
- 町長や教育長をはじめ町内有識者の講話や談義
- 町内事業所を訪問しての職場体験や社会見学
- 氷灯夜など町内イベントへの出品出展や参加
- 地域を題材にした作品作り など

II 芽室小・芽室中エリア

○検証授業のまとめ・・・・・・・・・・芽室小学校

「大好き芽室プロジェクト」

○検証授業のまとめ・・・・・・・・・・芽室中学校

「新嵐山を散策して芽室町の観光を提案しよう」

○「めむろ未来学」全体計画 芽室小・芽室中編

○単元計画（追録）

小	学校のことを つたえあおう	1年	国語
	芽室の季節となかよし	1年	生活
	まちはたからばこ	2年	生活
	ながいながいつうがくろ～私たちの町～	2年	道徳
	わたしたちのまち「芽室」	3年	総合
	芽室の自然を探検しよう	3年	総合
	自然災害からくらしを守る	4年	総合
	大好き芽室プロジェクト	4年	総合
	「まちじまん」をすいせんしよう	5年	国語
	バランスの良い食事をしよう	5年	家庭
	地域の防災について話し合おう	6年	国語
	よりよい未来を創る～先人の努力から学ぶ～	6年	道徳
中	芽室の魅力再発見！～芽室の観光を提案しよう～	1年	総合
	25歳の自分～高校や職業から将来を考えよう～	1年	総合
	郷育「ぼくのふるさと」	1年	道徳
	郷育「地域学習・宿泊学習」	2年	総合
	夢育「進路学習」	2年	総合
	郷育「心でいただく伝統の味」	2年	道徳
	郷育「国際理解」	3年	総合
	郷育「地域学習・修学旅行」	3年	総合
	郷育「島唄の心を伝えたい」	3年	道徳

「めむろ未来学」全体計画（令和5年度）

芽室小・芽室中編

めむろ未来学は、ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを、小・中9ヶ年ですすめるものです

		夢育関連の単元		郷育関連の単元									
		小学校第1学年	小学校第2学年	小学校第3学年	小学校第4学年	小学校第5学年	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年			
単元（題材）名	教科	国語 英語	学校のことを伝えよう (国語)1月	町の「すてき」をつたえ ます(国語)9月	クラスの「生き物ブック」を作 ろう(国語)6月	リーフレットで知らせよ う(国語)6月	伝わるように構成を考え よう(国語)6月	地域の防災について話 し合おう(国語)5月	読み手を意識して報告 文を整える。(国語)	よりよい結論を導く討 論をする(国語)	表現の工夫を評価してス ピーチをする。(国語)		
			思い出のアルバム (国語)2月	これまでこれから (国語)3月	町の行事について発表 しよう(国語)12月	新聞を作ろう (国語)8月	「町じまん」をすいせんし よう(国語)6月		調べた内容を聞く (国語)		コミュニケーションの場を考 える一環に応じた表現や話 題(国語)		
						自分の成長を振り返っ て(国語)2月	「考えを広げるために、立場を決め て話し合おう(国語)10月			自分の住んでいるところについ て伝えよう。あなたの夢を語ら う！(英語)	ディベートをしよう (英語)		
			きせつとなかよし(春夏 秋冬)(生活)7月～2月	まちはたからばこ (生活)4月	町の様子 (めむろ学)5月	水はどこから (めむろ学)5月	低い土地の暮らし (社会)5月	私たちの生活と政治(役場・ 町議会)(社会)5月			地方自治と私たち(社会)		
				めざせ野菜名人 (生活)5月	農家の仕事工場の仕事 (めむろ学)10月	ゴミの処理と利用 (めむろ学)5月	国土の気候の特色 (社会)5月						
				生き物大好き (生活)6月	店ではたらく人 (めむろ学)7月	地震から暮らしを守る (めむろ学)5月	あたたかい土地のくらし寒い土 地のくらし(社会)5月	「土地のつくり」(理科) 10月	身の回りの生物の観 察(理科)	明日の天気予想する (理科)			
			消防車の絵をかこう (図工)9月		火事から仕事を守る (めむろ学)11月	強したいもの、伝えたいもの(め むろ学)10月	くらしを支える食糧生 産(社会)7月						
			水のお面をつくろう (図工)1月		事故や事件から暮らしを 守る(めむろ学)11月	地域の尽くした先人 (めむろ学)9月	これからの食糧生産とわた したち(社会)9月						
		理科			町の様子の移り変 わり(めむろ学)1月		情報を生かす産業 (社会)12月		ゴルフの得点の表し方 (数学)	コンビニのデータ活用 (数学)	町の建物を相似を使って 図ってみよう(数学)		
					ねん土マイタウン (図工)2月	写生会(図工)9月	植物の発芽や成長 (理科)5月	「共に生きる地域での生 活」(家庭)1月			自分は芽室町のどこに いるでしょう。(数学)		
							花から実へ (理科)7月				町の建物を三平方の定理 を使って測ってみよう(数 学)		
			食農体験 ※めむろ丸かじりプロジェクト(6年生)						食農体験				
			栄養教諭食育指導(生活)9月			栄養教諭食育指導(総合)10月			栄養教諭食育指導(総合)11月			栄養教諭食育指導	
			みんなだれかに (道徳)7月	ひかり小学校のじまんは ね(道徳)4月	芽室遺産を調べよう (総合)	大好き芽室プロジェ クト(総合)		うちら「ネコの手ボラン ティア」(道徳)4月	めむろ地域学習 (総合)	地域職場学習・進路 学習(総合)	地域学習・芽室と課題を 取り組みの提案(総合)		
			みつけてみよう (道徳)11月	広いせかいのたぐさんの人 たちと(道徳)6月	伝統文化の尊重(道徳)			白神山地(道徳)5月	教育長夢育講話	地域学習・宿泊学習 (総合)	町長夢育講話		
				今ぼくにできることなら (道徳)2月	国や郷土を愛する態度(道徳)			新しい日本に～龍馬の 心～(道徳)11月	ぼくのふるさと(道徳)	職場体験学習 (総合)	修学旅行(総合)		
特別活動		ながいながいながい (道徳)2月	「ふるさと」とい うこと(道徳)2月	「ふるさとを守った大イ チョウ」(道徳)10月	親から子へ、そして 孫へ(道徳)	職業調べ(総合)10月	よりよい未来を創る (道徳)	故郷の魂 歌詠の心(道徳)	祭りの夜(道徳)	鳥鳴の心を伝えたい(道徳)			
			芽室の自然を探検し よう(総合)5月	芽室の特産物を調べ に行こう(総合)5月									
							楽寿号に乗って(道徳)	心でいただく伝統の味(道徳)					
							本が泣いてます(道徳)	今度は私の番だ(道徳)					
							桜に集う人々(道徳)	大切なものは何？(道徳)					
									冬の使者マガン(道徳)				
	生活科・総合的な学習の時間等で身に付けたい力	探究	課題設定	身近な人々・社会・自然などとの関わりや学習したことなどに対する、気づき・興味から課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などに関わり、疑問を持ったり興味を広げたりして、課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などに関わり、疑問を抱く中で抱いた、疑問や興味に対して、目的・対象・方法を明確にして、実生活に結び付けよう、課題を選択・設定することができる	様々な人々・社会・自然などに関わりの中から問題を見つけ、目的・対象・方法を明確にして、実社会、実生活に結び付けよう、課題を選択・設定することができる						
			知る	気付きや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集することができる	身近な人や施設でのインタビューや図書を利用するなどして、課題に沿った情報を収集することができる	課題意識を持って、ネットや書籍等を利用したり専門家に聞いたりして、必要な情報を収集・選択することができる	収集した情報を課題に結び付けたり、目的に応じて手段を選択し情報収集したりすることができる						
			学び・発見	情報(気付きや思ったことなど)を出し合い、共通点や違いがあることや、分類したり比べたりすることのよさに気付くことができる	情報(気付きや思ったことなど)を出し合い、話し合いの中で共通や違いがあることに気付いたり、比較や分類をしたりすることができる	思考ツールなど、提示された方法を用い、情報を分類、比較、結合させるなどして分析することができる	思考ツールなど適切な方法を選択し、情報を分類、比較、結合するなどして、関連付けたり体系化したりすることができる						
	全ての土台となる力	対話する力	発信・提案	活動を通して得た気付きや学んだことを順序立てて考えることができる。分かりやすい方法でまとめ、伝え合うことができる	体験や調査に基づいて、目的に応じた方法で自分の思いや考えをまとめることができる。大切なことが相手に伝わるよう工夫して伝え合うことができる	相手や場・目的に応じ自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる	相手や場・目的に応じ客観性のある根拠を示して自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる						
話す・聞く力			・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動	・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動							
対話する力			・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動							
ICT活用能力	GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動												

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
学校のことを つたえあおう		学 年	1 年生
		児童数	92 名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。		・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	・伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを進んで工夫し、今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・学校のことをみんなに伝えるために知りたいことを明確にし、学校で働く人にインタビューをする。		・インタビューの答えをどのように伝えとみんながわかりやすいかグループで話し合い、メモにまとめる。	・メモをもとに、グループごとに発表をする。 ・発表を聞いて質問や感想を伝え合う。
3 単元の指導と評価の計画（全9時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 2	探究型	◆話を聞く相手を決めよう ○1学期のインタビューを思い出し、今みんなが知っていることを出し合う。 ○聞きたい相手ごとにグループをつくる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもち、自分が知っていることを発表しようとしている。
3 ～ 4	探究型	◆聞きたいことを決め、練習をしよう ○みんなが知らないことを伝えるために、どんな質問をしたらよいか出し合う。 ○聞くことを分担し、聞きに行く練習をする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・どんな質問がよいかをみんなと考えようとしている。 【知識・技能】 ・聞きに行く相手に応じた姿勢や発声、言葉遣いに注意して練習している。
5 ～ 7	探究型 提案型 発信型	◆インタビューをして、メモを作ろう ○インタビューをしよう。 ○聞いてわかったことを思い出しながら、メモを作ろう。 ○クラスのみんなに伝えたいことを確かめ、順番を決めて練習しよう。	【思考・判断・表現】 ・声の大きさや速さなどを工夫してインタビューしている。 【思考・判断・表現】 ・自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・わかったことやクラスのみんなに伝えたいことを進んで伝えようとしている。
8 ～ 9	発信型	◆伝え合おう ○全員の前で発表をして、質問や感想を伝え合おう。 ○学習全体を振り返り、上手になったことを確かめよう。	【思考・判断・表現】 ・声の速さや大きさを工夫して発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話の内容を捉えて、感想をもとうとしている。

めむろ未来学（生活科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
芽室の季節となかよし		学 年	1 年生
		児童数	92 名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・季節ごとに自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、自然遊びのおもしろさや自然の不思議さに気付くことができる。		・季節ごとの自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節の違いや特徴を見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。	・季節ごとの自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びをつくりだそうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・生き物や植物を調べたり、教えてもらったりして、より深く季節を感じる。		・生き物や自然物をつかった遊びを工夫する。 ・季節ごとに遊んだことや発見したことを絵や文、言葉等で表現する。	・身近な季節を発表する。 ・季節を感じるものを生かして、遊びをつくりだす。
3 単元の指導と評価の計画（全32時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 5	探究型 提案型 発信型	◆芽室町の春を感じよう ○芽室小学校の森ビンゴをする。 ○エゾハルゼミの抜け殻を集める。 ○タンポポやナズナ等の草花で遊ぶ。	【知識・技能】 ・自然の様子や季節の変化、自然のおもしろさに気づいている。 ・ルールやマナーを守って遊ぶことに気づいている。
6 ～ 15	探究型 提案型 発信型	◆芽室町の夏を感じよう ○アスファルトに絵を描く。 ○シャボン玉で遊ぶ。 ○テントウムシを探す。 ○朝顔のこすりぞめをする。 ○エゾリスを知る。（帯広百年記念館講座）	【思考・判断・表現】 ・季節の特徴を見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・みんなと遊びをつくりだそうとしている。
16 ～ 25	探究型 提案型 発信型	◆芽室町の秋を感じよう ○小枝、葉っぱ、木の実探しをする。 ○たからもので遊ぶ。 ○おもちゃをつくる。 ○楽しさを伝える。	【思考・判断・表現】 ・季節の特徴を見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・みんなと遊びをつくりだそうとしている。
26 ～ 32	探究型 提案型 発信型	◆芽室町の冬を感じよう ○氷のお面設計図をつくる。 ○氷のお面を作る。 ○氷のお面を運ぶ。 ○雪で遊ぶ。	【思考・判断・表現】 ・季節の特徴を見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・みんなと遊びをつくりだそうとしている。

めむろ未来学（生活科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
まちは たからばこ		学 年	2年生
		児童数	94名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学校の近くのまちにはいろいろなお店や公共施設があり、地域で生活したり働いたりしている人々がいること、自分たちの生活を支えてくれていること、地域の人々のよさややさしさなどに気づくことができる。		・まちの様子を調べたり、働いている人に聞き取りしながら、気付いたことやわかったことなどを絵や文などで表現したり、話し合ったりして、地域のよさや自分の生活との関わりについて考えることができる。	・見てみたいものや調べてみたいことを探しながら探検したり、地域の人や公共施設、お店などに関心を広げ、適切に関わったりしながら、学校がある地域やまちの人たちに親しみや愛着をもとうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・地域の人々へインタビューしてみたいことを考えたり、グループで話し合ったりし、意欲を高める。 ・実際に施設を訪問して、インタビューをする。		・お店や施設に訪問し、インタビューからわかったことを絵や写真や文などにまとめて伝える。 ・感謝の気持ちを伝えるために、お世話になった人たちに手紙を書く。	・掲示物としてまとめた手紙を届ける。（施設によっては、まちの人たちに見てもらえるように張り出してくれる。）
3 単元の指導と評価の計画（全13時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 2	探究型	◆まちについて話そう ○まちやお世話になっている人を思い出して話し合う。 ○お気に入りの場所などを紹介し合う。	【主体的に取り組む態度】 ・芽室町について、自分の知っていることを思い出そうとしている。
3 ～ 8	提案型	◆たんけんの計画を立てよう ○グループを決め、行く場所や目的、探検の約束などについて話し合う。 ○挨拶やインタビューの仕方を練習する。	【思考・判断・態度】 ・自分がどの施設に行き、どんなインタビューをするのかを決める。 ・グループで協力しながら訪問の仕方の練習をする。
9 ～ 10	探究型	◆たんけんに出かけよう ○公共施設やお店を訪問し、そこで働く人と関わる。	【主体的に取り組む態度】 ・グループで協力しながら訪問し、インタビューをする。
11	発信型	◆何を感じたかな ○インタビューをしてわかったことをたんけんカードにまとめる。 ○自分が感じたことや、思ったことを文や絵や写真で伝える。	【思考・判断・態度】 ・自分がわかったことや考え、感じたことを書こうとする。

1 2	発信型	◆見つけたことをつたえ合おう ○地域の良さや人々と自分の関わりについて話し合ったり、たんけんカードにまとめたことを発表したりする。	【表現】 ・自分がわかったことや考え、感じたことを伝えようとする。
1 3	提案型 発信型	◆感謝をつたえよう ○訪問した施設やお店の人たちに、お礼のお手紙を書く。	【表現】 ・自分がわかったことや考え、感じたことをお手紙に書き、感謝の気持ちを伝える。

めむろ未来学（道徳） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
ながい ながい つうがくろ～わたしたちの町～		学 年	2年生
		児童数	94名
		授業者	担任
1 単元の目標			
伝統文化の尊重、郷土を愛する態度（c 主として集団や社会との関わりに関すること）			
自分の生まれ育った町の好きなところや自慢したいことを考え、クラスの友達と交流することによって、芽室町の自然や文化などの特色を理解し、郷土を大切に思う態度を育てる。			
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
教材文を読んで、芽室町の好きなところや自慢したいこと、地域の人との関わりを考える。		教材から分かったことや自分の考えをまとめ、班の中で意見を交流する。	考えたことをワークシートに記入し、自分の考えを発表する。
3 単元の指導と評価の計画（全2時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆自分の町の好きなところや自慢したいことを考えよう ○道徳教材「ながいながいつうがくろ」を読む。 ○芽室町の好きなところや自慢したいことをワークシートに書く。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に授業に臨んでいる。 【思考・判断・表現】 ・芽室町の好きなところや自慢したいことをワークシートに書くことができる。
2	提案型 発信型	◆自分の町の好きなところや自慢したいことを考えよう ○ワークシートをもとに自分の考えを班で交流する。 ○友達の考えから、芽室町の素敵なところを考える。	【思考・判断・表現】 ・学習したことをもとに、自分が感じた芽室町の素敵なところをかんがえることができる。

めむろ未来学（社会） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
わたしたちのまち「芽室」		学 年	3年生
		児童数	84名
		授業者	担任・外部講師
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 地域の自然のすばらしさやそこに暮らす人々の願いがわかる。 - 情報を比較分類する等、探究の過程に応じた技能を身につける。		自己課題を決定し調べることで、情報をもとに考えたり、まとめたりすることができる。	課題の解決に向け、目的意識をもち、意欲的に取り組もうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 芽室町にチーズ工場があるのはなぜかを考え、情報を収集する。 - 見学学習を通してわかったことから、芽室町のまちのよさに気づくことができる。		探究活動を通しての気づきや発見したことなど今までの学びをもとに、自分なりにまとめることができる。	わかったことや考えたことを交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全9時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆芽室町の農産物を調べよう ○芽室町で生産されているものについて調べ、交流する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習活動についての見通しをもち、芽室町で生産されている作物等について進んで考えようとしている。
2	探究型	◆工場見学で調べたいことを話し合おう ○チーズの材料は何か、どのように作られているのかを予想する。 ○チーズ作りについて知りたいことをまとめる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・チーズをつくる工場の仕事について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもって取り組もうとしている。
3・4	探究型	◆工場では、チーズをおいしく、たくさん作るために、どのような仕事をしているのかを調べよう ○わかったことをメモを取りながら話を聞く。 ○知りたいことを質問する。	【知識・技能】 ・工場の方の話を聞いたり、見学したりして必要な情報を収集することができる。
5	提案型 発信型	◆チーズ工場の見学を通してわかったこと、考えたことを伝えよう ○わかったこと、考えたことをまとめる。 ○書いたことを伝え合い交流する。	【思考・判断・表現】 ・工場の仕事について必要な情報を選び、自分の伝えたいことをまとめて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・考えを交流し、学習してきたことを深めようとしている。

6	探究型	◆酪農家の仕事について知りたいことを話し合おう ○酪農家の仕事について聞きたいことをまとめ、交流する。	【主体的に学習に取り組む態度】 酪農家の仕事について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもって取り組むことができる。
7・8	探究型	◆酪農家の仕事を見学しよう ○見て、話を聞き、知りたいことを質問する。	【思考・判断・表現】 酪農家の方の話を聞いたり、見学したりして必要な情報を収集することができる。
9	提案型 発信型	◆見学を通してわかったこと、考えたことをまとめ、発表しよう ○わかったこと、考えたことをまとめる。 ○書いたことを伝え合い交流する。	【知識・技能】 - 必要な情報を集め、酪農の仕事について理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 考えを交流し、学習してきたことを深めようとしている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
芽室の自然を探検しよう		学 年	3年生
		児童数	84名
		授業者	担任・外部講師
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- ポップコーンの育て方を理解し、記録を取りながら成長を観察することができる。 - 農家の方のお話や、野菜の成長記録など、調べたことをスライドにまとめることができる。		- 農家の方の話を聞いたり、調べたりするなど、ポップコーンを育てるために必要な情報を収集することができる。 - 芽室町の農業に対する自分の思いや考えが相手に伝わるよう、工夫することができる。	- 芽室町の農業に興味をもとうとしている。 - おいしいポップコーンを育てるために世話に取り組み、目標をもって探究しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 芽室町の農業について調べたり、学校支援ボランティアの方から教わったりしながら、情報を収集する。 - 畑のお世話に主体的に取り組み、おいしいポップコーンを育てようと探究する。		- 農家の仕事について、気づいたことや疑問に思ったことを出し合い、予想する。 - ポップコーンについて調べたことやわかったこと、自分の思いや考えを、スライドにまとめる。	ポップコーンづくりを通してわかったことや気づいたこと、芽室町の農業についての自分の考えを発表する。
3 単元の指導と評価の計画（全13時間）			
時間	探究提案発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
（○）	探究型【社会科】	◆芽室町でどんな農作物がつけられているか調べよう ○芽室町で育てられている野菜の種類や、取扱高について調べる。	【態度】 ・芽室町の農業に興味をもち、気づいたことや疑問に思ったことを話し合おうとしている。
1	提案型	◆農家の、野菜づくりの工夫や努力について話し合おう ○ポップコーンづくりについて、気づいたことや疑問に思ったことを出し合い、予想する。 ○農家への質問をまとめる。	【思考・判断・表現】 ・ポップコーンづくりについての課題を発見し、設定することができる。
2	探究型	◆学校支援ボランティアの農家の講話を聞いて、ポップコーンづくりの見通しを立てよう ○ポップコーンづくりに必要なことを、メモをとりながら聞く。 ○農業について知りたいことを質問する。	【思考・判断・表現】 ・農家の講話を聞いたり、質問したりすることで、ポップコーンづくりに必要な情報を収集することができる。
3	探究型	◆ポップコーン農家と、種まきをしよう ○畝の高さや株間の幅など、ポップコーンに適した畑の作り方を教えてもらい、友達と協力して種をまく。	【知識・技能】 ・ポップコーンに適した畑づくりをすることができる。

4 ～ 7	探究型	◆ポップコーンの成長を観察・記録しよう ○ポップコーンの観察をし、色や形、大きさについて記録を書きためていく。 ○畑の草取りや、追肥など、ポップコーンを育てるために必要な世話を続ける。	【知識・技能】 ・ポップコーンの特徴や、植物の多様性に気づき、記録することができる。 【態度】 ・目標をもって、畑のお世話に取り組み続けている。
8 ～ 12	提案型	◆芽室町の農業について、スライドにまとめよう ○ポップコーンについて調べたことやわかったこと、芽室町の農業について考えたことを、自分の思いや考えを含め、スライドにまとめていく。	【知識・技能】 ・ポップコーンを育てた体験に基づいて、自分の思いや考えをまとめることができる。
13	発信型	◆スライドをもとに、発表しよう ○スライドを使い、芽室町の農業について自分が思ったことや考えたことを伝え合う。	【思考・判断・表現】 ・芽室町の農業について、自分の思いや考えが相手に伝わるよう、工夫することができる。 【態度】 ・お互いの発表を聞き、より芽室町の農業に興味をもっている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単元名		学校名	芽室小学校
大好き芽室プロジェクト		学 年	4 学年
		児童数	1 0 5 名
		授業者	担任
（１）単元の目標			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
- 調べたいことについてインターネットやパンフレットなどを活用し、調べることができる。 - 調べたことをタブレットや壁新聞、リーフレット、ポスターなど自分の表現したい方法でまとめることができる。 - まとめたことをみんなに伝えることができる。 - 芽室町の「良い物（特産物や観光地）」について知ろうとしている。	- 知りたい情報、大事な情報を選別することができる。 - 読み手に伝わりやすく工夫してまとめることができる。	- 芽室町の良いと思うところや素晴らしいところを見つけようとしている。 - 調べ方を自分で決め、主体的に探究しようとしている。 - 表現方法を自分で決め、相手によりよく伝わるよう工夫しまとめようとしている。	
（２）探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び	
調べてみたい、体験してみたいことを調べたり、地域の方から教わったりして、町について知る意欲を高める。	調べてわかったことや発見したことをみんなにわかりやすく伝えるために国語など他教科で学習したまとめ方をもとにまとめる。	聞いている相手に向けて、自分たちの考えや思いが伝わるように発表する。	
（３）単元の指導と評価の計画（全 1 8 時間）			
時 間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価基準
1	探究型	◆芽室について調べよう ○芽室について知っている「場所」や「モノ」「人」について調べ整理する。	【主体的に取り組む態度】 ・芽室町について、自分の生活や町の様子を思い浮かべ、調べようとしている。
2 ～ 3	提案型 発信型	◆グループを決めて、テーマを決めよう ○整理した内容の中から、詳しく調べてみたいものや自分が調べたことのないものを選ぶ。 ○芽室町のじまんになるポイントを探して調べる。	【思考・判断・表現】 ・内容の中から、自分がどの課題にするか決める。
4	探究型	◆調べ方を確認する ○タブレットの使い方や、インターネットの検索の仕方を確認する。	【知識・技能】 ・タブレットやインターネットの使い方を理解

			することができる。
5 ～ 8	探究型	◆調べよう ○調べたいことについて情報を得る。 ○調べた情報の中から、気になることや知りたいことを整理する。	【思考・判断・表現】 ・気になることやわからないことを調べようとする。 ・インターネットで詳しく調べることができる。
9 ～ 10	提案型	◆見学しに行こう ○あらかじめ質問の内容を決めておく。 ○調べたい場所へ行き、知りたいことを町や店の人にインタビューしてより詳しく調べる。	【思考・判断・表現】 ・質問したいことや、気になっていることをまとめる。
11 ～ 16	提案型	◆まとめよう ○タブレット、壁新聞、リーフレット、ポスター等、今まで国語で学習した方法などを選択肢の一つとして、児童が表現したい方法を選ばせ、グループでまとめていく。 ○レイアウトや見出しなど、見る人にわかりやすく、伝えたいことがすぐにわかるように意識してまとめていく。 ○芽室だからこそ自慢できるポイントをおさえてまとめていく。 ○調べていく過程で、自分たちの芽室に対する思いがどのように変容していったのか、意識させながらまとめる。	【思考・判断・表現】 ・伝えたいことを明確にし、まとめようとする。 【知識・技能】 ・レイアウトや色などを工夫してわかりやすくまとめることができる。
17 ～ 18	発信型 提案型	◆発表しよう ○発表原稿を作り、より効果的に発表できるように準備する。 ○発表の練習をする。 ○まとめたものを友達に発表する。 ○友達の発表を聞いて、質問したいことや感想などと言って、発表者と聞き手で交流しあう。	【思考・判断・表現】 ・発表の仕方において他者に向けて伝えるように工夫している。 【主体的に取り組む態度】 ・たくさんの発表を聞き、芽室についてさらに興味をもつ。

めむろ未来学（社会） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
自然災害からくらしを守る		学 年	4年生
		児童数	105名
		授業者	担任・外部講師
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・災害や関係機関の協力について調べ、災害から人々を守る活動を理解している。 ・地域では、想定される災害に対し様々な備えをしていることを理解している。		・災害から人々を守る活動について考え、表現している。 ・災害を想定し、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりして表現している。	・災害から人々を守る活動について主体的に学習課題を追究し、解決しようとしている。 ・災害を想定し、自分たちにできることを考えようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・過去の災害について資料やインターネットを活用して情報を収集する。 ・芽室町の防災への取り組みについて見学したり、話を聞いたりする。		・災害について、それぞれが気付いたことや考えたことを話し合う。 ・災害に備えて、自分たちが学校や家庭でどのような備えができるかについて、グループで考えを出し合う。	・災害に対する備えについて、分かったことや自分たちにできることをワークシートにまとめて、発表する。
3 単元の指導と評価の計画（全8時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆道内の災害について知ろう ○地域学習書の写真をもとに、何年にどんな災害があったのかをつかむ。 ○誰が、どんな対応をしたかについて予想し、グループで話し合う。	【知識・技能】 ・道内の災害について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・災害に対する対応について、関わる機関や内容を考えようとしている。
2	探究型	◆道内で起こった地震について知ろう ○地域学習書の写真をもとに、何年にどんな地震が起こったのかをつかむ。 ○町では、どんな対策をしているのか予想し、グループで話し合う。	【知識・技能】 ・道内の地震について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・町では、どのような対策をしているのか知っていることを話したり、考えようとしている。
3	発信型	◆地震が与えるくらしへの影響を話し合おう ○地震後のくらしの様子について、資料から分かったことや家庭での備えで知っていることを伝え合う。	【知識・技能】 ・地震後の影響や家庭での備えについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料から分かったことや自分の家での備えを伝えようとしている。
4	探究型 発信型	◆学校や通学路での備えを知ろう ○校内や校舎の周囲にある防災設備をグループで見に行く。 ○見つけたものや分かったことについて、発表する。	【思考・判断・表現】 ・校舎内外で見つけた防災設備の意義を理解し、考えたことを表現している。

5	探究型	◆町の取り組みについて知ろう1 ○地域学習書の資料をもとに、町の取り組みをつかむ。	【知識・技能】 ・町の災害への備えや防災訓練について理解している。
6	探究型	◆町の取り組みについて知ろう2 ○防災倉庫・あいあい公園に出かけて、災害への備えを見たり聞いたりしよう。	【知識・技能】 ・町の災害への備えや防災への取り組みを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・目的意識をもって見学したり、説明を聞き疑問に思ったことを質問したりしている。
7	提案型	◆地震からくらしを守る取り組みをまとめよう ○「自助」「共助」「公助」の視点から、くらしを守る取り組みをワークシートに書く。 ○学習を振り返り、自分にできることや生活で気をつけることをまとめる。	【知識・技能】 ・3つの視点で災害への備えを理解している。 【思考・判断・表現】 ・学習をふりかえり、自分にできることを考えて表現している。
8	発信型	◆くらしを守る取り組みについて、考えたことを発表しよう ○ワークシートの内容を伝え合う。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の考えたことを伝えたり、他者の考えを聞いたりして、自分の生活に生かそうとしている。

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
「町じまん」をすいせんしよう		学 年	5年生
		児童数	117名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報と情報を関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解しながら使うことができる。		・「町とのつながり」を明確にして推荐理由を考えることができる。 ・推薦するもののよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうかに留意して聞いたりしている。 ・伝えたい相手や目的、内容を考えて構成を工夫し、話したり書いたりすることができる。	・推薦し合って、「町じまん」を決めるという学習の見通しをもち、調査をしたり発表物を作ろうとしたりしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・自分が選んだ「町じまん」を推薦するため、必要な資料を調べる。		・集めた情報を根拠とし、自分が選んだものを「町じまん」として提案する。	・自分が選んだ「町じまん」をポスターや動画にまとめ、発信する。
3 単元の指導と評価の計画（全9時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆決めよう・集めよう ○学習の流れをとらえる。 ○「場所・もの・人・行事・歴史」などから、自分が推薦するものを決め、調べる方法を考える。	【主体的に取り組む態度】 ◇学習活動の見通しをもち、自分が推薦するものを決めて調べようとしている。
2 ～ 6	探究型 提案型	◆集めよう・組み立てよう ○自分が推薦するものに関する情報を収集する。 ○「町とのつながり」はどこかを調べる。 ○調べたことをもとに、ポスターや動画、スライドを作成する。 ○聞き手が納得するような構成を考え、発表の練習をする。	【主体的に取り組む態度】 ◇自分が推薦するものについて調べ活動を進めようとしている。 【知識・技能】 ◇自分が調べたことや意見を分かりやすい言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ◇聞き手が納得するような構成を考えながら、発表に向けての準備を進めることができる。
7 ～ 8	提案型 発信型	◆話そう・聞こう ○「町じまん」発表会を開く。 （関連施設に提案できるような内容をもりこむ。）	【思考・判断・表現】 ◇推薦するものの良さが伝わるような発表をすることができる。 ◇推薦するものの良さが納得できるかに留意して聞くことができる。

9	発信型	◆伝え合おう ○感想を交流するなかで、クラスの「町じまんナンバーワン」について話し合う。 ○学習を振り返り，生活にいかす。	【思考・判断・表現】 ・他者の発表を聞いて、町のじまんできるところについてより理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説得力のある発表内容や発表のしかた気付き、自分の学習に生かしていこうとしている。
---	-----	--	--

めむろ未来学（家庭科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
バランスのよい食事をしよう		学 年	5年生
		児童数	117名
		授業者	担任・栄養教諭
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学童期の栄養の摂り方が身体の成長に重大な影響を及ぼすことを知り、食べ物の体の中での働きや五大栄養素について理解することができる。		バランスのよい食事の内容について考えることができる。	バランスの良い食事をしようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
五大栄養素について理解し、今日の給食に使われている食材を五大栄養素に分類する。		自分の食事を振り返り、今後の食事についての改善点や目標をまとめる。	自分で考えたバランスのよい食事を発表する。
3 単元の指導と評価の計画（全1時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆普段の食事について考えよう ○好きな給食は何か考え、食事について考えるきっかけとする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・好きな給食や食事について、考えようとしている。
	探究型	◆五大栄養素と種類とその働きを理解しよう ○生命を保つために必要な栄養素と栄養素の体の中での働きを知る。 ○3つの食品のグループについて復習し、五大栄養素との関わりを知る。 ◆給食を五大栄養素に分けてみよう ○今日の給食を五大栄養素に分けることで、給食はバランスが良い食事のお手本であることを理解する。 ○芽室にはたくさんの農畜産物があり、他の町に比べて選びやすく、手に入りやすいことを理解する。	【知識・技能】 ・食べ物の体の中での働きや五大栄養素について理解することができる。 ・芽室産の農畜産物について理解することができる。
	提案型 発信型	◆食事の目標を考えよう ○自分の食生活を振り返り、今後の食事の目標や改善点をまとめる。 ↓ ○自分の考えた目標や改善点を発表する。	【思考・判断・表現】 ・バランスの良い食事について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バランスの良い食事をしようという意欲をもつことができる。

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
地域の防災について話し合おう（６） パンフレットで知らせよう（４）		学 年	６年生
		児童数	１０５名
		授業者	担任
１ 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 芽室町の特産物についての理解や、今後の町おこしについて考えを深めている。 - 情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。		- 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 - 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	- 粘り強く意見の違いを大事にしながら話し合おうとしている。 - 学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。 - 芽室町の特産物や町おこしについて考えを深めようとしている。
２ 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
自分たちの住む町について、観光協会のパンフレットや町のホームページ、農協のホームページなどから必要な情報を探し、自分の考えをもつ。		芽室町の観光や農業を盛り上げるために自分の考えたことを、パネルディスカッションを通して伝える。	パネルディスカッションを通じて学んだことをパンフレットにまとめ、校内の児童や、観光協会等を通じて多くの人に伝える。
３ 単元の指導と評価の計画（全１０時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
１ ～ ２	探究型	◆芽室町の良さを再発見するために、パネルディスカッションをしよう ○パネルディスカッションについて知る。 ○パネルディスカッションをするためのグループや、テーマを決める。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し合いの進め方について知り、学習の進め方について理解しようとしている。
３ ～ ４	探究型	◆主張したいことをまとめ、わかりやすく伝えるための準備をしよう ○パンフレットやホームページなどから自分たちの主張をするための必要な情報について集める。 ○自分たちの主張に必要な資料について用意する。 ○わかりやすく伝えるためのポスターやスライドを作成する。	【思考・判断・表現】 ・パネルディスカッションで話し合うための観点や情報について意見を出している。 【知識・技能】 ・情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しまとめている。
５ ～ ６	提案型	◆パネルディスカッションをしよう ○グループごとに決めた役割でパネルディスカッションを行う。 ○自分の考えが深まったことや、新しく気づいたことなどをワークシートにまとめる。	【思考・判断・表現】 ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。

7	探究型	◆考えが深まったことをパンフレットにまとめよう ○どのようなパンフレットを作成するのかイメージし、学習の見通しをもつ。 ○グループごとにどのようなパンフレットを作るのか、相手や読んでもらう方法について話し合う。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。 ・芽室町の特産物や町おこしについて考えを深めようとしている。
8	探究型	◆パンフレットを作るための編集会議を開こう ○パンフレットを書く分担や、構成について考える。 ○パネルディスカッションで深まった考えについて、相手に伝わりやすいような構成を考えて原稿を書く。	【知識・技能】 ・情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。
9 ～ 10	発信型	◆芽室町の良さを伝えるためのパンフレットを作り、読み合って考えを深めよう ○読み手にわかりやすくなるように写真や図などを効果的に用い、パンフレットを作成する。 ○グループ内でお互いに意見を出し合いながら、読み手によりわかりやすく伝えるにはどうしたら良いかを推敲する。 ○できあがったパンフレットを読み合い、感想を伝えあう。 ○可能であれば事前に関係機関に連絡をしておき、地域の方や観光に来た方などより多くの方に読んでもらえるような場所に設置する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。 【思考・判断・表現】 ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ・効果的に写真や図などを用いることで、より効果的に情報を伝えることを理解して作成している。

めむろ未来学（道徳） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室小学校
より良い未来を創る～先人の努力から学ぶ～		学 年	6年生
		児童数	105名
		授業者	学年団
1 単元の目標			
伝統文化の尊重、郷土を愛する態度（c 主として集団や社会との関わりに関すること）			
先人の努力や考えから、芽室町の一員として、自分にもできることを考えることができ、クラスの間々と意見を交流することによって、芽室町のこれからのために自分が行動しようと思うことを具体的に考える態度を育てる。			
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
先人の努力や考えがどのように自分たちの生活に結びついているかを教材から見つける。		教材から分かったことや自分の意見をまとめ、班の中で意見を交流する。	考えたことを記入したワークシートをもとに、自分の考えをみんなに発表することができる。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆過去の人々がより良い社会にするために行ったことを学び、理解しよう ○道徳教材「新しい日本に」を読む。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・過去の人々がより良い社会にするために行動したことを読み取ろうとしている。
2	提案型 発信型	◆「新しい日本に」を読んで考えたことを発信しよう ○自分の考えをワークシートにまとめることができる。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 ・学習したことをもとに、坂本龍馬のように自分がより良い未来についてできることを積極的に考えることができる。 （ワークシート）
3	探究型	◆過去の人々がより良い社会にするために行ったことを学び、理解しよう ○芽室町の開拓に携わった鈴木銃太郎、渡辺勝、高橋利一の功績を読む。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・開拓に携わった人々の功績を調べ、理解しようとしている。
4	提案型 発信型	◆芽室町の開拓について学んで考えたことを発信しよう ○自分の考えをワークシートにまとめることができる。 ○自分が先人達のように、芽室町の未来をより素敵にするためにできることを考える。 （個人、グループ）	【思考・判断・表現】【知識・技能】 ・学習したことをもとに、より良い未来のために自分ができることを積極的に考えることができる。 （ワークシート） ・その考えを発信する方法を考える。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元デザイン			
単 元 名		学校名	芽室中学校
芽室の魅力再発見！ ～新嵐山を散策して芽室町の観光を提案しよう～		学 年	1 年 生
		生徒数	1 2 5 名
		授業者	学年団・外部講師
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 学習したことを発信するために簡単な資料とともに音声で発表する力を身に付けている。 - 出前講座などを基に、地域の現状や課題についての情報を集め、まとめることができている。		- 学習内容を発信する際に、どのようなことに気を付けて発表すればよいかについて考えている。 - 自分が生活している身近な地域の魅力や強みについて自分なりの考えを形成し、観光プランの形で表現することができている。	課題解決に向けて、自分のよさを発揮し、主体的に探究しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
芽室町の観光資源、食の特徴を外部講師の講話から知り、野外学習当日の散策等を通して、町の魅力を見付けられるようにする。		外部講師の講話や見学等を通して学んだことを生かして、自分なりの観光プランを考えさせる。	外部講師、保護者、地域の人々、友達に自分の考えを簡単な資料を使って分かりやすく発表する機会を設ける。
3 単元の指導と評価の計画（全 1 0 時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1		◆今までの生活を通して芽室町にはどのような魅力があるかを考え、探究課題を立てよう。 ○芽室町について学んだことや芽室町のよさ・強みを挙げてみる。 ○探究課題を確認し、今後の学習についての見通しをもつ。	【態度】 ・今までの生活を生かし、課題を主体的に立てようとしている。 （ワークシート）
2・3	探 究	◆外部講師による講話を聴き、芽室町の強みを整理してみよう。 ○芽室町の観光（サイクルツーリズム、新嵐山）、食（とうもろこし等）について外部講師から具体的に学ぶ ○講師の講話を基に、芽室町の強みを整理する。	【知識・技能】 ・出前講座などを基に、地域の現状や課題についての情報を集め、まとめることができている。 （ジャムボード・ワークシート）

4・5	探 究	◆新嵐山を実際に散策したり、見学したりしながら、芽室町の観光に生かせるところはないかを考えて見よう。 ○外部講師と共に新嵐山を散策・見学する。 ○見学から分かったことをワークシートにまとめる。	【知識・技能】 ・散策や見学で得た情報を分かりやすくまとめることができています。 （ワークシート）
6・7・8・9	発 信 提 案	◆今まで学んだことを基に芽室町の観光プランを立てよう。 ○町外から来た観光客に芽室町の魅力が伝わるためにはどんなプランを立てたらよいかを考えよう。 ○グループでスライド作成の分担を決め、スライドをつくろう。	【思考・判断・表現】 ・自分が生活している身近な地域の魅力や強みについて自分なりの考えを形成し、観光プランの形で表現することができています。 （ワークシート） 【知識・技能】 ・学習したことを発信するために簡単な資料とともに音声で発表する力を身に付けています。 （スライド）
10	発 信 提 案	◆スライドを活用して、保護者や地域の人々に自分たちが考えた芽室町の観光プランを発表しよう。 ○自分たちで考えた観光プランを分かりやすく伝えよう。 ○これまでの学習を基に、芽室町の魅力や強みを自分なりに考え、まとめよう。	【思考・判断・表現】 ・学習内容を発信する際に、どのようなことに気を付けて発表すればよいかについて考えている。（発表） 【態度】 ・これまでの学習を生かし、主体的に学んだことを表現しようとしている。（発表）

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元デザイン			
単 元 名		学校名	芽室中学校
25歳の自分 ～高校や職業を調べて自分の職業や自己の将来について考えよう～		学 年	1年生
		生徒数	125名
		授業者	学年団・外部講師
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 学習したことを発信するためにタブレットで調べたことを端的にまとめている。 - ワークショップや調べ学習などを基に自分の職業や自己の将来に必要な情報を集め、まとめることができる。		- 学習内容を発信する際に、どのようなことに気を付けて発表すればよいかについて考えている。 - 自分の職業や自己の将来に関して、自分なりの考えを形成し、観光プランの形で表現することができる。	課題解決に向けて、自分のよさを発揮し、主体的に探究しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
外部講師によるワークショップや、職業調べ、高校調べなどを通して、自分の職業や自己の将来に必要な情報を見付けられるようにする。			ワークショップで見たり、聞いたり、タブレットで調べたりした内容を基に自分の生き方についての新聞で考えをまとめ、知らせることができる。
3 単元の指導と評価の計画（全13時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1		◆25歳の自分がどうなっていたいかを考えてみよう。 ○自分が中学校を卒業した後、どういう進路を取るか考えて整理し、探究課題を立てよう。 ○中学校卒業後→高校→就職 or 専門学校 or 大学→就職と人生の道のりを整理してみよう。 ○探究課題を確認し、今後の学習についての見通しをもつ。	【態度】 ・今までの自分の生き方を振り返り、今後の自分の生き方を考え、探究課題を主体的に立てようとしている。 （ワークシート）
2		◆高校や入試について知ろう。 ※体育館使用 ○高校入試制度の仕組みについて知る。 どの高校があるか、ランクの出し方等 ○話を聞いた上で現在の自分について振り返る。 ※保護者向けに行った進路説明会の内容を生徒向けに行う。	【知識・技能】 ・高校入試制度や今何をすればよいかについて、必要な情報を整理することができる。 （ワークシート）
3	探究	◆高校調べをしてみよう。 ○自分が知りたい高校を1つ選びタブレットで調べ、整理する。 ○検索から分かったことをワークシートにまとめる。 ※キャリアパスポートを活用	【知識・技能】 ・タブレットの検索を通して知りたい情報を得て、整理することができる。 （ワークシート）

4・5	発信	◆前の時間に調べた高校調べの結果を新聞にまとめよう。 ○なぜその高校を選び、将来の職業にその高校への進学がどう関わるのかを明確にしよう。 ○選んだ高校の特色が伝わる新聞を作ろう。	【思考・判断・表現】 - 自分が興味をもっている高校について調べ、自分の将来の職業の目標と関連づけて、自分の考えを形成し、新聞の形で表現することができている。 (新聞) 【態度】 - 今までの学習を生かし、主体的に学んだことを表現しようとしている。 (新聞)
6・7	探究	◆芽室町で働く大人と交流して働くとは何かについて考えてみよう。 ○芽室町で働く人にその職業についての目的や生きがいなどについて紹介してもらおう。 ○小グループに分かれて、身近な大人と働くことについて意見交流を行う。 ※キャリアパスポートを活用	【知識・技能】 働くことの意義や大変さについて、外部講師から必要な情報を得て、整理することができる。 (ワークシート)
8	探究	◆職業調べをしてみよう① ○身近な大人(家族、親戚、知人等)に仕事についてのインタビューをしてきた結果を交流する。 ○交流した内容を基に、自分が働く上で重視することを整理する。 ※キャリアパスポートを活用	【思考・判断・表現】 自分の身近な大人にインタビューした結果から働くとは何かについて自分の考えを整理してまとめている。 (新聞)
9	探究	◆職業調べをしてみよう② ○自分が興味をもっている、あるいは就職を目指している職業を1つ選び、タブレットで検索してみよう。 ○なぜその職業を調べたかや、その職業の魅力や大変なところを整理しよう。	【知識・技能】 タブレットで調べたことを基に、自分が興味をもっている職業についてまとめている。 (ワークシート)
10・11	発信	◆前の時間に調べた職業調べの結果を新聞にまとめよう。 ○なぜその職業を選び、自分が将来どういうことを目指しているのかを明確にしよう。 ○選んだ職業の特色が伝わる新聞を作ろう。	【思考・判断・表現】 今までの学習を総括して、自分の将来の職業や、生き方について考え、整理している。 (新聞)
12・13	探究	◆25歳の自分がどうなっていたいかをもう一度考えてみよう。 ○作成した新聞を見せ合って、友達が将来目指す職業について交流をしよう。 ○中学校卒業後から5歳までの自分の道のりをもう一度整理して、今やるべきことを明確にし、単元のまとめをしよう。	【思考・判断・表現】 - 友達との交流を通して、自分の将来の職業や、生き方についてもう一度見直し、考えを確かにしている。 (グループ交流) 【態度】 - 今までの自分の学びを振り返り、今後につなげている。 (ワークシート)

めむろ未来学（道徳） 単元デザイン			
単 元 名		学校名	芽室中学校
郷育「ぼくのふるさと」		学 年	1 年生
		生徒数	1 2 5 名
		授業者	学年団
1 項目			
C（16）郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度			
ふるさとを愛し、ふるさとのためにできることをしたいと願う作者に共感することで、郷土意識を深め、進んで地域の発展に努めようとする態度を育てる。			
2 探求・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探求型の学び		提案型の学び	発信型の学び
タブレットを使用して、故郷の魅力を様々な視点から調べる。		故郷への思いを交流し合うことで、郷土意識を高める。	
3 単元の指導と評価の計画（全 1 時間）			
時間	探 求 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探 求 提 案	◆故郷ですっと暮らしたいか？ ○理由を交流し合うことで、それぞれがもつ、現在の故郷への想いを明確にしていく。	【態度】 - 積極的に意見を出している。 - 気になった意見をメモしている。
		◆お年寄りが村を離れたがらない理由は何だろう？また、そんなお年寄りのことをどう思うか？ ○故郷を大切に思う理由を想像することで、郷土意識を高める。	- お年寄りの思いをくみ取ろうとしている。 - 故郷（田舎）が抱える問題点から目をそらさずに真剣に考えている。
		◆あなたが思う故郷の魅力と、道外の人からみた北海道の魅力を比べてみよう ○調べ学習を通して、故郷の新たな魅力を再発見する。	- 調べ学習に意欲的に取り組んでいる。 - 様々な視点から故郷をみることで、新たな魅力に気付いている。 （ワークシート）

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室中学校
郷育「地域学習・宿泊学習」		学 年	2年生
		生徒数	139名
		授業者	学年団
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学習内容や旅行先での体験をもとに、考えたことを発信（表現）する力を身につけている。		・相手意識をもって、発信する内容を吟味し、わかりやすく伝えるようにしている。	・芽室町の魅力をふまえ、他地域との違いを主体的に自分たちで設定した課題に沿って探究しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・各教科で学習した内容や各種書籍・インターネット等で情報収集をする。		・これまで収集した芽室町の魅力や宿泊学習訪問先の地域で得た情報について、模造紙で効果的にまとめる。	・芽室町と他地域との違いについて根拠を示して論理的にまとめ、自分の思いや考えを他者にわかりやすく発表（発信）する。
3 単元の指導と評価の計画（全15時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探 究	◆芽室町と宿泊学習の訪問先の地域を比較しながら、旅行期間の日程や想定される様々な事柄について考察しよう。 ○「宿泊学習ファイル」を使って、学習を深める。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 ・自分の状況を適切に判断し、質問をしたり意見を出したりしている。 （宿泊学習ファイル）
2 ・ 3	発 信 提 案	◆学年集会や委員会活動で、組織的な計画・運営を行おう。 ○現在の状況を把握し、よりよい自己・学年集団を目指して質疑応答に参加する。	【態度】 ・これまで学習した内容をもとに、主体的に学習に臨もうとしている。 （ワークシート）
4 ・ 6	探 究	◆野外炊飯を考えよう。 ○たき火を使って調理をする食材について考える。食材、道具も含め予算内でおさまるように考える。	【思考・判断・表現】 ・実際の活動場面を想定し、意見を出したりしている。 （ワークシート）
7 ・ 8	探 究	◆芽室町内を散策し、食材を買いに行こう。 ○宿泊学習の訪問先と芽室町を比較できるよう、町内を散策し、写真におさめる。野外炊飯での食材を購入する。（買い物学習）	【態度】 ・班で協力し、情報収集を行おうとしている。 （ワークシート）
9	探 究	◆修学旅行を振り返り、自己や学年集団の成果を考えよう。 ○宿泊学習期間の体験内容を振り返り、ワークシートを使って成果をまとめる。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 ・自己や学年集団の現状を把握し、的確にまとめている。 （ワークシート）
10 ・ 11	発 信 提 案	◆芽室町と他地域を比較し、書籍やインターネット、これまで収集した情報をもとに発表資料をまとめよう。 ○収集した材料を、模造紙を使ってまとめる。 ○レイアウトや見出しについて相手意識をもって使い、よりわかりやすく伝えられる工夫を考える。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 ・わかりやすく使えるために模造紙に効果的にまとめている。 ・芽室町と他地域との比較をわかりやすく伝えている。 （模造紙）

1 2	発 提 信 案	◆芽室町と他地域との違いを、わかりやすく発表しよう。 ○これまでの発表練習をふまえ、原稿を作ったり、練習を重ねてよりよい発表をする。	【思考・判断・表現】【態度】 ・発表の仕方を工夫して他者に伝わるようにしている。 ・他地域との違いから、さらに芽室町に対する興味や愛着をもとうとしている。 (ワークシート)
--------	------------------	--	---

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元デザイン			
単 元 名		学校名	芽室中学校
夢育「進路学習」		学 年	2年生
		生徒数	139名
		授業者	学年団
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
これまでの学習内容をもとに、考えたことを発信（表現）する力を身につけている。		学習したことを発信する際に、どのようなことに気をつけて発言すればよいかについて考えている。	課題解決に向けて身につけた学び方を生かし、自分のよさを発揮し、主体的に探究しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
職業人による講話や授業を受けて、職業観を明確にし、芽室のよさを再確認することで、中学校卒業後の生き方について考える。		職業人の講話や授業をもとに、学んだことについて相手意識をもって発表したり、伝え合ったりする。	職業人の講話や授業から、自分の思いや考えを他者にわかりやすく発表（発信）する。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究 発信	◆身近な大人にインタビューし、働くことについて考えよう。 ○社会人の先輩として活躍する身近な大人にインタビューをする。 ○収集した情報を基に、グループで発表し、情報交流をする。	【態度】 課題解決に向けて身につけた学び方を生かし、自分のよさを発揮し、主体的に探究しようとしている。（ワークシート）
2 ～ 3	探究	◆芽室町の企業へアンケート調査をしよう。 ○働くということをより知るためにアンケート項目を考え、自主的に探究する。 ○Google フォームを活用してアンケートを作成し、企業に送る。	【知識・技能】 これまでの学習内容をもとに、考えたことを発信（表現）する力を身につけている。（ワークシート）
4 ～ 10	探究 発信	◆芽室町の企業について分かったことをわかりやすくまとめ、発表しよう。 ○アンケートの結果を基に、グループで模造紙にまとめる。レイアウトや見出し、意見のまとめ方について相手意識をもって作成し、内容がわかりやすい情報発信の仕方を考えることで、適切なコミュニケーション能力を養う。 ○Google ドキュメントを使って企業へのお礼状を作成する。	【知識・技能】 - これまでの学習内容をもとに、考えたことを発信（表現）する力を身につけている。（お礼状） 【思考・判断・表現】 - 学習したことを発信する際に、どのようなことに気をつけて発言すればよいかについて考えている。（模造紙）

4	探究	◆芽室町の職業人の講話を聞こう。 ○講話を通して、自分の職業観を明確にしたり芽室のよさを再確認したりするなどして、視野を広げ、今後の自分の生き方について考える。	【知識・技能】 • これまでの学習内容をもとに、考えたことを発信（表現）する力を身につけている。 【態度】 • 課題解決に向けて身につけた学び方を生かし、自分のよさを発揮し、主体的に探究しようとしている。 （ワークシート）
---	----	--	--

めむろ未来学（道徳） 単元デザイン			
単 元 名		学校名	芽室中学校
郷育「心でいただく伝統の味」		学 年	2年生
		生徒数	139名
		授業者	学年団
1 項目			
C（17）我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度			
・和食を通して日本文化のよさについて話し合い、日本の伝統と文化を継承するとともに、新しい文化を創造し、その発展に努めようとする意欲を育てる。			
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・タブレットを使用して、故郷の魅力を様々な視点から調べる。		・故郷への思いを交流し合うことで、郷土意識を高める。	
3 単元の指導と評価の計画（全1時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究 提案	◆和食のよさとは何か？ ○それぞれがもつ、和食の特徴やよさなど、和食への想いを明確にしていく。	【態度】 ・積極的に意見を出そうとしている。 ・気になった意見をメモしようとしている。
		◆食事を「心でいただく」とはどういうことだろうか？ ○和食に長年携わってきた生産者や作り手の思いなどを想像し、「心でいただく」ことの意味を考えることで郷土意識を高める。	・生産者や作り手の思いをくみ取ろうとしている。 ・日本の食文化が抱える課題にも目を向け、改善のために何ができるかを真剣に考えようとしている。
		◆日本と他国の食文化を調べ、魅力を比べてみよう ○調べ学習を通して、日本や他国の食文化の魅力を再発見する。	・調べ学習に意欲的に取り組もうとしている。 ・様々な視点から故郷をみることで、新たな魅力に気付こうとしている。 (ワークシート)

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室中学校
郷育「国際理解」		学 年	3年生
		生徒数	162名
		授業者	学年団
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
これまで学習してきた内容や事前調査、講話を通して様々な情報を収集している。		事前調査や講話を通じて得た情報を取捨選択し、そこから考えた自分の意見をわかりやすくまとめて発信している。	自分と相手、双方の文化や考え方を知ることによって「違い」を理解し、相手を尊重しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
インターネット等を活用したり講話の際に質問したりすることを通じて、様々な情報を収集する。		日本（芽室町）と比較しながら講師の出身国について、得た情報をもとに効果的に新聞の形にまとめる。	日本（芽室町）と講師の出身国の文化について、その違いを尊重しながら、他者に発表（発信）する。
3 単元の指導と評価の計画（全6時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探 究	◆講師の出身国について調査し、講話の際に行う質問を検討する。 ○図書室等の書籍やインターネット等を活用し、情報を収集する。 ○収集した情報をもとに、質問を検討する。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 - 書籍やインターネット等を効果的に活用して、情報収集をしている。 - 日本（芽室町）との共通点や相違点を考えながら、質問を検討している。（書籍 タブレットの活用）
2 ～ 4	探 究	◆日本（芽室町）と講師の出身国の文化について、事前に収集した情報や講話をもとに共通点・相違点を考える。 ○講話を聴きながら、講師の出身国の文化等に興味をもち、質問や意見を述べる。 ○新聞にまとめることをイメージしながら、講話で得た情報について書きとる。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 - 講師の話を受け止め、質問をしたり意見を出したりしている。 - 講話で得た情報から日本（芽室町）の文化等との共通点や相違点をさらに深く考えようとしている。（Google スライド）
5 ～ 6	発 信 提 案	◆日本（芽室町）と世界の国々との共通点や相違点を、わかりやすくまとめる。 ○収集した材料を、Google ドキュメントを使って新聞の形式でまとめる。 ○レイアウトや見出し、意見のまとめ方について相手意識をもって行い、よりわかりやすく伝えられる工夫を考える。	【思考・判断・表現】【態度】 - Google ドキュメントの性質を理解し、相手意識をもって、よりわかりやすく効果的にまとめようとしている。（新聞） - 日本（芽室町）と世界の国々（講師の出身国）の文化等の共通点や相違点をまとめる作業を通じて、さらに芽室町に対する興味や愛着をもとうとしている。（ワークシート）

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室中学校
郷育「地域学習・修学旅行」		学 年	3年生
		生徒数	162名
		授業者	学年団
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習内容や旅行先での体験をもとに、考えたことを発信（表現）する力を身につけている。		相手意識をもって、発信する内容を吟味し、わかりやすく伝えるようにしている。	芽室町の魅力をふまえ、他地域との違いを主体的に自分たちで設定した課題に沿って探究しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
各教科で学習した内容や各種書籍・インターネット等で情報収集をする。		これまで収集した芽室町の魅力や修学旅行訪問先の地域で得た情報について、Google スライドで効果的にまとめる。	芽室町と他地域との違いについて根拠を示して論理的にまとめ、自分の思いや考えを他者にわかりやすく発表（発信）する。
3 単元の指導と評価の計画（全15時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 3	探 究	◆芽室町と修学旅行の訪問先の地域を比較しながら、旅行期間の日程や想定される様々な事柄について考察しよう。 ○「修学旅行のしおり」で学習を深める。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 自分の状況を適切に判断し、質問をしたり意見を出したりしている。（修学旅行のしおり）
4 ・ 5	発 信 提 案	◆学年集会や委員会活動で、組織的な計画・運営を行おう。 ○現在の状況を把握し、よりよい自己・学年集団を目指して質疑応答に参加する。	【態度】 これまで学習した内容をもとに、主体的に学習に臨んでいる。（ワークシート）
6	探 究	◆修学旅行を振り返り、自己や学年集団の成果を考えよう。 ○修学旅行期間の体験内容を振り返り、ワークシートを使って成果をまとめる。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 自己や学年集団の現状を把握し、的確にまとめている。（ワークシート）
7 ～ 12	発 信 提 案	◆芽室町と他地域を比較し、書籍やインターネット、これまで収集した情報をもとに発表資料をまとめよう。 ○収集した材料を、Google スライドを使ってまとめる。 ○レイアウトや見出し、効果音等について相手意識をもって使い、よりわかりやすく伝えられる工夫を考える。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 - Google スライドの性質を理解し、効果的にまとめている。 - 芽室町と他地域との比較をわかりやすく伝えている。（Google スライド）
13 ～ 15	発 信 提 案	◆芽室町と他地域との違いを、わかりやすく発表しよう。 ○これまでの発表をふまえ、原稿を作ったり練習を重ねたりしてよりよい発表をする。	【思考・判断・表現】【態度】 - 発表の仕方を工夫して他者に伝わるようにしている。 - 他地域との違いから、さらに芽室町に対する興味や愛着をもとうとしている。（ワークシート）

めむろ未来学（道徳） 単元デザイン			
単 元 名		学校名	芽室中学校
郷育「島唄の心を伝えたい」		学 年	3年生
		生徒数	162名
		授業者	学年団
1 項目			
C（16）郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度			
郷土の人々や土地を愛し、誇りをもって大切にしている「私」の姿に共感することで、郷土の自然や文化に愛着をもち、先人に対する尊敬や感謝の念を深めるとともに、自らもその発展に努めようとする心情を育てる。			
2 探求・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探求型の学び		提案型の学び	発信型の学び
十勝の歌の歌詞から、十勝に息づく心や想いについて考える。		芽室町への思いを交流し合うことで、郷土意識を高めていく。	
3 単元の指導と評価の計画（全1時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探 究 提 案	◆芽室町が好きか？ ○理由を交流し合うことで、それぞれがもつ、現在の故郷への想いを明確にしていく。	【態度】 - 積極的に意見を出している。 - 気になった意見をメモしている。
		◆主人公の心の変化はどうか？ ○故郷を大切に思う理由を想像することで、郷土意識を高める。	主人公の思いを自分と照らし合わせ、想像している。
		◆芽室、十勝、北海道にちなんだ歌には、どんなものがあるか。どんな思いが込められているか。 ○交流を通して、芽室、北海道の新たな魅力を再発見する。	歌から伝わるメッセージを意欲的に考え、意見を出している。
		◆芽室町で大切にしていきたいこと、そのために、私達ができる事を考えよう。	- 様々な視点から故郷を見ることで、新たな魅力に気付いている。 - 自分事として捉え、身近なことであることを考えている。 （ワークシート）

Ⅲ 芽室南小・芽室中エリア

○検証授業のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・芽室南小学校

「スポットCMをつくろう」

○検証授業のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・芽室中学校

「新嵐山を散策して芽室町の観光を提案しよう」

○「めむろ未来学」全体計画 芽室南小・芽室中編

○単元計画（追録）

小	学校のことをつたえあおう	1年	国語
	きせつとなかよし・あき	1年	生活
	町の「すてき」をつたえます	2年	国語
	めざせ 野さい作り名人	2年	生活
	町の行事について発表しよう	3年	国語
	めむろまるごと農園活動	3年	総合
	残したいもの伝えたいもの	4年	社会
	めむろまるごと農園活動	4年	総合
	「町じまん」をすいせんしよう	5年	国語
	農園活動	5年	総合
	地域の防災について話し合おう	6年	国語
	農園活動	6年	総合
中	芽室の魅力再発見！～芽室の観光を提案しよう～	1年	総合
	25歳の自分～高校や職業から将来を考えよう～	1年	総合
	郷育「ぼくのふるさと」	1年	道徳
	郷育「地域学習・宿泊学習」	2年	総合
	夢育「進路学習」	2年	総合
	郷育「心でいただく伝統の味」	2年	道徳
	郷育「国際理解」	3年	総合
	郷育「地域学習・修学旅行」	3年	総合
	郷育「島唄の心を伝えたい」	3年	道徳

※芽室中学校の授業検証及び単元計画は芽室小エリアに掲載します

「めむろ未来学」全体計画（令和5年度）

芽室南小・芽室中編

めむろ未来学は、ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを、小・中9ヶ年ですすめるものです

		夢育関連の単元			郷育関連の単元							
		小学校第1学年	小学校第2学年	小学校第3学年	小学校第4学年	小学校第5学年	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年		
単元（題材）名	教科	国語 英語	学校のことを伝えよう（国語）	町の「すてき」をつたえます（国語）	クラスの「生き物ブック」を作ろう（国語）	リーフレットで知らせよう（国語）	伝えるように構成を考えよう（国語）	地域の防災について話し合おう（国語）	読み手を意識して報告文を整える。（国語）	よりよい結論を導く討論をする（国語）	表現の工夫を評価してスピーチをする（国語）	
			思い出のアルバム（国語）	これまでこれから（国語）	町の行事について発表しよう（国語）	新聞を作ろう（国語）	「町じまん」をすいせんしよう（国語）		調べた内容を聞く（国語）		コミュニケーションの場を考える一環に応じた表現や話題（国語）	
		社会 生活	クリーン作戦（生活）				自分の成長を振り返って（国語）	考えを広げるために立場を決めて話し合おう（国語）			自分の住んでいるところについて伝えよう。あなたの夢を語ろう！（英語）	ディベートをしよう（英語）
			きせつとなかよし（春夏秋冬）（生活）	町がだいすきたんけんたい（生活）	町の様子（めむろ学）		低い土地の暮らし（社会）	私たちの生活と政治（社会）				
		理科	めむろのみりよく発見隊（生活）	としゃかんをたんけんしよう（生活）	農家の仕事、工場の仕事（めむろ学）	水はどこから（めむろ学）	国土の気候の特色（社会）				地方自治と私たち（社会）	
			図工 算数 数学	まちのくふうをさがそう（生活）	店ではたらく人（めむろ学）	ゴミの処理と利用（めむろ学）	あたたかい土地のくらし寒い土地のくらし（社会）	「土地のつくり」（理科）	身の回りの生物の観察（理科）	明日の天気を予想する。（理科）		
		しごとにチャレンジしよう（生活）			火事から仕事を守る（めむろ学）	地震から暮らしを守る（めむろ学）	くらしを支える食糧生産（社会）					
		町の人にもつたえよう（生活）		事故や事件から暮らしを守る（めむろ学）	残したいもの、伝えたいもの（文化・行事）（めむろ学）	これからの食糧生産とわたしたち（社会）						
				めむろのみりよく発見隊（生活）	町の様子の移り変わり（めむろ学）	地域の尽くした先人（めむろ学）	情報を生かす産業（社会）		ゴルフの得点の表し方（数学）	コンビニのデータ活用（数学）	自分は芽室町のどこにいてしょう（数学）	
		その他	消防車の絵をかこう（図工）	めざせ野さい作り名人（生活）	ねん土マイタウン（図工）	地域の尽くした先人（めむろ学）	植物の発芽や成長（理科）			町の建物を三平方の定理を使って測ってみよう（数学）		
						写生会（図工）	花から実へ（理科）	「共に生きる地域での生活」（家庭）		町の建物を相似を使って図ってみよう（数学）		
		総合的な学習 食農教育	食農体験							食農体験		
			栄養教諭食育指導（生活）6月			栄養教諭食育指導（総合）7月		栄養教諭食育指導（総合）6月・9月		栄養教諭食育指導（総合）7月・2月・3月		
				クリーン作戦（校外清掃）						めむろ地域学習（総合）	地域職場学習・進路学習（総合）	地域学習・芽室と課題を取り組みの提案（総合）
	みんなだれかに（道徳）		ひかり小学校のじまはね（道徳）	伝統文化の尊重（道徳）				うちら「ネコの手ボランティア」（道徳）	教育長講話	地域学習・宿泊学習（総合）	町長講話	
	みつけてみよう（道徳）		広いせかいのたくさんの人たちと（道徳）	国や郷土を愛する態度（道徳）				白山山地（道徳）	めむろの魅力再発見（総合）	職場体験学習（総合）	地域学習・修学旅行（総合）	
			今ほくにできることなら（道徳）	「ふるさといいとこさがし」（道徳）	「ふるさとを守った大イチョウ」（道徳）	親から子へ、そして孫へ（道徳）	新しい日本に～龍馬の心～（道徳）	ぼくのふるさと（道徳）	住みよい社会に（道徳）	島唄の心を伝えたい（道徳）		
								郷土を掘る（道徳）	心でいただく伝統の味（道徳）			
								案番号に乗って（道徳）	今度は私の番だ（道徳）			
	スキー体験学習							本が泣いてます（道徳）	大切なものは何？（道徳）			
								桜に集う人々（道徳）	冬の使者マガン（道徳）			
特別活動												

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

生活科・総合的な学習の時間等で身に付けたい力	課題設定		身近な人々・社会・自然などとの関わりや学習したことなどに対する、気づき・興味から課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などとの関わり、疑問を持った興味を広げたりして、課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などとの関わりを範囲を広げる中で抱いた、疑問や興味に対して、目的・対象・方法を明確にして、実生活に結び付けよう、課題を選択・設定することができる	様々な人々・社会・自然などとの関わりの中から問題を見つけ、目的・対象・方法を明確にして、実社会、実生活に結び付けよう、課題を選択・設定することができる
	探究	知る	気付きや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集することができる	身近な人や施設でのインタビューや図書を利用するなどして、課題に沿った情報を収集することができる	課題意識を持って、ネットや書籍等を利用したり専門家に聞いたりして、必要な情報を収集・選択することができる	収集した情報を課題に結び付けたり、目的に応じて手段を選択し情報収集したりすることができる
		学び・発見	情報（気付きや思ったことなど）を出し合い、共通点や違いがあることや、分類したり比べたりすることのよさに気付くことができる	情報（気付きや思ったことなど）を出し合い、話し合いの中で共通や違いがあることに気付いたり、比較や分類をしたりすることができる	思考ツールなど、提示された方法を用い、情報を分類、比較、結合させるなどして分析することができる	思考ツールなど適切な方法を選択し、情報を分類、比較、結合するなどして、関連付けたり体系化したりすることができる
	発信・提案		活動を通して得た気付きや学んだことを順序立てて考えることができる。分かりやすい方法でまとめ、伝え合うことができる	体験や調査に基づいて、目的に応じた方法で自分の思いや考えをまとめることができる。大切なことが相手に伝わるよう工夫して伝え合うことができる	相手や場・目的に応じ自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる	相手や場・目的に応じ客観性のある根拠を示して自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる

全ての土台となる力	話す・聞く力	・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動
	対話する力	・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動
	ICT活用能力	GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動				

芽室町教育研究所

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
きいた ことを 正しくつたえよう 学校の ことを つたえあおう		学 年	1 年生
		児童数	9 名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。		「話すこと・聞くこと」において，伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。	進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し，今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
自分が選んだ内容を発表するために，必要な資料を調べたり，インタビューや見学に行ったりする。		集めた情報を根拠とし，その根拠を明らかにしながら自分が選んだ内容を提案する。	自分が選んだ内容を文章にまとめ発信する。
3 単元の指導と評価の計画（全7時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆学習の見通しをもとう ○単元名やリード文を読み，学校のことをみんなに伝えるという学習のねらいと流れをつかむ。	【主体的に学習に取り組む態度】 学習について見通しを持ち，学校についてみんなにつたえることのながれをつかもうとしている。 【知識・技能】 姿勢や口形，発声や発音に注意して話している。 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において，伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において，話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し，今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。
2	探究型	◆決めよう・集めよう ○話を聞く相手と，聞きたいことを考える。 ○先生や学校で働いている人のことを思い出し，話を聞きたい相手や聞きたいことについて考える。	
3 4	探究型	◆組み立てよう ○友達と話し合い，聞きに行く練習をする。 ○P106・107 の「1・2」を読み，聞きたい相手と聞きたいことを決め，「ここがだいじ」を参考に，一緒に聞きに行く友達と，聞くことを分担したり，相手に応じた言葉づかいを考えて練習したりする。	
5	提案型	◆話そう・聞こう（重点） ○聞いたことを友達に伝える。 ○P108 の(1)を読み，聞いたことをあとでメモとして作ることを心にとめて，実際に聞きに行く。	
6	提案型	◆話そう・聞こう ○聞いたことを思い出しながら協力してメモを作る。 ○メモをもとにクラスの人みんなに話すことを確かめ，話す順番を決めて練習する。	
7	発信型	◆伝え合おう ○感想を伝え合う。	

めむろ未来学（生活） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
きせつとなかよし あき		学 年	1 年生
		児童数	9 名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。		秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いや特徴見付け、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。	秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
みんなでしてみたい秋の活動を話し合い、活動への見通しを立て、スカイパーク嵐山に行って、実際に行う活動を明らかにしていく。		木の実や葉でどのような遊びをしたいか考えたり伝え合ったりしながら、自分がすすめる活動について提案する。	スカイパーク嵐山での学習活動や秋の自然で気づいたことなどを発表する。
3 単元の指導と評価の計画（全5時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆秋にできる活動を考えよう ○生活の中で見つけた秋を発表する。 ○秋の野原や公園は、夏と比べて、どのように変わったか予想をする。 ○みんなでしてみたい秋の活動を話し合い、活動への見通しを立てる。	【知識・技能】 季節の移り変わりによる生活の変化や自然の样性に気付いている。 【思考・判断・表現】 春や夏の様子を思い起こして、秋の野原や公園の様子を予想している。 【主体的に学習に取り組む態度】 秋の野原を思い出して、どんな活動ができるか話し合おうとしている。
2 ～ 3	探究型	◆あきを見つけにいこう ※「のらさん」によるワークショップ活用 ○秋のスカイパーク嵐山に行く計画を立てる。 ○春や夏に虫を見つけた場所で虫や虫のすみかを探す。 ○秋の草花や樹木などを観察し、季節の変化に気付く。 ○気づいたことや心に残っていることを絵や文などで表現する。	【知識・技能】 風や光、動植物などが、春や夏と変化していることや、秋の特徴に気付いている。 【思考・判断・表現】 風や光、動植物などを春や夏と比較しながら、観察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 風や光、植物や生きものを見付けて、秋の自然を楽しもうとしている。

4	提案型	◆木のみや葉のとくちょうを生かして遊ぼう ○木の実や葉を拾って、どのような場所にあったかを考えたり、友達と伝え合ったりする。 ○木の実や葉でどのような遊びをしたいか考えたり伝え合ったりしながら集めたり遊んだりする。	【知識・技能】 落葉樹や常緑樹，木の実などを拾い，自然の中のきまりや事象の不思議さに気付いている。 【思考・判断・表現】 木の実や葉を形や色などで分けたり，比べたりしながら，集めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 木の実や葉の特徴を生かして，楽しく遊ぼうとしている。
5	発信型	◆なにをかんじたかな ○前時にカードに描いた内容について，友達に紹介したり伝え合ったりする。 ○友達と伝え合いをして気付いたことや感想を発表する。 ○これからどんな活動をしていきたいのかを考える。 ○これからどんなことをしていきたいかを発表し，クラス全体で話し合う。話し合ったことをもとに，今後何をしていくかをクラス全体で決める。 ※参観日などで、スカイパーク嵐山での学習活動で気づいたことを発表する。	【知識・理解】 多様な木の実や葉の形や色などを生かした遊びができることに気付いている。 【思考・判断・表現】 自分が見つけた秋の特徴や自然物と，友達とを比べながら，伝え合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 秋を楽しむ遊びに向けて，計画を立てようとしている。

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
まとまりを考えて書こう 町の「すてき」をつたえます！		学 年	2年生
		児童数	12名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。		「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして報告する文章を書こうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
自分が選んだ内容を「町じまん」を推薦するために、必要な資料を調べたり、インタビューや見学に行ったりする。		集めた情報を根拠とし、その根拠を明らかにしながら自分が選んだ内容を「町じまん」として推薦（提案）する。	自分が選んだ「町じまん」を、ポスターなどにまとめ発信する。
3 単元の指導と評価の計画（全10時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆決めよう・集めよう ○探検したい場所を決めて探検し、探検したことを「町たんけんカード」に書く。	【主体的に学習に取り組む態度】 学習について見通しを持ち、「町じまん」の候補を選択している。 【思・判・表】 自分が選んだ候補について、調べる事柄や方法を考えている。 【知識・技能】 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。
2	探究型	◆決めよう・集めよう ○「町たんけんカード」の中から、「見つけたこと」「聞いたこと」「思ったこと」などを抜き出してメモに書く。 ※生活科の「町たんけん」の学習を活用する。	
3 ～ 5	提案型	◆決めよう・集めよう ○メモに書いたことについてペアで読み合い、話し合う。	
6	提案型	◆組み立てよう（重点） ○「はじめ・中・おわり」に何を書くか考える。	
7 ～ 9	提案型	◆書こう・読み返そう（重点） ○文章を書き、読み返す。	
10	発信型	◆伝え合おう ○書いた文章を読み合い、よいところを伝え合う。 ○学習を振り返る。	【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして報告する文章を書こうとしている。

めむろ未来学（生活） 単元指導計画			
単 元 名	学校名	芽室南小学校	
めざせ 野さい作り名人	学 年	2年生	
	児童数	12名	
	授業者	担任	
1 単元の目標			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
野菜などの植物を育てる活動を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。	野菜などの植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	野菜などの植物を育てる活動を通して、植物への親しみをもち、大切にしようとしている。	
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び	
収穫に向けて、作物の栽培方法やその時その時の作業について、必要な資料を用いて明らかにしていく。	学級で取り組む作物を決定する際に、調べて分かったことを根拠として、自分が薦める作物について提案する。	農園での作業や作物についてまとめ、気づいたことなどを交流する。	
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆めむろ町で作られている野菜をそだてよう ○いつも食べている野菜は、どのようにして作られているのか、1年生の時の花の栽培や、これまでの経験から予想してみる。 ○花の栽培を通して培った力で、自分でも育てることができると気付いたり、何を育てたいか考えたりする。	【知識・技能】 野菜を育てる時期や場所に気付いている。 【思考・判断・表現】 1年生で花を育てたことを思い起こしながら、野菜を育てる計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】 野菜を育てることに関心をもって、育てる野菜を決めようとしている。
2	探究型	◆野菜をそだてよう ○教科書や図鑑などを使って調べたり、地域で野菜を作っているや身近な人に聞いたりして育てたい野菜を決める。 ○野菜の種類に応じて必要な準備や世話の仕方について知る。 ○収穫した野菜をどうしたいのか話し合う。	【知識・技能】 育てる野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。 【思考・判断・表現】 植物を育てた経験を生かして、育ててみたい野菜を選んだり、育てる場所を決めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 おいしい野菜を育てたいという願いをもって、計画を立てようとしている。
3	探究型	◆なえをうえよう ○適切な土を調べて準備をする。 ○苗の植え付けや種まきのやり方を知り、用意した容器や学級園に苗を植えたり種をまいたりする。 ○野菜に合った適切な世話を考える。	【知識・技能】 苗や種の特徴や、育てている野菜に合った世話の仕方に気付いている。 【思考・判断・表現】 世話の仕方を調べたり、詳しい人に聞いたりして、種や苗を植えようとしている。

		○葉、莖、根などの植物のからだのつくりを、自分が育てている野菜とほかの植物とで比較する。	【主体的に学習に取り組む態度】 土づくりなどをして、苗や種を大切に育てることができるようにする。
4 ～ 5	提案型	◆世話をしよう ○野菜の成長の様子を観察し、気付いたことをカードに記録したり、伝え合ったりする。 ○自分の世話について伝え合ったり表現したりし、そのよさに気付く。 ○野菜の成長に合わせた世話の仕方を知り、大切に世話をする。	【知識・技能】 野菜の世話において、支柱立てや追肥などの適切な世話をしている。 【思考・判断・表現】 わからないことについて調べたり、詳しい人に聞いたりしたことを活用し、育てたり観察したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 野菜の成長や変化に関心をもち、観察や世話をしようとしている。
6	提案型	◆しゅうかくしよう ○野菜の収穫の時期を知り、それを確かめて収穫をする。 ○野菜を収穫した喜びを多様な方法で表現したり、友達に伝えたりする。	【知識・技能】 野菜にも生命があることに気付いている。 【思考・判断・表現】 自分の世話と関連付けながら、収穫している。 【主体的に学習にとりくむ態度】 野菜の成長や変化に関心をもち、観察や世話をしようとしている。
7 ～ 8	提案型	◆後かたづけをしよう ○野菜の収穫後の後片づけをする。 ○これまでのカードなどをもとに、野菜の世話をして、うれしかったことや心配したこと、栽培を通してできるようになったことなどを思い出し、いろいろな方法でまとめる。	【知識・技能】 育てた野菜への親しみが増したことに気付いている。後片づけの際、適切な方法で片づけている。 【思考・判断・表現】 苗植え（種まき）から収穫までの、さまざまな出来事を振り返りながら、片づけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で野菜を育てたことを実感し、自信をもちながら、後片づけをしようとしている。
9	提案型	◆野菜のことをふりかえろう ○野菜の成長や収穫の喜び、野菜を育ててしたことや考えたこと、自分自身が成長したことなどについて話し合ったり伝え合ったりする。 ○収穫した野菜を家庭で調理して食べる。食べた感想をカードなどにまとめ伝え合う。	【知識・技能】 野菜への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 【思考・判断・表現】 野菜を育てる前の自分と比較して、野菜への親しみが増したことを絵や文で表現したり、伝え合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 野菜を育てたことを、これからに生かし、豊かに生活しようとしている。

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
町の行事について発表しよう		学 年	3年
		児童数	14名
		授業者	担任
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・声の大きさや間の取り方など、相手意識をもって話すことができる。 ・引用の仕方や出典の示し方、辞書や辞典の使い方を理解して使っている。		・必要な情報をまとめ、話の中心をはっきりさせて話し、伝わりやすい工夫をすることができる。	・芽室町の行事に興味をもち、進んで情報を整理しながらまとめて、わかりやすく発表することができる。
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・芽室町にはどのような行事があるのか調べ、みんなに紹介したい行事について詳しく調べる。		・自分が調べた行事について、よいところを全体へ提案する。	・自分が調べた芽室町の行事について、グーグルスライドでまとめ、発表・交流する。
（３） 単元の指導と評価の計画（全7時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究型	◆発表する行事を決めよう ○教科書を読んで学習の見通しを持ち、芽室町にはどのような行事があるか調べる。 ○自分が発表する行事を決定する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇学習の見通しを持ち、芽室町の行事について関心をもっている。
3 4 5	探究型	◆行事について調べてまとめよう ○集めた資料を整理し、どの資料をどのように使って発表するか考える。 ○「発表台本の例」などをもとに、資料提示の仕方を考えて発表台本を作る。	【知識・技能】 ◇必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。 【思考・判断・表現】 ◇集めた資料、情報をどのように使えば効果的に使えるか、工夫をすることができる。
6 7	発信型	◆資料を使って発表して、感想を伝え合おう ○クラスで発表会を開き、資料を使ってわかりやすく話したり、大事なところに気をつけて聞き合ったりする。 ○それぞれの発表のよいところやもっと工夫できるところについて、感想を伝え合う。	【思考・判断・表現】 ◇芽室町の行事の特色が伝わりやすいよう、話し方や発表の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ◇発表のよいところやもっと工夫できるところについて、感想を伝え合うことができる。

めむろ未来学（総合的な学習の時間）				単元指導計画	
単 元 名			学校名	芽室南小学校	
めむろまるごと農園活動			学 年	3 年	
			児童数	1 1 名	
			授業者	JA 青年部・担任	
（１） 単元の目標					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。 ・作物の栽培方法を理解することができる。 ・作物の様子や変化について、わかりやすく記録することができる。		・作物の生育状況から、必要な作業やそのために必要な用具などを考え、作業することができる。 ・記録をもとに考察し、表現することができる。		・農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。	
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て					
探究型の学び		提案型の学び		発信型の学び	
・収穫に向けて、作物の栽培方法や必要な作業について調べ、実践していく。		・学級で取り組む作物を決定する際に、調べて分かったことを根拠として、自分が薦める作物について提案する。		・農園での作業や作物についてまとめ、気づいたことなどを交流する。	
（３） 単元の指導と評価の計画（全20時間）					
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）		評価の観点【 】 評価規準	
1 2 3	探究型	◆農園活動の計画を立てよう ○今年度の見通しをもち、栽培したい作物について考える。 ○自分が推薦する作物を紹介しながら、学級で取り組む作物を決定する。		【主体的に学習に取り組む態度】 ◇農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。	
4 5	探究型	◆育て方を調べよう ○自分が選んだ作物の栽培方法などを詳しく調べ、記録する。		【知識・技能】 ◇必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。	
6 ～ 11	探究型	◆畑の世話をしよう ○JA 青年部の方にサポートしてもらいながら、作物の植え付けをする。 ○作物の育成状況に合わせた作業を確認したり、必要な作業に取り組んだりするとともに、様子を記録する。 ○JA 青年部の方に生育状況や今後の作業などについてアドバイスしてもらう。		【知識・技能】 ◇作物の様子や変化について、わかりやすく記録することができる。 【思考・判断・表現】 ◇作物の生育状況から、必要な作業やそのために必要な用具などを考え、作業することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ◇友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。	
12 ～ 14		◆収穫祭をしよう（計画） ○お世話になったJA 青年部の方と収穫祭をするための計画を立てる。		【主体的に学習に取り組む態度】 ◇収穫祭の計画に興味をもち、実施に向けて進んで考えを話すことができる。	
15 16		◆収穫祭をしよう（当日） ○収穫したじゃがいも、とうもろこしなどを、煮る・焼くなどの簡単な調理をして味わう。		【主体的に学習に取り組む態度】 ◇友達と力を合わせ、進んで活動に取り組もうとしている。	
17 ～ 20	発信型	◆農園活動を振り返ろう ○農園活動について振り返り、取り組んできたことや気づいたことなどをまとめる。		【思考・判断・表現】 ◇記録をもとに活動や作物について考察し、表現することができる。	

めむろ未来学（社会） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
残したいもの伝えたいもの		学 年	4 年
		児童数	1 1 名
		授業者	担任
（１） 単元の目標			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・歴史的背景や現在に至る経過について見学、調査したりして必要な情報を集め、町内の文化財や年中行事の様子を理解できる。	・学習したことをもとに地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えたり、選択、判断したりして表現することができる。	・芽室町の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えようとしている。	
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び	
・芽室町にはどのような行事があるのか調べ、みんなに紹介したい行事について詳しく調べる。	・自分が調べた行事について、よいところを全体へ提案する。	・自分が調べた芽室町の行事について、グーグルスライドでまとめ、発表・交流する。	
（３） 単元の指導と評価の計画（全9時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆学習課題を考えよう ○芽室町内の古くからあるものについて話し合う。 ○古くからあるものにはどのような願いがこめられているのか考える。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇これからの学習を確認し、学習課題の解決に向けて見通しをもつ。
2 3	探究型	◆古くからある町内の建物 ○松久園の母屋はどのような建物なのか、いろいろな方法で調べる。 ○松久園はどのように守られてきたのか調べる。	【知識・技能】 ◇松久園やそれを保存する人々の様子について理解している。
4 5	探究型	◆古くから伝わる町内の芸能、お祭り ○メムオロ太鼓、氷灯夜はどのような芸能、お祭りを調べる。 ○調べてわかったことを交流する。	【知識・技能】 ◇メムオロ太鼓・氷灯夜の様子と、それを保存する人々の様子について理解している。
6 7	探究型	◆芽室町発祥のゲートボール ○なぜゲートボール発祥の地になったのか調べる。 ○今のゲートボールの様子を調べる。 ○調べてわかったことを交流する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇ゲートボールに興味を持ち、全国大会に向けて関心を高める。

8 9	発信型 提案型	◆古くから残るものについて年表にまとめよう ○これまでに調べたことを年表にまとめる。 ○古いものを保存・継承している人々は、どのような工夫や努力をしているか考える。	【思考・判断・表現】 ◇学習したことをもとに，芽室町の伝統や文化の保存や継承に関わって，自分たちにできることを考える。
----------------	--------------------	---	--

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
めむろまるごと農園活動		学 年	4 年
		児童数	1 1 名
		授業者	JA 青年部・担任
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。 ・作物の栽培方法を理解することができる。 ・作物の様子や変化について、わかりやすく記録することができる。		・作物の生育状況から、必要な作業やそのために必要な用具などを考え、作業することができる。 ・記録をもとに考察し、表現することができる。	・農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・収穫に向けて、作物の栽培方法や必要な作業について調べ、実践していく。		・学級で取り組む作物を決定する際に、調べて分かったことを根拠として、自分が薦める作物について提案する。	・農園での作業や作物についてまとめ、気づいたことなどを交流する。
（３） 単元の指導と評価の計画（全２０時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2 3	探究型	◆農園活動の計画を立てよう ○今年度の見通しをもち、栽培したい作物について考える。 ○自分が推薦する作物を紹介しながら、学級で取り組む作物を決定する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。
4 5	探究型	◆育て方を調べよう ○自分が選んだ作物の栽培方法などを詳しく調べ、記録する。	【知識・技能】 ◇必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。
6 ～ 11	探究型	◆畑の世話をしよう ○JA青年部の方にサポートしてもらいながら、作物の植え付けをする。 ○作物の育成状況に合わせた作業を確認したり、必要な作業に取り組んだりするとともに、様子を記録する。 ○JA青年部の方に生育状況や今後の作業などについてアドバイスしてもらう。	【知識・技能】 ◇作物の様子や変化について、わかりやすく記録することができる。 【思考・判断・表現】 ◇作物の生育状況から、必要な作業やそのために必要な用具などを考え、作業することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ◇友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。
12 ～ 14		◆収穫祭をしよう（計画） ○お世話になったJA青年部の方と収穫祭をするための計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇収穫祭の計画に興味をもち、実施に向けて進んで考えを話すことができる。
15 16		◆収穫祭をしよう（当日） ○収穫したじゃがいも、とうもろこしなどを、煮る・焼くなどの簡単な調理をして味わう。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇友達と力を合わせ、進んで活動に取り組もうとしている。

17 ～ 20	発信型	◆農園活動を振り返ろう ○農園活動について振り返り，取り組んできたことや気づいたことなどをまとめる。	【思考・判断・表現】 ◇記録をもとに活動や作物について考察し，表現することができる。
---------------	-----	--	--

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
「町じまん」をすいせんしよう		学 年	5年生
		生徒数	16名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。		・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	・推薦するもののよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうかに留意して聞いたりすること。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。		・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究型	◆推薦するものを決めて調べよう。 ○自分が推薦したいものについて調べたことを、「よいところ・課題」の両面から表にまとめる。「課題」は推薦できない理由になるか、別の見方はないか吟味する。 ○「町とのつながり」はどこかを明確にして推薦理由を考える。	【知識・技能】 ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 （〔知識及び技能〕（2）イ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に相手や目的、内容に合わせた構成を考え、今までの学習を生かして推薦するもののよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうかに留意して聞いたりしようとしている。
3	探究型 提案型	◆組み立てよう ○聞き手が納得するような構成を考え、発表の練習をする。 ○整理した表から、聞き手が納得するような理由を2～3点挙げ、表に整理して、述べ方の工夫を考える。 ○構成メモができたならグループで発表練習をする。	
4	発信型	◆話そう・聞こう ○発表会を開く。	【思考・判断・表現】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを相手の意図を考えながら聞いたりすることができる。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
農園活動		学 年	5年生
		生徒数	16名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。 ・作物の栽培方法や手入れの仕方を理解することができる。		・作物の生育状況から、必要な作業やそのために必要な用具などを考え、作業をすることができる。	・農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・収穫に向けて、作物の栽培方法やその時、その時の作業について、必要な資料を用いて明らかにしていく。		・学級で栽培する作物を決定する際、調べてわかったことを根拠にして、自分が薦める作物について提案する。	・農園での作業や作物を使った調理活動についてまとめ、気づいたことを交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 3	探究型	◆農園活動の計画を立てよう ○今年度の見通しをもち、栽培したい作物について考える。 ○作物の担当を決める。 ○調理する料理を決める。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べる学習に取り組もうとしている。
4 ～ 6	探究型	◆育て方を調べよう ○自分が選んだ作物の栽培方法などを詳しく調べる。	【知識・技能】 ◇作物の栽培方法を理解することができる。
7 ～ 20		◆作物を植え付けしよう ◆作物の世話をしよう。 ○作物を植え付け、継続的に世話をする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇作物に応じた適切な植え方に興味をもち、友達と協力しながら作業に取り組んでいる。
21 ～ 24	提案型 発信型	◆作物を使った調理をしよう ○収穫した作物を使って、調理実習を行う。 ◆調理をした成果をふりかえろう ○調理したものを試食し、感想などを交流する。	【思考・判断・表現】 ◇作物の特徴を考え、適した調理を実践している。

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
地域の防災について話し合おう		学 年	6年生
		生徒数	15名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れる。		・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 ・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。	・立場や意見をはっきりさせて話し合ったり、パンフレットを作成して伝えようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。		・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。	・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。
3 単元の指導と評価の計画（全6時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1		◆学習の見通しをもとう ○単元名やリード文を読み、お互いの意見を尊重し合いながら話し合うことについて考え、学習の見通しをもつ。	【知識・技能】 ・思考に関わる語句の量を増やし、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。〔知識及び技能〕(1)オ
2	探求型	◆立場を決め、くわしく調べよう ○教科書を読み、パネルディスカッションの意図と進め方を知る。 ○自分たちで話し合うテーマを設定する。	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ
3	探求型	◆資料をもとに主張を組み立てよう ○テーマに対する観点とグループのメンバーを決める。 ○地域の防災に限らず、芽室町の課題や特色についての題材とする。	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く意見の違いを大事にしながら話し合い、学習の見通しをもち考えを深めようとしている。
4 ～ 6	提案型 発信型	◆パネルディスカッションを行おう ○パネルディスカッションを行う。感想を伝える。	同上

6	発信型	◆パネルディスカッションを行った感想を伝え合おう ○パネルディスカッションを行った後に互いに感想を伝え合う。	【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 （〔思考力、判断力、表現力等〕A才） 【態度】 ・粘り強く意見の違いを大事にしながら話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。
---	-----	--	---

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
農園活動		学 年	6年生
		生徒数	15名
		授業者	担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。 ・作物の栽培方法や手入れの仕方を理解することができる。		・作物の生育状況から、必要な作業やそのために必要な用具などを考え、作業をすることができる。	・農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・収穫に向けて、作物の栽培方法やその時、その時の作業について、必要な資料を用いて明らかにしていく。		・学級で栽培する作物を決定する際、調べてわかったことを根拠にして、自分が薦める作物について提案する。	・農園での作業や作物を使った調理活動についてまとめ、気づいたことを交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 2	探究型	◆農園活動の計画を立てよう ○今年度の見通しをもち、栽培したい作物について考える。 ○作物の担当を決める。 ○調理する料理を決める。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べる学習に取り組もうとしている。
3 ～ 7	探究型	◆育て方を調べよう ○自分が選んだ作物の栽培方法などを詳しく調べる。	【知識・技能】 ◇作物の栽培方法を理解できている。
8 ～ 18		◆作物を植え付けしよう ◆作物の世話をしよう。 ○作物を植え付け、継続的に世話をする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇作物に応じた適切な植え方に興味をもち、友達と協力しながら作業に取り組んでいる。
19 ～ 22	提案型 発信型	◆作物を使った調理をしよう ○収穫した作物を使って、調理実習を行う。 ◆調理をした成果をふりかえろう ○調理したものを試食し、感想などを交流する。	【思考・判断・表現】 ◇作物の特徴を考え、適した調理を実践している。

Ⅳ 上美生小・上美生中エリア

○検証授業のまとめ・・・・・・・・・・上美生小学校

「地域とのかかわり 農園活動」

○検証授業のまとめ・・・・・・・・・・上美生中学校

「芽室町の農業を知る～長いも辞典をつくろう～」

○「めむろ未来学」全体計画 上美生小・上美生中編

○単元計画（追録）

小	氷のお面をつくろう	1 年	図工
	食農体験（縦割り活動）	1 年	生活
	食農体験（縦割り活動）	2 年	生活
	楽しい学校生活 ひかり小学校のじまんはね	2 年	道徳
	町の行事について発表しよう	3 年	国語
	食農体験（縦割り活動）	3 年	総合
	水はどこから	4 年	社会
	食農体験（縦割り活動）	4 年	総合
	「まちじまん」をすいせんしよう	5 年	国語
	食農体験（縦割り活動）	5 年	総合
	My town is beautiful	6 年	外国
	食農体験（縦割り活動）	6 年	総合
中	地域のマークを調べてみよう	1 年	美術
	上級学校調べ	1 年	総合
	自然体験（校外）学習	1 年	総合
	Tips③ for Writing “My town”	2 年	英語
	芽室町の農業を知る～長いも辞典を作ろう～	2 年	総合
	職場体験学習	2 年	総合
	Project2 英語で卒業スピーチをしよう	3 年	英語
	地元「芽室・上美生」について考えよう	3 年	総合
	嵐山スキー学習	3 年	学活

「めむろ未来学」全体計画（令和5年度）

上美生小・上美生中編

めむろ未来学は、ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを、小・中9ヶ年ですすめるものです

		夢育関連の単元		郷育関連の単元							
		小学校第1学年	小学校第2学年	小学校第3学年	小学校第4学年	小学校第5学年	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年	
単元（題材）名	教科	国語	学校のことを伝えよう（国語）4月	町の「すてき」をつたえよう（国語）5月	クラスの「生き物ブック」を作ろう（国語）6月	リーフレットで知らせよう（国語）6月	伝えよう！構成を考えよう（国語）6月	内容を整理して説明する（国語）9月	説得力のある提案をする（国語）9月	構成を考えて主張をまとめる（国語）9月	
			思い出のアルバム（国語）3月	これまでこれから（国語）3月	町の行事について発表しよう（国語）9月	新聞を作ろう（国語）9月	「町じまん」をすいせんしよう（国語）7月	My town is beautiful（外国語）5月6月	Tips③ for Writing My town（英語）	Project2英語で卒業スピーチをしよう（英語）	
		社会生活				自分の成長を振り返って（国語）3月	考えを広げるために立場を決めて話し合おう（国語）10月				地方自治と私たち（社会）
			きせつとなかよし（春夏秋冬）（生活）5月7月9月2月	町がだいすきたんけんたい（生活）5月	町の様子（めむろ学）4月～6月	水はどこから（めむろ学）9月10月	低い土地の暮らし（社会）5月	私たちの生活と政治（社会）4月・5月			
		理科	きれいにさいてねわたしのはな（生活）5月～10月	としよかんをたんけんしよう（生活）7月	農家の仕事工場の仕事（めむろ学）6～8月	ゴミの処理と利用（めむろ学）7月8月9月	国土の気候の特色（社会）5月	身の回りの生物（理科）	大気と天気予報（理科）		
			地域探検（生活）6月	まちのくふうをさがそう（生活）7月	店ではたらく人（めむろ学）9月～10月	自然災害から暮らしを守る（めむろ学）6月	あたたかい土地のくらし寒い土地のくらし（社会）6月				
		図工美術	水のお面をつくろう（図工）1月	しごとにチャレンジしよう（生活）9月	火事から仕事を守る（めむろ学）11月	残したいもの、伝えたいもの（文化・行事）（めむろ学）10月	くらしを支える食糧生産（社会）6月	地域のマークを調べてみよう（美術）			
			写生会（図工）9月	町の人にもつたえよう（生活）9月	事故や事件から暮らしを守る（めむろ学）12月	地域の尽くした先人（めむろ学）10月11月12月	これらの食糧生産とわたしたち（社会）9月	印象に残るシンボルマーク（美術）3月	その一枚が人を動かす（美術）6月	あなたの夢を語ろう（英語）6月	
		その他	紙版画（図工）10月	めざせ野菜名人（生活）5月～9月	町の様子の移り変わり（めむろ学）1月～3月		情報を生かす産業（社会）1月	「共に生きる地域での生活」（家庭）2月			
				写生会（図工）9月	写生会（図工）9月	写生会（図工）9月	植物の発芽や成長（理科）4月～6月	写生会（図工）（5月、6月）9月			
	総合的な学習	食農教育	食農体験（縦割り活動）5月～11月						食農体験11月		
			栄養教諭食育指導（生活）7月8月		栄養教諭食育指導（総合）11月		栄養教諭食育指導（総合）12月		栄養教諭食育指導		
				地域の自然の素晴らしさと人々4月～3月 地域の環境の良さや問題点と人々		地域の産業の良さと人々4月～3月 地域の総合的な現状と課題、未来像		教育長講話	地域講師講話	町長講話	
		みんなだれかに（道徳）7月	ひかり小学校のじまんはね（道徳）5月					認知症サポート養成講座（総合）11月	職場体験学習（総合）10月	地元「芽室・上美生」について考えよう（総合）	
		みつめてみよう（道徳）11月	広いせいかいのたぐさんの人たちと（道徳）8月	伝統文化の尊重（道徳）				うちら「ネコの手ボランディア」（道徳）5月	自然体験学習（総合）6月	住みよい社会に（道徳）4月	嵐山スキー学習（総合）2月
		今ぼくにできることなら（道徳）2月	国や郷土を愛する態度（道徳）				白山山地（道徳）6月	ぼくのふるさと（道徳）6月	祭りの夜（道徳）7月	島根の心を伝えたい（道徳）4月	
特別活動				「ふるさといいとこさがし」（道徳）2月	「ふるさとを守った大イチョウ」（道徳）10月	親から子へ、そして孫へ（道徳）12月	新しい日本に～龍馬の心～（道徳）11月	上級学校調べ（総合）8月	心でいただく伝統の味（道徳）	花火と灯ろう流し（道徳）7月	
		小・中・保 合同運動会（地域との交流）5月						本が泣いています（道徳）9月	冬の使者「マガン」（道徳）	よみがえれ、日本海！（道徳）1月	
		収穫祭（縦割り活動）10月						桜に集う人の思い（道徳）3月			
		スキー体験学習 2月									
生活科・総合的な学習の時間等で身に付けたい力	課題設定	身近な人々・社会・自然などとの関わりや学習したことなどに対する、気づき・興味から課題を選択・設定することができる		自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追究することができる		地域の現状を踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって追求することができる		様々な人々・社会・自然などの中からの問題を見つけ、目的・対象・方法を明確にして、実社会、実生活に結び付くような、課題を選択・設定することができる			
		探究	知る	気付きや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集することができる		目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めることができる		収集した情報を課題に結び付けたり、目的に応じて手段を選択し情報収集したりすることができる			
	情報（気付きや思ったことなど）を出し合い、共通点や違いがあることや、分類したり比べたりすることのよさに気付くことができる			問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見つけることができる		視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見つけることができる					
	発信・提案	学び・発見	活動を通して得た気付きや学んだことを順序立てて考えることができる。分かりやすい方法でまとめ、伝え合うことができる		相手に応じて分かりやすくまとめ、表現することができる。（スライドショー、新聞等）学習したことを振り返り、生活に生かそうとすることができる		相手や目的、意図に応じ工夫してまとめ、表現することができる（ポスターセッション、プレゼンテーション等）学習の仕方を取り、学習や生活に生かすことができる		相手や場・目的に応じ客観性のある根拠を示して自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる		
全ての土台となる力	話す・聞く力	紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動		説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いた活動・質問するなどで積極的に情報を集めたり、それらを発表したりする活動		意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いた活動・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動		紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出したり意見などを述べたりする活動			
	対話する力	尋ねたり応答したりするなどして、話し合う活動		課題解決に向けて、身近な人々と力を合わせて取り組む探究活動・互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動		課題解決に向けて他者と協働して取り組む探究活動・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動		互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動			
	ICT活用	GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動									

めむろ未来学（図画工作科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
氷のお面をつくろう		学 年	1 年生
		生徒数	6 名
		授業者	学級担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
雪の感触を楽しみ、表したいことを見つけ、形や色を考えたり、好きな材料を選んだりすることができる。		イメージを膨らませながら材料を配置する中で、感じたり想像したりして表したいことを見つることができる。	好きな材料を自分で用意し、雪や氷を使った活動を通して、自分たちの住む地域ならではの冬を楽しむことができる。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
表したいものを考え、イメージに合う材料を自分で決め、設計図をかいいたり、材料を用意したりする。		- 自分が書いた設計図を基に、自分が作りたいお面を紹介する。 - お互いのお面の良さを認め合い、自分のお面づくりに生かす。	- 自分が作ったお面を学級内で発表する。 - 町のお祭りに実際に足を運び、展示する。
3 単元の指導と評価の計画（全3時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 提案型	◆氷のお面づくりの計画を立てる。 ○氷のお面のつくりかたを知る。 ○どんなお面にするか考える。 ○設計図をかく。 ○イメージを基に、使いたい材料を考える。 ◆自分が作りたいお面を発表する。 ○設計図を基に、表したいことや工夫を発表する。	【知識・技能】 ・つくりたいものを見つけ、設計図をかいている。 ・材料を自分で考え、選んでいる。 【思考・判断・表現】 ・表したいことや工夫を発表し合う中で、見方や感じ方を広げている。
2	探究型	◆氷のお面をつくる。 ○必要な材料を確認する。 ○お面のつくりかたを確認する。 ○外へ出て、つくりたいものに近づくよう工夫しながらお面づくりをする。 ○一晩外に置いておく。 ○更に水を加え、一晩置く。（時間外の活動）	【知識・技能】 ・上手なお面をつくるための方法について考え、工夫しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・雪の感触を楽しみながら、材料の組み合わせを工夫し、イメージを膨らませながら、お面づくりに取り組んでいる。
3	発信型	◆学級内でお面づくりの感想や工夫したことなどを発表し合う。 ○冬の外は氷ができるくらい寒いことをみんなで確かめ合う。 ○出来上がったお面をお互いに見せ合い、良さを認め合う。 ◆展示会場に持っていく準備をする。 ○容器からお面を外し、会場に持っていく準備をする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・雪や氷を使った活動を通して、つくってみた感想や自分たちの住む地域ならではの冬について気づいたことを積極的に話している。

めむろ未来学（生活科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	1 年生
		生徒数	6 名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域の農産物を育て、自然や環境に触れてみる。		・作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考えながら栽培する。	・作物の生長を楽しみながら、意欲的に取り組む。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・地域の農産物について知る。 ・作物が育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきをもつ。		・活動を通しての結果や発見を、今までの観察記録をもとに、自分なりにまとめる。 ・グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	・作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域の良さや採れた作物のおいしさについて実感し合い、感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全 20 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができている。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持っている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成できたことなどを振り返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（生活科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	2年生
		生徒数	4名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域の農産物を育て、自然や環境について体験する。		・作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、調べたことをもとに栽培する。	・作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・地域の農産物について知る。 ・作物が育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきをもてる。		・活動を通しての結果や発見を、今までの観察記録をもとに、自分なりにまとめる。 ・グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	・作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域の良さや採れた作物のおいしさについて実感し合い、感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全 20 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成したことを振り返ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（道徳科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
主題 楽しい学校生活 ひかり小学校の じまんはね	学 年		2年生
	生徒数		4名
	授業者		学級担任
1 単元の目標			
C（5）よりよい学校生活、集団生活の充実			
・学校の人々を敬愛し、学級や学校の生活を楽しくしようとする心情を育てる。 ・自分の学校の良さについて考え、発表することができる。 ・学級や学校の生活を自分たちでさらに楽しくしようとする気持ちをもつことができる。			
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・自分の学校について校長先生のお話を聞く。 ・教材文を話し合う中で、自分たちに置き換えて考える。		・自分たちの学校の良さを話し合う。 ・学級や学校の生活を自分たちでさらに楽しくしようとする考えを発表し合う。	・学級や学校の生活を自分たちでさらに楽しくしようとする考えをワークシートに書く。（廊下掲示）
3 単元の指導と評価の計画（全 1 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 提案型 発信型	◆自分たちの学校について知ろう。 ○校長先生のお話を聞き、自分たちの学校について知る。（ゲストティチャー） ◆「ひかり小学校の じまんはね」を読んで話し合おう。 ○学校の自慢できるところがなかなか思いつかないけんたたちの気持ち。 ◎校長先生が笑顔で話す姿を真剣に見つめるけんたたちの考え。 ○「じぶんたちでも、ひかり小学校のじまんでできるところを、さがそうよ。」と話すけんたたちの気持ち。 ◆自分たちの学校の自慢できるところはどんなところか話し合おう。 ○個人思考～自分の考えをワークシートに書く。 ○全体発表～考えたことを交流し合う。 ○まとめ～ワークシートに学級や学校をさらに楽しくするための考えを書き、発表する。	【知識・技能】 ・学校の成り立ちや様子を知り、地域や学校の先生方などに感謝の気持ちをもつことができたか。 【思考・判断・表現】 ・自分の学校の良さについて自分なりの考えをもつことができたか。 ・友達の考えと比較しながら、自分の考えを発表することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学級や学校を自分たちで楽しくしようとする気持ちをもつことができたか。

めむろ未来学（国語科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
町の行事について発表しよう		学 年	3年生
		生徒数	6名
		授業者	土屋 朝美
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・インタビューし、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、情報と情報の関係について理解する。		・必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、まとめる。	・目的意識をもちながら課題解決に取り組み、伝えたいことを明確にしてまとめる。 ・発表したり、友達の発表を聞いたりして、自分の考えをもつ。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・「町の行事」について知りたいことをもとに課題を設定し、インタビューしたり、必要な情報を調べたりする。		・インタビューや調べた情報を活用し、一番伝えたいことを中心にまとめ、提案する。	
3 単元の指導と評価の計画（全 11 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 4	探求型	◆学習課題の設定・見通し ○知りたいことをまとめて「取材メモ」を作る。 ○インタビューの仕方を理解し、計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「町の行事」について知りたいことを進んで見つけ、まとめる。 【知識・技能】 ・インタビューの仕方を理解し、練習する。
5 ～ 6	探求型 提案型	◆課題解決・調べる ○計画をもとに見学に行き、インタビューする。 ○インタビューしたことや見学してわかったことをメモする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・目的意識をもち、意欲的に課題解決に取り組む。 【思考・判断・表現】 ・必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え自分の考えをもつ。
7 ～ 9	提案型	◆まとめる ○調べたことや「取材メモ」から、一番伝えたいことを中心にまとめる内容を選び、文章の構成を考える。 ○報告文を書き、読み返す。 「Chromebook」の活用	【知識・技能】 ・まとめる内容の中心を明確にし、文章の構成を考えるなど、情報と情報の関係を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・調べたことやインタビューから一番伝えたいことを明確にし、わかりやすくまとめる。
10	提案型	◆伝える・発表会 ○「町の行事」についてまとめたことを発表する。	【思考・判断・表現】 ・相手意識をもち、伝えたいことをわかりやすく発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・友達の発表をしっかりと聞き、「町の行事」について考える。
11	探求型	◆振り返り ○学習を振り返り、学んだことを他教科の学習につなげる。	【思考・判断・表現】 ・学習を振り返り、感想や意見を交流する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをもとに、自分なりの考えをもっている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	3年生
		生徒数	6名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の農産物を育て、自然や環境について体感する。		- 作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え栽培する。 - chromebookのスライド機能を使い、情報を蓄積する。	- 作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。 - 身近な人と一緒に、活動に取り組む。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 地域の農産物について知る。 - 作物が育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきをもち、解決したり知識を広げたりしながら意欲的に観察する。		- 活動を通しての成功と失敗体験を、自分なりに整理・分析しながらまとめ、次年度の活動に生かす。 - グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域の農産物の役割や採れた作物のおいしさについて実感し合い、スライドを使って感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題を知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができている。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができている。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができている。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成できたことなどを振り返ることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（社会科） 単元指導計画				
単 元 名			学校名	芽室町立上美生小学校
水はどこから			学 年	第 4 学年
			児童（生徒）数	6名
			授業者	担当 喜多 徹
（１） 単元の目標				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
・供給のしくみや経路、芽室町内外の人々の協力などについて、見学・調査したり、地図やグーグルマップなどの資料等を活用したりしながらまとめ、飲料水の供給のための事業を理解する。		・芽室町の供給システムに着目し、問いを見出し、人々の生活に関連付け、果たす役割や自分たちが協力できることを考え、選択・判断し、まとめ等で表現する。		・飲料水を供給する事業について、予想や計画を立て、学習を振り返ったり、見直したりして、学習問題を追及し、解決しようとする。
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て				
探究型の学び		提案型の学び		発信型の学び
・飲料水の供給のしくみについて知る。 ・供給のしくみや経路、地域の人々の協力関係等での気づき（疑問）について調べ、調べたことから、自分たちが果たす役割を考える。		・活動を通しての結果や発見を、今までの探究活動をもとに、自分なりに分析・整理しまとめる。		・探究活動で個人やグループで学び、そしてまとめたことを仲間等に発信する。
（３） 単元の指導と評価の計画（全 1 1 時間）				
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）		評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究型	◆わたしたちが使う水はどこから送られ、どのように使っているのでしょうか。 ○水の通りの道のイラストを見て、気づいたことや疑問に思ったことを発表する。 ○水道メーターや水道管を観察して気づいたことや疑問に思ったことを発表する。		【思考・判断・表現】 ●水の供給のしくみや経路などに着目して、問いを見出しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●自ら意欲的に情報を収集し、自分の考えや疑問について積極的に相手に伝えることができているか。
3 ～ 6	探究型	◆じょう水場では、どのように水をきれいにしているのでしょうか。 ○芽室じょうすい水場やなかとかちじょう水場の写真を見て気づいたことを発表する。 ○川の水を飲料水にするまでの浄水場のしくみを調べる。 ○安全できれいな水をつくる取り組みについて調べる。		【知識・技能】 ●必要な情報を集め、読み取り、浄水場で水をきれいにするしくみについて理解しているか。 【思考・判断・表現】 ●現在にいたるまでに安全で安定的に水を供給するしくみがつくられ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●目的意識を持ち、意欲的に情報収集に取り組んでいるか。
7 ～ 8	探究型	◆ダムや森はどのような働きをしているのでしょうか。 ○ダムや森の役割についてしらべ、わかったことを話し合う。		【知識・技能】 ●安全で安定的に水を供給するためのダムの役割について理解しているか。
9 ～ 11	提案・ 発信	◆水がどのようにつくられ、送られてくるのかをまとめて、発表しよう。 ○調べた情報を整理する。 ○水について学習したことを発表する。		【知識・技能】 ●飲料水を確保するための事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていること、それらは地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解しているか。 【思考・判断・表現】 ●学習したことをもとに、節水や水を汚さないために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●水の大切さについて、自分なりの考えを持っているか。

単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	4年生
		生徒数	6名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域の農産物を育て、自然や環境について体感し、地域とのつながりを実感する。		・作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、栽培する。 ・chromebookのスライド機能を使い、情報を整理する。	・作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。 ・身近な人と一緒に、協力しながら活動に取り組む。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・地域の農産物について知る。 ・作物が育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきをもち、解決したり知識を広げたりしながら意欲的に観察する。		・活動を通しての成功と失敗体験を、自分なりに整理・分析しながらまとめ、次年度の活動に生かす。 ・グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	・作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域の農産物の役割や採れた作物のおいしさについて実感し合い、スライドを使って感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成できたことなどを振り返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（国語科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
「町じまん」をすいせんしよう		学 年	5 年生
		生徒数	6 名
		授業者	細矢 宙那
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、事物の内容を表す働きを伝える働きがあることに気づいている。情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使っている。		・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	・進んで経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。推薦するもののよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうか留意して聞いたりしようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・芽室町の自慢や推薦したいことを決めて調べる。 ・聞き手が納得するような構成や発表の仕方を考える。		・聞き手が納得するような推薦理由をいろいろな面から考えたり、より聞き手に伝わるように図や写真なども活用したりする。	・「町じまん」発表会を開き、芽室町で自分が推薦する場所をみんなに伝える。 ・感想を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	提案型	◆芽室町の自慢できるところを推薦し合い、自分が推薦したいものを決めよう。 ○芽室町の自慢できるものについて交流する。 ○教科書の例文を読み発表文の作り方を知る。 ○自分が推薦したいものを決めて、調べる	【態度】 ・学習の見通しを把握し、内容を理解しながら推薦したいものを意欲的に見つけている。
2	探求型	◆推薦したいものについて調べよう。 ○自分が推薦したいものについて「よいところ」「課題」の両面から調べ表に整理する。 ○家族や友だち、町の人へのインタビューなども可能な限り取り入れる。	【態度】 ・推薦したいものについて、意欲的に調べたり集めたりしている。 【思考・判断・表現】 ・必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
3	探求型 提案型	◆構成を組み立てよう。 ○聞き手が納得するような構成を考え、構成メモをつくる。 ○「始め方」「理由の述べ方」「終わり方」を工夫する ○発表の練習をする。	【知識・技能】 ・目的に合うように構成を整理し、集めた材料を分類しながら、内容を明確に伝えられるように話し方を考えている。
4	発信型	◆発表会を開こう。 ○話し方に気をつけて、発表をする。 ○納得させられたかを考えながら聞く。 ○感想を交流する（どの意見に説得されたか、それはなぜかを伝え合う）	【知識・技能】 ・目的に合うように構成を工夫し、相手にわかりやすく伝える話し方を考える。 【態度】 ・納得できるかどうか留意して聞いている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	5年生
		生徒数	6名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の農産物を育て、自然や環境について体感し、芽室町の農業の特徴について理解する。		- 作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、栽培する。 - chromebookのスライド機能を使い、目的に応じて情報を整理する。	- 作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。 - 身近な人と一緒に、協力しながら活動に取り組む。 - 自身の食生活とのかかわりについて考えようとする。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 地域の農産物と、昨年度の成果や課題について知る。 - 作物がより良く育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきについて、解決したり知識を深めたりしながら探究する。		- 活動を通しての成果や課題を整理し、次年度の活動に向けて分析しながらまとめる。 - グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、責任をもって準備する。	作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域とのかかわりや農業の役割、採れた作物のおいしさについて実感し合い、スライドを使って感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成したことを振り返ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（図画工作科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
氷のお面をつくろう		学 年	1 年生
		生徒数	6 名
		授業者	学級担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
雪の感触を楽しみ、表したいことを見つけ、形や色を考えたり、好きな材料を選んだりすることができる。		イメージを膨らませながら材料を配置する中で、感じたり想像したりして表したいことを見つけすることができる。	好きな材料を自分で用意し、雪や氷を使った活動を通して、自分たちの住む地域ならではの冬を楽しむことができる。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
表したいものを考え、イメージに合う材料を自分で決め、設計図をかいいたり、材料を用意したりする。		- 自分が書いた設計図を基に、自分が作りたいお面を紹介する。 - お互いのお面の良さを認め合い、自分のお面づくりに生かす。	- 自分が作ったお面を学級内で発表する。 - 町のお祭りに実際に足を運び、展示する。
3 単元の指導と評価の計画（全3時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 提案型	◆氷のお面づくりの計画を立てる。 ○氷のお面のつくりかたを知る。 ○どんなお面にするか考える。 ○設計図をかく。 ○イメージを基に、使いたい材料を考える。 ◆自分が作りたいお面を発表する。 ○設計図を基に、表したいことや工夫を発表する。	【知識・技能】 ・つくりたいものを見つけ、設計図をかいている。 ・材料を自分で考え、選んでいる。 【思考・判断・表現】 ・表したいことや工夫を発表し合う中で、見方や感じ方を広げている。
2	探究型	◆氷のお面をつくる。 ○必要な材料を確認する。 ○お面のつくりかたを確認する。 ○外へ出て、つくりたいものに近づくよう工夫しながらお面づくりをする。 ○一晩外に置いておく。 ○更に水を加え、一晩置く。（時間外の活動）	【知識・技能】 ・上手なお面をつくるための方法について考え、工夫しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・雪の感触を楽しみながら、材料の組み合わせを工夫し、イメージを膨らませながら、お面づくりに取り組んでいる。
3	発信型	◆学級内でお面づくりの感想や工夫したことなどを発表し合う。 ○冬の外は氷ができるくらい寒いことをみんなで確かめ合う。 ○出来上がったお面をお互いに見せ合い、良さを認め合う。 ◆展示会場に持っていく準備をする。 ○容器からお面を外し、会場に持っていく準備をする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・雪や氷を使った活動を通して、つくってみた感想や自分たちの住む地域ならではの冬について気づいたことを積極的に話している。

めむろ未来学（生活科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	1 年生
		生徒数	6 名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域の農産物を育て、自然や環境に触れてみる。		・作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考えながら栽培する。	・作物の生長を楽しみながら、意欲的に取り組む。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・地域の農産物について知る。 ・作物が育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきをもつ。		・活動を通しての結果や発見を、今までの観察記録をもとに、自分なりにまとめる。 ・グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	・作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域の良さや採れた作物のおいしさについて実感し合い、感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全 20 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができている。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持っている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動のふり返しをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組をふり返し、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動をふり返し、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成できたことなどをふり返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●ふり返しをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（生活科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	2年生
		生徒数	4名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域の農産物を育て、自然や環境について体験する。		・作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、調べたことをもとに栽培する。	・作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・地域の農産物について知る。 ・作物が育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきをもてる。		・活動を通しての結果や発見を、今までの観察記録をもとに、自分なりにまとめる。 ・グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	・作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域の良さや採れた作物のおいしさについて実感し合い、感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全 20 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成したことを振り返ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（道徳科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
主題 楽しい学校生活 ひかり小学校の じまんはね	学 年		2年生
	生徒数		4名
	授業者		学級担任
1 単元の目標			
C（5）よりよい学校生活、集団生活の充実			
・学校の人々を敬愛し、学級や学校の生活を楽しくしようとする心情を育てる。 ・自分の学校の良さについて考え、発表することができる。 ・学級や学校の生活を自分たちでさらに楽しくしようとする気持ちをもつことができる。			
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・自分の学校について校長先生のお話を聞く。 ・教材文を話し合う中で、自分たちに置き換えて考える。		・自分たちの学校の良さを話し合う。 ・学級や学校の生活を自分たちでさらに楽しくしようとする考えを発表し合う。	・学級や学校の生活を自分たちでさらに楽しくしようとする考えをワークシートに書く。（廊下掲示）
3 単元の指導と評価の計画（全 1 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 提案型 発信型	◆自分たちの学校について知ろう。 ○校長先生のお話を聞き、自分たちの学校について知る。（ゲストティチャー） ◆「ひかり小学校の じまんはね」を読んで話し合おう。 ○学校の自慢できるところがなかなか思いつかないけんたたちの気持ち。 ◎校長先生が笑顔で話す姿を真剣に見つめるけんたたちの考え。 ○「じぶんたちでも、ひかり小学校のじまんでできるところを、さがそうよ。」と話すけんたたちの気持ち。 ◆自分たちの学校の自慢できるところはどんなところか話し合おう。 ○個人思考～自分の考えをワークシートに書く。 ○全体発表～考えたことを交流し合う。 ○まとめ～ワークシートに学級や学校をさらに楽しくするための考えを書き、発表する。	【知識・技能】 ・学校の成り立ちや様子を知り、地域や学校の先生方などに感謝の気持ちをもつことができたか。 【思考・判断・表現】 ・自分の学校の良さについて自分なりの考えをもつことができたか。 ・友達の考えと比較しながら、自分の考えを発表することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学級や学校を自分たちで楽しくしようとする気持ちをもつことができたか。

めむろ未来学（国語科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
町の行事について発表しよう		学 年	3年生
		生徒数	6名
		授業者	土屋 朝美
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・インタビューし、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、情報と情報の関係について理解する。		・必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、まとめる。	・目的意識をもちながら課題解決に取り組み、伝えたいことを明確にしてまとめる。 ・発表したり、友達の発表を聞いたりして、自分の考えをもつ。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・「町の行事」について知りたいことをもとに課題を設定し、インタビューしたり、必要な情報を調べたりする。		・インタビューや調べた情報を活用し、一番伝えたいことを中心にまとめ、提案する。	
3 単元の指導と評価の計画（全 11 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 4	探求型	◆学習課題の設定・見通し ○知りたいことをまとめて「取材メモ」を作る。 ○インタビューの仕方を理解し、計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「町の行事」について知りたいことを進んで見つけ、まとめる。 【知識・技能】 ・インタビューの仕方を理解し、練習する。
5 ～ 6	探求型 提案型	◆課題解決・調べる ○計画をもとに見学に行き、インタビューする。 ○インタビューしたことや見学してわかったことをメモする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・目的意識をもち、意欲的に課題解決に取り組む。 【思考・判断・表現】 ・必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え自分の考えをもつ。
7 ～ 9	提案型	◆まとめる ○調べたことや「取材メモ」から、一番伝えたいことを中心にまとめる内容を選び、文章の構成を考える。 ○報告文を書き、読み返す。 「Chromebook」の活用	【知識・技能】 ・まとめる内容の中心を明確にし、文章の構成を考えるなど、情報と情報の関係を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・調べたことやインタビューから一番伝えたいことを明確にし、わかりやすくまとめる。
10	提案型	◆伝える・発表会 ○「町の行事」についてまとめたことを発表する。	【思考・判断・表現】 ・相手意識をもち、伝えたいことをわかりやすく発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・友達の発表をしっかりと聞き、「町の行事」について考える。
11	探求型	◆振り返り ○学習を振り返り、学んだことを他教科の学習につなげる。	【思考・判断・表現】 ・学習を振り返り、感想や意見を交流する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをもとに、自分なりの考えをもっている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	3年生
		生徒数	6名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の農産物を育て、自然や環境について体感する。		- 作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え栽培する。 - chromebookのスライド機能を使い、情報を蓄積する。	- 作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。 - 身近な人と一緒に、活動に取り組む。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 地域の農産物について知る。 - 作物が育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきをもち、解決したり知識を広げたりしながら意欲的に観察する。		- 活動を通しての成功と失敗体験を、自分なりに整理・分析しながらまとめ、次年度の活動に生かす。 - グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域の農産物の役割や採れた作物のおいしさについて実感し合い、スライドを使って感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題を知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができている。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができている。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができている。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成できたことなどを振り返ることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（社会科） 単元指導計画				
単 元 名			学校名	芽室町立上美生小学校
水はどこから			学 年	第 4 学年
			児童（生徒）数	6名
			授業者	担当 喜多 徹
（１） 単元の目標				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
・供給のしくみや経路、芽室町内外の人々の協力などについて、見学・調査したり、地図やグーグルマップなどの資料等を活用したりしながらまとめ、飲料水の供給のための事業を理解する。		・芽室町の供給システムに着目し、問いを見出し、人々の生活に関連付け、果たす役割や自分たちが協力できることを考え、選択・判断し、まとめ等で表現する。		・飲料水を供給する事業について、予想や計画を立て、学習を振り返ったり、見直したりして、学習問題を追及し、解決しようとする。
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て				
探究型の学び		提案型の学び		発信型の学び
・飲料水の供給のしくみについて知る。 ・供給のしくみや経路、地域の人々の協力関係等での気づき（疑問）について調べ、調べたことから、自分たちが果たす役割を考える。		・活動を通しての結果や発見を、今までの探究活動をもとに、自分なりに分析・整理しまとめる。		・探究活動で個人やグループで学び、そしてまとめたことを仲間等に発信する。
（３） 単元の指導と評価の計画（全 1 1 時間）				
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）		評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究型	◆わたしたちが使う水はどこから送られ、どのように使っているのでしょうか。 ○水の通りの道のイラストを見て、気づいたことや疑問に思ったことを発表する。 ○水道メーターや水道管を観察して気づいたことや疑問に思ったことを発表する。		【思考・判断・表現】 ●水の供給のしくみや経路などに着目して、問いを見出しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●自ら意欲的に情報を収集し、自分の考えや疑問について積極的に相手に伝えることができているか。
3 ～ 6	探究型	◆じょう水場では、どのように水をきれいにしているのでしょうか。 ○芽室じょうすい水場やなかとかちじょう水場の写真を見て気づいたことを発表する。 ○川の水を飲料水にするまでの浄水場のしくみを調べる。 ○安全できれいな水をつくる取り組みについて調べる。		【知識・技能】 ●必要な情報を集め、読み取り、浄水場で水をきれいにするしくみについて理解しているか。 【思考・判断・表現】 ●現在にいたるまでに安全で安定的に水を供給するしくみがつくられ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●目的意識を持ち、意欲的に情報収集に取り組んでいるか。
7 ～ 8	探究型	◆ダムや森はどのような働きをしているのでしょうか。 ○ダムや森の役割についてしらべ、わかったことを話し合う。		【知識・技能】 ●安全で安定的に水を供給するためのダムの役割について理解しているか。
9 ～ 11	提案・ 発信	◆水がどのようにつくられ、送られてくるのかをまとめて、発表しよう。 ○調べた情報を整理する。 ○水について学習したことを発表する。		【知識・技能】 ●飲料水を確保するための事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていること、それらは地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解しているか。 【思考・判断・表現】 ●学習したことをもとに、節水や水を汚さないために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●水の大切さについて、自分なりの考えを持っているか。

単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	4年生
		生徒数	6名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域の農産物を育て、自然や環境について体感し、地域とのつながりを実感する。		・作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、栽培する。 ・chromebookのスライド機能を使い、情報を整理する。	・作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。 ・身近な人と一緒に、協力しながら活動に取り組む。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・地域の農産物について知る。 ・作物が育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきをもち、解決したり知識を広げたりしながら意欲的に観察する。		・活動を通しての成功と失敗体験を、自分なりに整理・分析しながらまとめ、次年度の活動に生かす。 ・グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	・作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域の農産物の役割や採れた作物のおいしさについて実感し合い、スライドを使って感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成できたことなどを振り返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（国語科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
「町じまん」をすいせんしよう		学 年	5 年生
		生徒数	6 名
		授業者	細矢 宙那
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、事物の内容を表す働きを伝える働きがあることに気づいている。情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使っている。		・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	・進んで経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。推薦するもののよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうかに留意して聞いたりしようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・芽室町の自慢や推薦したいことを決めて調べる。 ・聞き手が納得するような構成や発表の仕方を考える。		・聞き手が納得するような推薦理由をいろいろな面から考えたり、より聞き手に伝わるように図や写真なども活用したりする。	・「町じまん」発表会を開き、芽室町で自分が推薦する場所をみんなに伝える。 ・感想を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	提案型	◆芽室町の自慢できるところを推薦し合い、自分が推薦したいものを決めよう。 ○芽室町の自慢できるものについて交流する。 ○教科書の例文を読み発表文の作り方を知る。 ○自分が推薦したいものを決めて、調べる	【態度】 ・学習の見通しを把握し、内容を理解しながら推薦したいものを意欲的に見つけている。
2	探求型	◆推薦したいものについて調べよう。 ○自分が推薦したいものについて「よいところ」「課題」の両面から調べ表に整理する。 ○家族や友だち、町の人へのインタビューなども可能な限り取り入れる。	【態度】 ・推薦したいものについて、意欲的に調べたり集めたりしている。 【思考・判断・表現】 ・必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
3	探求型 提案型	◆構成を組み立てよう。 ○聞き手が納得するような構成を考え、構成メモをつくる。 ○「始め方」「理由の述べ方」「終わり方」を工夫する ○発表の練習をする。	【知識・技能】 ・目的に合うように構成を整理し、集めた材料を分類しながら、内容を明確に伝えられるように話し方を考えている。
4	発信型	◆発表会を開こう。 ○話し方に気をつけて、発表をする。 ○納得させられたかを考えながら聞く。 ○感想を交流する（どの意見に説得されたか、それはなぜかを伝え合う）	【知識・技能】 ・目的に合うように構成を工夫し、相手にわかりやすく伝える話し方を考える。 【態度】 ・納得できるかどうかに留意して聞いている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	5年生
		生徒数	6名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の農産物を育て、自然や環境について体感し、芽室町の農業の特徴について理解する。		- 作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、栽培する。 - chromebookのスライド機能を使い、目的に応じて情報を整理する。	- 作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。 - 身近な人と一緒に、協力しながら活動に取り組む。 - 自身の食生活とのかかわりについて考えようとする。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 地域の農産物と、昨年度の成果や課題について知る。 - 作物がより良く育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきについて、解決したり知識を深めたりしながら探究する。		- 活動を通しての成果や課題を整理し、次年度の活動に向けて分析しながらまとめる。 - グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、責任をもって準備する。	作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域とのかかわりや農業の役割、採れた作物のおいしさについて実感し合い、スライドを使って感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。
20	探究	◆振り返り ○活動を振り返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成したことを振り返ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ●振り返りをもとに次年度への課題を見つけている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生小学校
食農体験（縦割り活動）		学 年	6年生
		生徒数	8名
		授業者	担任・学校支援ボランティア
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の農産物を育て、自然や環境について体感し、芽室町の農業の役割について理解する。		- 作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、栽培する。 - chromebookのスライド機能を使い、目的に応じて情報を整理したり、表現を工夫したりする。	- 作物の生長を楽しみながら、目的意識をもち、意欲的に取り組む。 - 身近な人と一緒に、協力しながら活動に取り組む。 - 自身の食生活とのかかわりについて、積極的に考えようとする。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 地域の農産物と、昨年度の成果や課題について知る。 - 作物がより良く育つための栽培方法や生長過程での疑問や気づきについて、解決したり知識を深めたりしながら探究する。		- 活動を通しての成果や課題を整理し、次年度の活動に向けて分析しながらまとめる。 - グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、責任をもって準備する。	作物を育てる過程や全校での収穫祭を通して、地域とのかかわりや農業の役割、採れた作物のおいしさについて実感し合い、スライドを使って感想等を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探究	◆課題の設定 ○地域の農産物と昨年度の成果や課題について知る。 ○植える作物を決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	【思考・判断・表現】 ●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。
3 4	探究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。 ○作物を植える。	【思考・判断・表現】 ●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。
6 ～ 9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する（スライド）。 ○計画の振り返り。	【知識・技能】 ●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んでいる。
10 11	提案	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理・分析する。	【思考・判断・表現】 ●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持っている。 【知識・技能】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。
12 ～ 14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。 【知識・技能】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。
15 ～ 17	提案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ●自分の取組を振り返り、良かった点や反省点を考え、まとめている。
18 ～ 19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。（スライド） ○発表会を行う。（スライド）	【思考・判断・表現】 ●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。

20	探究	◆振り返り ○活動をふり返り、次年度の取組を考える。	【思考・判断・表現】 ●達成できたことなどをふり返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●ふり返りをもとに次年度への課題を見つけている。
----	----	--	--

めむろ未来学（美術科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生中学校
地域のマークを調べてみよう		学 年	1 学年
		児童（生徒）数	5 名
		授業者	卯月しおり
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・形や色彩の特徴に着目し、それぞれのデザインが地域を表す要素をどのように効果的に取り入れているのかに気づく。		・伝えたい内容やイメージ、伝える場面をもとに、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	・わかりやすく印象に残るマークをデザインすることに感心を持ち、意欲的に取り組む。
（２） 探求・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探求型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・道章や町章、校章のデザインとそのモチーフを調べ、それぞれ地域を表す要素が取り入れられていることを知る。		・道章や町章、校章のデザインを参考に、上美生の特徴をデザインの要素として取り入れたオリジナルのマークを考える。	・自分が考えたオリジナルのマークをポスターカラーで着色して仕上げ、全員の作品を比較鑑賞する。
（３） 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探求 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 提案型	◆地域のマークを調べてみよう ○北海道章、芽室町章、上美生小・中学校の校章デザインと、モチーフになったものを調べる。	【知識・技能】 ・形や色彩の特徴に着目し、それぞれのデザインが地域を表す要素をどのように効果的に取り入れているのかに気づく。
2・3	提案型	◆オリジナルのマークを考えよう ○自分たちが住む「上美生」を表すオリジナルのマークデザインを考案し、ポスターカラーを使って制作する。	【思考・判断・表現】 ・伝えたい内容やイメージ、伝える場面をもとに、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・わかりやすく印象に残るマークをデザインすることに感心を持ち、意欲的に取り組む。
4	発信型	◆お互いの作品を鑑賞しよう ○完成した作品を全体で鑑賞し、それぞれが感じた地域の特徴をどのようにデザインに落とし込んだのかを説明し合う。	【思考・判断・表現】 ・伝えたい内容やイメージ、伝える場面をもとに、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。

めむろ未来学（総合的な学習の時間・学級活動）		単元指導計画	
単 元 名		学校名	芽室町立上美生学校
上級学校調べ		学 年	1 年生
		生徒数	5 名
		授業者	卯月しおり
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
北海道の入試制度や上級学校の種類などについて理解することができる。		- 自分の希望を生かし適切な課題を設定し、調べ学習を進めることができる。 - 適切な方法で高校について調べることができる。	自分の夢や希望の実現のために調べたことを生かそうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 上級学校の種類や北海道の入試制度について知る。 - 希望する上級学校について調べ、情報をまとめる。		上級学校調べを通じて学んだこと、感じたことなどをまとめる。	上級学校調べのまとめを発表する。
3 単元の指導と評価の計画（全6時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探求型	◆自分の進路について考えてみよう。 ○将来と高等学校のつながりについて考える。 ○高等学校の種類と入試制度について知る。 ○アンケートや教育相談の内容をもとに自分の進学先について考え、調べる内容を決定する。	【知識・理解】 北海道の入試制度や上級学校の種類などについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分の希望を生かし適切な課題を設定することができる。
2・3	探求型	◆上級学校について調べよう。 ○パンフレットや学校のホームページから自分の知りたい情報を調べる。	【思考・判断・表現】 ・適切な方法で調べることができる。
4・5	提案型	◆上級学校調べを通じて学んだこと、感じたことをまとめよう。 ○chromebook を活用し、まとめを行う。 ○発表のリハーサル	【主体的に学習に取り組む態度】 自分の夢や希望の実現のために調べたことを生かそうとしている。
6	発信型	◆調べたことを発表しよう。 ○資料をもとに、発表を行う。 ○現在自分と結びつけて学習を振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習を通して学んだことと現在の自分を結びつけ、進路実現に生かそうとしている。

めむろ未来学（学級活動・総合的な学習の時間）		単元指導計画	
単 元 名		学校名	芽室町立上美生中学校
自然体験（校外）学習		学 年	1 年生
		生徒数	5 名
		授業者	卯月しおり
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
施設見学や利用を通して地元十勝への理解を深める。		芽室との違いなどを考えながら体験により十勝の良さを発見することができる。	目的を意識しながら、クラスの仲間と協力し、計画や準備を進めようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
芽室との違いなどを意識しながら体験先での学習課題を考え、決定する。		体験したことをもとに自分の考えを述べ、クラスメートと協力しながらレポートをまとめることができる。	プレゼンテーションソフトを活用しながら、自分たちが住む地域の魅力などを伝える。
3 単元の指導と評価の計画（全 10 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 6	探究型	◆自然体験学習の計画を立てよう ○係分担、仕事内容の検討、確認 ○しおり内容の検討、確認 ○きまりの決定 ○必要な用具の準備 ○レポート課題の確認、分担の決定 ○施設に行き、体験や見学を通して事前に設定した課題を解決する。	【主体的に学習に取り組む態度】 - よりよい校外学習となるよう、係で相談し、内容を決定しようとしている。 - レポート課題を理解し、自分に合ったものを決めようとしている。 【知識・理解】 - 体験したことや見学したことをもとに、自分たちが設定した改題を解決する。
7 ～ 9	提案型	◆パワーポイントを活用して、学習したことをまとめよう ○自分たちが体験したことや自分の考えをレポートにまとめる。 ○地域の良さが伝わるよう協力してプレゼンテーションを作成する。	【思考・判断・表現】 - 体験したことと自分が考えたことを合わせて、レポートを作成することができる。 - 相手に内容が伝わりやすいよう、資料の工夫をしたり、発表の練習をする。
10	発信型	○レポートを発表する。 ○レポートに対し質問や感想を述べる。	【主体的に学習に取り組む態度】 発見した地域の良さなどを伝えようとしている。

めむろ未来学（英語科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生中学校
Tips③ for Writing “My town”		学 年	2年生
		生徒数	7名
		授業者	大島 護
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の考えや自分の町について調べ新たにわかったことをクラスメートに知ってもらうために、マッピングなどの手法を使い、書くことができる。		書く内容や構成などを整理し、まとまりのある文章を書いている。	内容を整理し、クラスメートにわかりやすく伝えようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
自分の町について書いたマッピングをもとに、インターネットでより詳しい情報やつけ加える情報を調べる。		紹介するものについて自分が勧めることや自分の経験にもとづく感想などをつけ加える。	クラスで発表後、生徒のまとめを廊下に掲示する。
3 単元の指導と評価の計画（全2時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探求型	◆自分の町について伝えたいことを整理し、英語で原稿を書く。 ○自分の町についてマッピングを用いて整理し、自分が伝える内容を決定する。 ○chromebook を使いより詳しい情報やつけ加えたい情報を調べる。 ○英語で文章を書く。	【主体的に学習に取り組む態度】 - クラスメートがよくわかるよう自分の考えをまとめ、発表原稿を書こうとしている。 【知識・理解】 - 例文をもとに、習った表現を生かしながら英語で原稿を書くことができる。
2	提案型 発信型	◆自分が書いた文章をクラスで紹介する ○前時に書いた英文に自分のおすすめや感想などを加えて完成させる。 ○クラスメートに発表する。聞いている生徒は感想や質問を言う。 ※まとめたものを授業後にクラス前廊下に掲示	【思考・判断・表現】 クラスメートがよくわかるよう、自分のおすすめや感想などを加えて英文を書き、伝えることができる。

めむろ未来学（総合的な学習の時間）		単元指導計画	
単 元 名		学校名	芽室町立上美生中学校
芽室町の農業を知る ～長いも事典をつくろう～		学 年	2学年
		児童（生徒）数	7名
		授業者	担任・副担任
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度			
- 芽室町の農業の特徴や主な生産物について理解する。 - 収穫体験を通じて農業や農産物への理解を深め、芽室町の農業が食を支え、地域を支えていることに気づく。		- 芽室町の農業や農産物について、働いている方から聞いた話をもとに自分自身で課題を設定し、見通しをもつことができる。 - 目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりすることができる。	
- 芽室町の基幹産業である農業について関心をもち、自身の生活との関わりについて積極的に考えようとする。 - 芽室町を支える農業や農産物について、学んだことの中から伝えたいことを明確にして、事典を作成しようとする。			
（２） 探求・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探求型の学び		提案型の学び	
発信型の学び			
長いも掘り体験を通して、芽室町の特産物がどのように生産されているのかを理解し、農業の果たす役割や地域との関わりについて探求する。		生産者の方の話を聞き、事典を作成する際のテーマを決めることができる。	
収穫体験やインタビューを通して新たに学んだことを整理・分析し、Chromebook を利用して事典にまとめる。			
（３） 単元の指導と評価の計画（全6時間）			
時間	探求 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探求型	◆芽室町の農業について知ろう。 ○芽室町の農業の特徴や主な生産物について Chromebook 活用して調べ、理解を深める。 ○長芋掘り体験時に質問する内容を考える。	【知識・技能】 - 芽室町の農業の特徴や主な生産物について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 芽室町の基幹産業である農業について関心をもち、自身の生活との関わりについて積極的に考えようとしている。
2・3	探求型	◆農業についての理解を深めよう。 ○長芋掘り体験から収穫までの流れや収穫方法の種類について学び、収穫された作物がどのようにして食卓に届くのかを理解する。	【知識・技能】 - 収穫体験を通じて農業への理解を深め、芽室町の農業が食を支え、地域を支えていることに気づいている。
4・5・6	提案型 発信型	◆芽室町の農業についてまとめ、発信しよう。 ○収穫体験やインタビューを通して感じたことを2班に分かれて整理・分析する。 ○班ごとに Chromebook を活用し、スライドを用いてまとめる。 ※パンフレットは中学校近隣の店舗 KAMIBI に設置させていただく。	【思考・判断・表現】 - 芽室町の農業や農産物について、働いている方から聞いた話を通して自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。 - 目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 芽室町を支える農業について、学んだことの中から伝えたいことを明確にして、事典を作成しようとしている。

めむろ未来学（学級活動・総合的な学習の時間）		単元指導計画	
単 元 名		学校名	芽室町立上美生中学校
職場体験学習		学 年	2 年生
		生徒数	7 名
		授業者	2 学年団
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 身近な職業に目を向け、課題を見つけ、情報を収集する。 - 進路実現に向けて、自分の未来像を描くための経験を得る。		自分の体験やわかったことをまとめ、広く発信する力を身に付ける。	- 職場体験を通して、働くことの意味や大切さを体得する。 - 地域との交流を深め、望ましい職業観を身に付け、社会の一員であるという意識を高める。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
JAL マナー講座や事前学習を通して、働く者として必要なマナーや知識を身に付ける。		職業体験での体験や講師、職場先の人へのインタビューを通し、働くことの意義や分かったことまとめる。	働くことの意義や新たにわかったことなどをプレゼンテーションソフトを活用して発表する。
3 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 2	探求型	◆職業体験において必要なものを準備しよう。 ○オリエンテーション ○体験先への履歴書を作成する。 ○就業先への確認事項を電話で確認し、情報をまとめる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の個性を生かした体験先の選択、決定をしている。
3 ～ 4	探求型	◆JAL 職業学習、マナー講座を通して、働く上で必要なことを学ぼう。 ○マナー講座で働く上で必要なマナーを学習する。 ○質疑応答を通し、自分たちの疑問を解決したり、接客業について理解を深める。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・接客におけるマナーを学び、職場体験に生かそうとしている。 【知識・理解】 ・マナー講座を通して、接客業について理解を深めることができる。
5	探求型	◆職業体験当日のことを確認しよう。 ○履歴書完成 ○前日確認 ○質問や自分の課題を整理する。	【知識・技能】 ・職場体験で必要な情報を収集している。
6 ～ 11	探求型	◆職場体験を通し、働くことの意味や大切さを知ろう。 ○体験、就業先への質問などを通して、働くことの意義を知る。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・職場体験を通して、働くことの意味や大切さを体得している。
12 ～ 19	提案型	◆働くことについて自分の考えをまとめよう。 ○礼状の作成 ○パワーポイントでまとめを行う。	【思考・判断・表現】 ・職場体験から感じたこと、インタビューを通して知ったことをまとめている。
20	発信型	◆パワーポイント使い、職場体験のまとめを発表しよう。 ○地域参観日で発表を行う。	【思考・判断・表現】 ・自分の体験をまとめ、広く発信する力を身に付けている。

めむろ未来学（英語科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生中学校
Tips③ for Writing “My town”		学 年	2年生
		生徒数	7名
		授業者	大島 護
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の考えや自分の町について調べ新たにわかったことをクラスメートに知ってもらうために、マッピングなどの手法を使い、書くことができる。		書く内容や構成などを整理し、まとまりのある文章を書いている。	内容を整理し、クラスメートにわかりやすく伝えようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
自分の町について書いたマッピングをもとに、インターネットでより詳しい情報やつけ加える情報を調べる。		紹介するものについて自分が勧めることや自分の経験にもとづく感想などをつけ加える。	クラスで発表後、生徒のまとめを廊下に掲示する。
3 単元の指導と評価の計画（全2時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探求型	◆自分の町について伝えたいことを整理し、英語で原稿を書く。 ○自分の町についてマッピングを用いて整理し、自分が伝える内容を決定する。 ○chromebook を使いより詳しい情報やつけ加えたい情報を調べる。 ○英語で文章を書く。	【主体的に学習に取り組む態度】 - クラスメートがよくわかるよう自分の考えをまとめ、発表原稿を書こうとしている。 【知識・理解】 - 例文をもとに、習った表現を生かしながら英語で原稿を書くことができる。
2	提案型 発信型	◆自分が書いた文章をクラスで紹介する ○前時に書いた英文に自分のおすすめや感想などを加えて完成させる。 ○クラスメートに発表する。聞いている生徒は感想や質問を言う。 ※まとめたものを授業後にクラス前廊下に掲示	【思考・判断・表現】 クラスメートがよくわかるよう、自分のおすすめや感想などを加えて英文を書き、伝えることができる。

めむろ未来学（英語科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生中学校
Project 2 英語で卒業スピーチをしよう！		学 年	3年生
		生徒数	8名
		授業者	大島 護
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
マッピングをもとに中学校生活の思い出、意見、将来の夢、クラスへの思いなどわかりやすい構成でスピーチ原稿を書くことができる。		自分のことをクラスメートに知ってもらうために、事実や気持ちなどをまとめ、まとまりのある内容をスピーチ形式で話すことができる。	自分のことをクラスメートに知ってもらうために、事実や気持ちなどをまとめ、発表することができる。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
マッピングをもとに卒業スピーチの原稿を書く。		- 調べたことや自分の考え、気持ちなどを整理して、原稿を完成させる。 - クラスメートのスピーチに対して感想を述べたり、質問したりする	聞いている人に伝わるよう発表する。
3 単元の指導と評価の計画（全3時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1・2	探求型	◆中学校生活やこれからの夢、抱負などをクラスメートがよくわかるよう、構成を考えながらスピーチ原稿を書く。 ○発表の原稿を書く。	【知識・理解】 - マッピングで自分の考えを整理して原稿を作ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - クラスメートがよくわかるよう自分の考えをまとめ、発表原稿を書こうとしている。
3	提案型 発信型	◆自分の夢についてスピーチをすることができる。 ○自分の夢のスピーチを行う。 ○クラスメートのスピーチを聞き、感想や質問を言う。 ○生徒の原稿は、卒業式前に廊下に掲示する。	【思考・判断・表現】 - 発音、声の大きさ、アイコンタクトなど聞き手を意識してスピーチすることができる。 - スピーチを聞き、感想や質問を言うことができる。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室町立上美生中学校
地元「芽室・上美生」について考えよう 大正大学連携事業		学 年	3学年
		児童（生徒）数	8名
		授業者	総合担当・学年団
（１） 単元の目標			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・グループトークを通してそれぞれの大学生の地元について理解を深め、「芽室・上美生」とはどのような共通点や違いがあるのかを考える。	・これまで地元で過ごしてきた経験をもとに、大学生に伝えたい「芽室・上美生」の魅力について、自分の考えをもつことができる。 ・グループトークを通して改めて感じた地元への思いを、自分の言葉で文章にまとめることができる。	・大学生の紹介するそれぞれの地元について興味をもって質問をしたり、自分の思いが伝わるように積極的に話そうとしたりしている。	
（２） 探求・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探求型の学び	提案型の学び	発信型の学び	
・全国各地をフィールドに探究している大正大学地域創生科の学生との交流を通して、様々な地域について理解を深めるとともに、自身の暮らす町「芽室・上美生」を新たな視点から見つめる。	・様々な地元をもつ大正大学の学生に対して、これまでに過ごしてきた経験をもとに、自分の考える「芽室・上美生」の特徴や魅力を伝える。	・交流授業を通して、改めて地元である「芽室・上美生」を見つめ直して感じたことを礼状にまとめる。	
（３） 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探求提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	提案型	◆地元「芽室・上美生」のことを大学生に説明できるように準備しよう。 ○地元の特徴や魅力は何か、ワークシートを使ってまとめる。	【思考・判断・表現】 ・これまで地元で過ごしてきた経験をもとに、大学生に伝えたい「芽室・上美生」の魅力について、自分の考えをもつことができる。
2・3	探求型	◆地元についてグループトークをしよう。 ○中学生と大学生を混ぜた小グループをつくり、組み合わせを変えながら交流する。	【知識・技能】 ・グループトークを通してそれぞれの大学生の地元について理解を深め、「芽室・上美生」とはどのような共通点や違いがあるのかを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学生の紹介するそれぞれの地元について興味をもって質問をしたり、自分の思いが伝わるように積極的に話そうとしたりしている。
4	発信型	◆大学生に礼状を送ろう。 ○大学生とのグループトークを通して改めて「芽室・上美生」を見つめ直し、新たに感じた思いをもとに礼状を作成する。	【思考・判断・表現】 ・グループトークを通して改めて感じた地元への思いを、自分の言葉で文章にまとめることができる。

めむろ未来学（学級活動・総合的な学習の時間）		単元指導計画	
単 元 名		学校名	上美生学校
嵐山スキー学習		学 年	全年生
		生徒数	20名
		授業者	全教職員
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
講師の実演を見たり、指導やアドバイスをされたことをもとにスキーの楽しさを味わい、技能を高める。		- 自己の課題を発見し、解決方法を考え、実践している。 - グループごとにそれぞれの課題について積極的に交流している。	- 安全に配慮した行動ができ、生涯にわたってスポーツを楽しもうとしている。 - 豊かな自然との関わりや仲間とのふれあいを楽しんでいる。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
講師の指導や実演をもとに自分の課題を解決しようとする。			
3 単元の指導と評価の計画（全5時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探求型	◆生徒の技能に応じてグループを作り、それぞれスキー学習での課題を設定する。 ○ガイダンス後、グループに分かれ、自分の課題を設定する。 - 初心者グループ…スキーの操作に慣れる。 - 初級者グループ…安全に止まることができる。ハの字で減速、曲がることができる。 - 中級者グループ…緩やかな斜面では、スキーを平行にして滑ることができる。 - 上級者グループ…急斜面でもスキーを平行にして滑ることができる。	【思考・判断・表現】 今までの経験に基づき、自分の技能に応じた課題を設定している。
2 ～ 5	探求型	◆嵐山スキー場でスキー学習をしよう ○それぞれのグループの講師の指導や実演を生かしながら滑ることができる。 ○スキー学習の振り返りをする。	【知識・技能】 - 講師のアドバイスや実演をもとに自分の課題を解決しようとする。 【思考・判断・表現】 - グループごとに自分たちの課題について積極的に交流している。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 安全に配慮しながら、自分の技能に応じた滑りを楽しむことができる。 - 豊かな自然との関わりや仲間とのふれあいを楽しんでいる。

V 芽室西小・芽室西中エリア

○検証授業のまとめ・・・・・・・・・・芽室西小学校

「おとしよりとふれあおう」

○検証授業のまとめ・・・・・・・・・・芽室西中学校

「めむろ新嵐山スカイパークの魅力を効果的に伝えよう」

○「めむろ未来学」全体計画 芽室西小・芽室西中編

○単元計画（追録）

小	きせつとなかよし・冬、氷のお面をつくろう	1年	生活
	町がだいすきたんけんたい	2年	生活
	健康を守る～朝ごはんをたべよう～	2年	道徳
	工場の仕事～明治なるほどファクトリー～	3年	社会
	郷土の伝統・文化と先人達～ゲートボール～	4年	社会
	そろばんに親しもう～ともみそろばん教室～	4年	総合
	まめ・マメ・豆 調査隊	5年	総合
	芽室で働く人から学ぶ～あさひや講話～	5年	総合
	芽室ジモト大学とともに～メムクリ～	6年	総合
	プチキッサニア～リスどん・オークル～	特支	自立
	西小交流まつり～株式会社そらとコラボ～	中高	総合
	乗り物・買い物学習～じゃがバスにのって～	特支	自立
中	世界各地の生活と環境	1年	社会
	世界の諸地域	1年	社会
	ふるさと芽室の農業を深く知ろう	1年	総合
	新嵐山スカイパークの魅力を効果的に伝えよう	2年	総合
	職業選択の大切なキーワードを探そう	2年	総合
	日本の地域的特色と地域区分 北海道地方	2年	社会
	修学旅行を通して、芽室について見つめ直そう	3年	総合
	芽室の開拓とアイヌの人々について学ぼう	3年	総合
	現代の民主政治と社会	3年	社会

「めむろ未来学」全体計画（令和5年度）

芽室西小・芽室西中編

めむろ未来学は、ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを、小・中9ヶ年ですすめるものです

		夢育関連の単元			郷育関連の単元						
		小学校第1学年	小学校第2学年	小学校第3学年	小学校第4学年	小学校第5学年	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年	
単元（題材）名	教科	国語	学校のことを伝えよう(国語)	町の「すてき」をつたえます(国語)10月	クラスの「生き物ブック」を作ろう(国語)6月	リーフレットで知らせよう(国語)6月	伝わるように構成を考えよう(国語)7月		読み手を意識して報告文を考える(国語)2月	記事を書く(国語)11月	構成を考えて主張する(国語)6月
			思い出のアルバム(国語)2月	これまでこれから(国語)3月	町の行事について発表しよう(国語)12月	新聞を作ろう(国語)8月	「町じまん」をすいせんしよう(国語)6・7月		銀のしずく降る降る(国語)3月		
		社会生活				自分の成長を振り返って(国語)2月	「考えを広げるために、立場を決めて話し合おう」(国語)10月		世界各地の人々の生活と環境(社会)	日本の地域的特色と地域区分(社会)	現代の民主政治と社会「地方自治と私たち」(社会)
			きせつとなかよし(生活)春夏秋冬	町がだいすきたんけんたい(生活)5月	町の様子(めむろ学)5・6月		低い土地の暮らし(社会)5月	私たちの生活と政治役場・町議会(社会)4月	世界の諸地域(社会)		
		理科	町がだいすきたんけんたい(生活)	としょかんをたんけんしよう(生活)7月	農家の仕事工場の仕事(めむろ学)7・8・9月	水はどこから(めむろ学)5・6月	国土の気候の特色(社会)5月				
				まちのくふうをさがそう(生活)9月	店ではたらく人(めむろ学)10・11月	ゴミの処理と利用(めむろ学)6・7月	あたたかい土地のくらし寒い土地のくらし(社会)6月	「土地のつくり」(理科)10月	植物の特徴と分類(理科)8月	天気の変化と大気の動き(理科)10月	
		図工		しごとにチャレンジしよう(生活)10月	火事から仕事を守る(めむろ学)11・12月	地震から暮らしを守る(めむろ学)9月	くらしを支える食糧生産(社会)6月				
				町の人にもつたえよう(生活)10月	事故や事件から暮らしを守る(めむろ学)1・2月	残したいもの、伝えたいもの(めむろ学)10・11月	これからの食糧生産とわたしたち(社会)9月	「共に生きる地域での生活」(家庭)1月	地域の食文化と郷土料理(家庭)11月	ミニ英語新聞を作ろう・あなたの夢を語ろう(英語)7月	Why do We Have to Work?(英語)11月
				郵便局をたんけんしよう(生活)12月	町の様子の移り変わり(めむろ学)2・3月	地域の尽くした先人(めむろ学)1月	情報を生かす産業(社会)1月				
		その他	氷 灯 夜(図工)2月		工場の仕事～明治なるほどファクトリー(めむろ学)	郷土の伝統文化と先人達～ゲートボール～(めむろ学)9月	植物の発芽や成長(理科)5月		データの整理と分析(数学)2月		形に着目して図形の性質を調べよう(数学)10月
	消防車の絵をかこう(図工)6月			ねん土マイタウン(図工)1月	写生会(図工)6月	花から実へ(理科)8月					
	総合的な学習食農教育	食農体験 ※芽室まるかじりプロジェクト(3年生)							食農体験11月		
		栄養教諭食育指導(生活)8・9月				栄養教諭食育指導(総合)11・12月			栄養教諭食育指導(総合)		
		西小交流まつり(生活)11月			西小交流まつり※株式会社そらとのコラボ(総合)11月				自然体験学習(総合)7月	職業選択のキーワードを探そう(総合)	進路学習
		雪山体験学習(総合)2月	雪山体験学習(総合)2月	雪山体験学習(総合)2月	雪山体験学習(総合)2月	雪山体験学習(総合)2月	雪山体験学習(総合)2月	ふるさとめむろの農業を施設訪問や農業体験を通して深く知ろう(総合)	芽室新嵐山スカイパークの魅力を効果的に伝えよう(総合)	修学旅行(総合)8月	
			健康を守る朝ごはんをたべよう(道徳)	おとしよりとふれあおう認知症サポーター養成講座(総合)11月			まめ・マメ・豆 調査隊(総合)10月	修学旅行(総合)11月	本が泣いてます(道徳)2月	今度は私の番だ(道徳)3月	芽室の開拓とアイヌの人々について学ぼう(総合)
		みんなだれかに(道徳)7月	ひかり小学校のじまんはね(道徳)4月	伝統文化の尊重(道徳)11・3月	伝統文化の尊重(道徳)8・10月	伝統文化の尊重(道徳)12・1月	めむろ地域大学の方々とめむろについて考える(総合)12月	ぼくのふるさと(道徳)11月	冬の使者マガン(道徳)11月	高く遠い夢(道徳)5月	
		みつけてみよう(道徳)11月	広いせかいのたくさんの人たちと(道徳)7月	国や郷土を愛する態度(道徳)1月				白神山地(道徳)5月	郷土を掘る(道徳)6月	住みよい社会に(道徳)10月	島唄の心を伝えたい(道徳)8月
			今ほくにできることなら(道徳)2月	「ふるさといいとこさがし」(道徳)3月	「ふるさとを守った大イチョウ」(道徳)10月	芽室で働く人から学ぶ～あさひや講話～(総合)11月	新しい日本に～龍馬の心～(道徳)11月	故郷の雅 歌詞の心(道徳)2月	祭りの夜(道徳)8月	社会からの無言の賞賛を感じる完成(道徳)11月	
	特別活動								楽寿号に乗って(道徳)6月	心でいただく伝統の味(道徳)9月	

生活科・総合的な学習の時間等で身に付けたい力	課題設定		身近な人々・社会・自然などとの関わりや学習したことなどに対する、気づき・興味から課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などとの関わり、疑問を持ったり興味を広げたりして、課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などとの関わり範囲を広げる中で抱いた、疑問や興味に対して、目的・対象・方法を明確にして、実生活に結び付くような、課題を選択・設定することができる	様々な人々・社会・自然などとの関わりの中から問題を見つけ、目的・対象・方法を明確にして、実社会、実生活に結び付くような、課題を選択・設定することができる
	探究	知る	気付きや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集することができる	身近な人や施設でのインタビューや図書を利用するなどして、課題に沿った情報を収集することができる	課題意識を持って、ネットや書籍等を利用したり専門家に聞いたりして、必要な情報を収集・選択することができる	収集した情報を課題に結び付けたり、目的に応じて手段を選択し情報収集したりすることができる
		学び・発見	情報(気付きや思ったことなど)を出し合い、共通点や違いがあることや、分類したり比べたりすることのよさに気付くことができる	情報(気付きや思ったことなど)を出し合い、話し合いの中で共通や違いがあることに気付いたり、比較や分類をしたりすることができる	思考ツールなど、提示された方法を用い、情報を分類、比較、結合させるなどして分析することができる	思考ツールなど適切な方法を選択し、情報を分類、比較、結合するなどして、関連付けたり体系化したりすることができる
	発信・提案		活動を通して得た気付きや学んだことを順序立てて考えることができる。分かりやすい方法でまとめ、伝え合うことができる	体験や調査に基づいて、目的に応じた方法で自分の思いや考えをまとめることができる。大切なことが相手に伝わるよう工夫して伝え合うことができる	相手や場・目的に応じ自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる	相手や場・目的に応じ客観性のある根拠を示して自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる

全ての土台となる力	話す・聞く力	・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動 ・質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動	・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動	・紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動	・説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動	・提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動
	対話する力	・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動	・互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動
	ICT活用力	GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動					

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

めむろ未来学（生活・図工） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
きせつとなかよし・ふゆ（生活） 氷のお面を作ろう（図工） ～氷灯夜～		学 年	1 年生
		生徒数	44 名
		授業者	担任団
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
冬の自然に関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、冬の自然遊びの面白さや自然の不思議さに気付く。		冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春・夏・秋との違いを見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫して作ることができる。	冬の自然に関わる活動を通して、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく作り出そうとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
身近な自然と関わり、学習したことに対する、興味や気付きから課題を選択・設定する。		身近な自然と関り、目的に応じた方法で自分の思いや考えをまとめる。	身近な自然と関り、大切なことが伝わるよう工夫して伝え合う。
3 単元の指導と評価の計画（全16時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 発信型	◆冬という季節について話し合おう。 ○冬になり、周囲の様子が変わったことについて話し合う。 ○冬の野原や公園では、どのように様子が変わったのかを予想する。 ○冬の野原や公園で、そのようなことをしたいのかを話し合い、冬探検の計画を立てる。 ○学習の振り返りをする。	【知識・技能】 ・冬の野原や公園の様子が変化していることに気付いている。 【思考・判断・表現】 ・冬の野原や公園の様子を秋の様子と比べながら、どのように変化しているのか予想している。 【態度】 ・冬の野原や公園でできる遊びを楽しもうとしている。
2・3	探求型 発信型	◆冬を見つけに行こう。 ○前時の学習を想起し、学習の見通しをもつ。 ○冬の野原や公園で、冬探しをしたり、楽しく遊んだりする。 ○感じたことや秋の様子と比べて気付いたことを、絵や文にして表す。	【知識・技能】 ・冬の野原や公園の様子から、自然の中の決まり、自然の不思議さに気付いている。 【思考・判断・表現】 ・諸感覚を生かして、冬の自然に関わったり、冬の特徴を確かめながら、動植物を見つけている。 【態度】 ・冬の野原や公園の変化に関心をもって、冬の特徴を見つけようとしている。
4・5	探究型 提案型	◆冬の生き物を調べよう。 ○野原や公園で見つけた冬の生き物を紹介しよう。 ○もう一度野原や公園に行き、冬の生き物をじっくりと観察する。 ○自分が見つけた冬の生き物について本など	【知識・技能】 ・冬の植物や生き物の様子の変化に気付いている。 【思考・判断・表現】 ・冬の植物や生き物の様子を、秋の様子と比較しながら捉えている。

		を用いて調べる。	【態度】 冬の植物や生き物に関心をもち観察したり調べようとしている。
6 ・ 7 ・ 8 ・ 9	探究型 提案型	◆北風と遊ぼう。 ○冬の風を使った遊びにはどんなものがあるか考える。 ○教師が風を使ったおもちゃをいくつか紹介した後、自分なりに工夫して冬の風を捕まえて遊ぶおもちゃを作る。 ○おもちゃを改善したり、遊び方を工夫したりして風を捕まえて楽しく遊ぶ。	【知識・技能】 - 風の力や遊びの楽しさ、遊びを工夫する面白さに気付いている。 【思考・判断・表現】 - 風で遊ぶおもちゃの動きを予想したり、確かめたり、見通したりしながら、おもちゃを作ったり遊んだりしている。 【態度】 - 粘り強くおもちゃを作ったり、それを用いて楽しく遊んだりしようとしている。
10 ・ 11	探究型 提案型	◆雪や氷で遊ぼう。 ○雪や氷を使った遊びを写真や実物を用いて提示する。 ○校庭で、雪や氷を使った遊びを行う。 ○学校の中で、寒い場所を探したり、氷ができそうな場所について話し合ったりする。	【知識・技能】 - 雪遊びや氷ができることの楽しさに気付いている。 【思考・判断・表現】 - 雪が溶けにくい場所や、氷が作りやすい場所を比べながら遊んでいる。 【態度】 - 友達と協力して雪遊びや氷づくりをしたいという願いをもって、遊びを作り出そうとしている。
12 ・ 13	探究型 提案型	◆「氷のお面」の設計図を考えよう。 ○氷灯夜の写真や動画、雪や氷を使って作った「氷のお面」の写真などを提示する。 ○「氷のお面」の設計図を描く。 ○自分のお面を作るのに必要な材料を考える。	【知識・技能】 - 氷灯夜に出品する氷のお面の設計図を描くことができる。 【思考・判断・表現】 - 自分の氷のお面を作るための材料を考えることができる。
14 ・ 15	提案型 発信型	◆「氷のお面」を作ろう。 ○設計図をもとに、氷のお面を作る。	【知識・技能】 - 集めた材料を使って、自分の氷のお面を作ることができる。 【思考・判断・表現】 - 設計図のような氷のお面を作るために、材料を工夫して用いている。
	発信型	◆何を感じたかな。 ○これまでの学習を振り返り、気付いたことや楽しかったことを絵や文にしてカードにまとめ、友達と伝え合う。 ○野原や公園の1年間を想起し、季節による違いや特徴について話し合う。 ○家の人に伝えたいことを考える。	【知識・技能】 - これまでの学習を振り返り、冬と仲良くなることができた自分の成長に気付いている。 【思考・判断・表現】 - 学習を振り返って、季節の変化が自分たちの生活と関わっていることを伝え合っている。 【態度】 - 冬について感じたことをもとに、学んだことをこれからの生活に生かそうとしている。

めむろ未来学（生活科・国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
町の「すてき」を伝えます（国語） 町がだいすきたんけんたい（生活） ～えがおのひみつ探検隊～		学 年	2年生
		生徒数	48名
		授業者	担任・特支担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域と関わる活動や、公共物や公共施設などを使用する活動を通して、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていること、身の回りにはみんなで使うものがあること、それらを支えている人々がいることが分かり、適切に接したり、利用したりできる。		地域と関わる活動や、公共物や公共施設などを利用する活動を通して、地域やそこで働いている人々について考えたり、公共施設などのよさや働きを捉えたりできる。	地域と関わる活動や、公共物や公共施設などを利用する活動を通して、地域の人々や様々な場所に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、公共物や公共施設を大切にし、安全に正しく利用できる。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
気付きや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集する。		「えがおのひみつ探検隊」を通して得た気付きや学んだことを、順序立てて考えたり、分かりやすい方法でまとめる。	「えがおのひみつ探検隊」の体験や調査を通して得たことを、工夫してかべ新聞にまとめ伝え合う。
3 単元の指導と評価の計画（全 18 時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆たんけんの計画を立てよう ○前の探検で心にのこっていることをふりかえる。 ○もっと知りたいことを整理する。	【態度】 ・前回の町探検の様子を思い出し、知っていることやもっと知りたいことを伝えることができる。
2	探究型 提案型	◆いくお店をきめよう ○聞いてみたいこと、見たいこと、やってみようことを考える。 ○質問の答えを予想する。	【思・判・表】 ○自分がどの課題に取り組みたいか決めることができる。 ・質問を考えてワークシートに書くことができる。 ・質問に対する答えを予想することができる。
3	探究型 提案型	◆やくわりを決めよう ○インタビューすることを整理する。 ○カメラ係、地図係、インタビュー係、メモ係をきめる。 ○あいさつの練習をする。	【知・技】 ・インタビューの仕方や、カメラなどの操作の練習を行うことができる。
4・5・6	探究型	◆たんけんしよう ◆しごとにチャレンジしよう ○グループごとに移動する。 （こばやし、HIRO、あさひや、安田石油、ガソリンスタンド、消防署、図書館、本屋さん、美容室、芽室郵便局、カフェボタン、ライオン堂、まつばら、道新、南館歯科、中の時計、かどやさん、喫茶店、小久保、きなり、クリーニング店、三浦商店、	【全部】 ・あいさつすることができる。 ・協力して、探検場所に行くことができる。 ・計画通りに質問したり、体験したりできる。

		武藤さん、桃粋、フォトクリエイト村の、 フォトスマイル、芦沢さん、米屋さん、服 部さん、浜田内科、小林電気、交番、役 場、畳店、コロポックル、ネイル)	
7	提案型 発信型	◆探検カードにわかったことを書こう ○絵日記風に探検したことをまとめていく。	【思・判・表】 ・体験したことを絵と文に表すことが できる。
8	提案型 発信型	◆町の「すてき」をつたえよう ○見たことわかったことをメモにする。	【思・判・表】 ・見たこと、聞いたこと、思ったこと をメモに書くことができる。 ・付箋を分けることができる。
9	提案型 発信型	◆町の「すてき」を作文で伝えよう ○メモをもとに作文にしよう。	【思・判・表】 ・メモをもとに作文に書くことができ る。
10	提案型 発信型	◆体験を伝えよう ○伝え方を考える。 (クロームブック、お店マップ、紙芝居、新 聞) など楽しんで聞いてもらう工夫をす る。	【態度】 ・お店の様子が伝わりやすい発表の仕 方を考えて、アイディアをだすこと ができる。
11 12 13	提案型 発信型	◆伝える工夫をしよう ○発表の準備を行う。	【知・技】 ・ジャムボードやクロームブックの使 い方を知り、まとめることができ る。
14 15	発信型	◆えがおのひみつたんけん発表会 ○グループごとに発表会を行う。 ○聞いている人は、大事な事をメモしてい く。	【知・技/思・判・表】 ・練習したことを発表することができ る。 ・考えながら、聞くことができる。
16 17	発信型	◆ありがとうをつたえよう。 ○手紙や感謝状にして感謝の気持ちを伝え る。	【思・判・表】 ・お世話になったお店の方に感謝の気 持ちを伝えることができる。
18	探究型	◆これからのめむろのおみせのアイディアを 考えよう。 ○こんなお店だったらいいなというアイディ アを出し合おう。	【思・判・表】 ・芽室の未来について考え、アイディ アをだすことができる。

めむろ未来学（道徳） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
健康を守る ～朝ごはんを食べよう～		学 年	2年生
		生徒数	48名
		授業者	担任・支援担任 いただきます カンパニーの方
1 単元の目標			
A（3）節度・節制			
- 健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をしようとする心情を育てる。 - 朝ごはんの大切さを体感することで、食への興味関心をもつ。			
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
道徳の授業や外部講師の方の話から、朝ごはんの重要性に気づき、健康や安全について探究する。		授業や外部講師の方の話を聞いて得た情報や自分の思いや考えを、分かりやすい方法でまとめる。	外部講師の話や授業から、自分の気づいたことや分かったことを他者に発表（発信）する。
3 単元の指導と評価の計画（全2時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点・評価規準
1	探究型	◆ 「かむかむメニュー」を読んで、健康や安全について気をつけていることを話し合う。 ○ 自分の生活を振り返る。 ○ 自分で健康や安全に気を付けていてよかったということはありませんか。	・ 健康を守る学習で自分を振り返り、「健康や安全」に関わることを様々な視点から思い起こしている。 （ワークシート・発表）
2	提案型 発信型	◆ 節度・節制に関わるゲストティーチャー（いただきますカンパニー）の話を聞いて、朝ごはんの重要性を学ぶ。 ○ 「いただきます」という言葉について考え、食に関する関心をもつ。 ○ 「いただきますカンパニー特性紙芝居」を見る。 ○ 授業を振り返って、自分の気づいたこと、分かったことをワークシートに書く。 ○ 発表、交流する。	・ 朝ごはんの大切さに気づき、自分の気づいたことや分かったことをまとめることができる。 （ワークシート・発表）

めむろ未来学（社会） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
工場の仕事～明治なるほどファクトリー工場～		学 年	3年生
		生徒数	61名
		授業者	担任・支援担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
工場の仕事の種類や工程などについて理解する。 生産の仕事が地域と密接に関わっていることを理解する。		工場の仕事について、問いを見出し、仕事の様子について考え表現している。 工場の仕事と地域の生活との関連を考え、適切に表現している。	地域に見られる生産の仕事について、予想したり、振り返ったりして問題を追求し解決しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
地域に見られる生産の仕事について、地域の人々との生活と密接な関わりをもっていることを、見学や調査を通して学ぶ。		地域に見られる生産の仕事について、見学や調査で得た情報を、目的に応じた方法でまとめる。	地域に見られる生産の仕事について、学習を振り返り、まとめ、交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全11時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆チーズ工場について、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、学習課題をもつ。	【思・判・表】【態度】 ・チーズ工場について、気づいたことや思ったことをもとに、工場の仕事について問いを見出している。 （発言内容・ノート）
2・3	探究型	◆チーズ工場の工夫や地域との関わりについて調べよう。 ○チーズ工場では、どのような工夫をしているのか調べる。 ○チーズ工場は地域とどのように関わっているのか調べる。	【知・技】 ・必要な情報を集め、読み取り、工場で働く人の工夫について理解している。 ・必要な情報を集め、読み取り、工場で作られた製品の出荷先や、働く人は近くの市町村からも来ていることを理解している。 （発言内容・ノート）
4・5	探究型	◆見学の計画を立てよう。 ○チーズ工場について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、交流する。 ○チーズの生産について疑問に思ったことを話し合い、交流する。 ○調べたいこと、疑問に思ったことをもとに学習計画を立て、見学カードに記入する。	【思・判・表】【態度】 ・チーズ工場について、気づいたことや疑問に思ったことをもとに、チーズをつくる工場の仕事について、問いを見出している。 （発言内容・ノート） ・チーズをつくる工場の仕事について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 （発言内容・ノート）

6 ・ 7	探究型	◆チーズ工場を見学しよう。 ○疑問に思ったことを整理して、工場の方に質問し、わかったことをメモする。	【態度】 ・地域に見られる工場の仕事について、興味をもったり、問いを見出したりして、見学をしている。
8 ～ 10	探究型 提案型	◆これまで学んだことや、工場を見学して分かったことを工場ブックにまとめる。 ○調べたことをもとに、学習課題についてわかったことや考えたことをまとめる。	【知・技】 ・必要な情報を集め、読み取り、工場の流れ作業の様子を理解している。 【知・技】 ・必要な情報を集め、読み取り、工場でつくられたチーズは様々な販売店に送られていることや工場で働く人は、近くの市町村からも来ていることを理解している。 (工場ブック)
11	提案型 発信型	◆地域に見られる生産の仕事について、工場ブックにまとめたことを交流する。	【思・判・表】 ・工場の仕事の様子と地域の人々の生活との関連について考え表現している。 (工場ブック・発表)

めむろ未来学（社会） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
郷土の伝統・文化と先人たち～芽室町発祥ゲートボール～		学 年	4年生
		生徒数	52名
		授業者	担任・支援担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史的背景、保存や継承のための取組などについて、見学調査したり、資料で調べたりして、必要な情報を集め、理解している。		歴史的背景、保存や継承などに着目して問いを見出し、文化財や年中行事の様子について考え、表現している。	文化財や伝統行事について、学習計画を立てたり、振り返ったりして、学習課題を追求、解決しようとしている。 地域の伝統や文化の保存・継承に関わって、自分たちにできていることを考えている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
地域には保存や継承されるべき文化や伝統があることを知り、芽室町発祥のゲートボール体験を通して、その保存・継承に関わって自分たちでできることを探究する。		ゲートボール体験や調査に基づいて、目的に応じた方法で自分の思いや考えをまとめる。	ゲートボールの保存や継承に関わって、自分たちでできることについて考え、リーフレットにまとめ発信する。
3 単元の指導と評価の計画（全11時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型	◆町内にある古くから残るものを出し合って学習課題をつくる。	【思・判・表】 ・町内にある古くから残るものについて、現在に至るまでの経過に着目して、問いを見出している。 （発言内容・ノート）
2・3	探究型	◆芽室町に古くから残る建物にはどのようなものがあるか調べる。 ○古くからある建物は、どのように守られてきたのかを知る。	【知・技】 ・必要な情報を集め、読み取り、町内の文化財やそれを保存する人々の様子を理解している。 （発言内容・ノート）
4・5	探究型	◆長く伝わっている芸能はどのようにしてできたのか調べる。 ○長く伝わっている芸能はどのように受け継がれようとしているのかを知る。	【知・技】 ・必要な情報を集め、読み取り、町内の文化財やそれを守り伝える人々の様子を理解している。 （発言内容・ノート）
6・7	探究型	◆長く続けられている祭りは、どのようにして始まったのか知る。 ○長く続けられている祭りには、どのような願いが込められているのかを知る。	【知・技】 ・必要な情報を集め、読み取り、年中行事やそれを守り伝える人々の様子を理解している。 （発言内容・ノート）

8 ・ 9	探究型	◆ゲートボールは、どのようにしてできたのか、またどのように受け継がれようとしているのかを知る。 ○地域の方たちと一緒にゲートボール体験をする。	【主体的に取り組む態度】 ・地域の方たちと楽しんでゲートボール体験をする。
10 ・ 11	提案型 発信型	◆芽室町発祥のゲートボールについて、リーフレットにまとめる。 ○ゲートボールの保存や継承に関わって、自分たちでできることについて考える。	【思・判・表】 ・ゲートボールの保存や継承に関わって、自分たちでできることについて考えている。 (リーフレット)

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
そろばんに親しもう～ともみそろばん教室～		学 年	4年生
		生徒数	52名
		授業者	担任団・ともみそろばん教室講師
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
算数及び総合的な学習の時間で習得するそろばんに関する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする。		算数及び総合的な学習の時間で習得するそろばんに関する知識及び技能が、これからの自分の生活において活用できるものとして身に付けられるようにする。	算数及び総合的な学習の時間で習得するそろばんに関する知識及び技能を、これからの自分の生活に生かそうという視点で学びに向かっている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
外部講師の方の話を聞くことによって、算数の時間に学習した以外のそろばんについての知識や情報を得る。		授業を通して、そろばんの楽しさや難しさについての自分なりの考えをもつ。	授業を通して、そろばんについて初めて知ったことや改めて気づいた感想を交流する。
3 単元の指導と評価の計画（全2時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 提案型	◆そろばんの基本を理解し、そろばんで計算してみよう。 ○そろばんについて知っていてほしい基本的な用語について理解する。 ○そろばんの計算での基本的な法則を理解する。 ○実際にそろばんで計算をする。 ○感想を交流する。	【知識・技能】 ・そろばんに関する基本的な用語や計算の法則を理解している。 ・そろばんに関する基本的な用語や計算の法則を使って計算できている。 【態度】 ・そろばんに関する基本的な用語や計算の法則をこれからの自分の生活にいかそうとしている。
2	探究型 発信型	◆講師の話を聞いて、そろばんに関する歴史やフラッシュ暗算について知る。 ○そろばんの生産地や歴史についての写真や動画を見る。 ○フラッシュ暗算についての講師の説明を聞いて、実際に体験する。 ○講師の方のフラッシュ暗算を見せていただく。 ○質問・感想の交流をする。	【知識・技能】 ・そろばんの歴史や成り立ち、フラッシュ暗算についての話を理解している。 【思考・判断・表現】 ・そろばんの歴史や成り立ち、フラッシュ暗算についての知識や技能を今後の生活に活用できるものとして身に付けている。 【態度】 ・今日の学習で身に付けた知識や技能をこれからの生活に生かそうとしている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間）		単元指導計画	
単 元 名		学校名	芽室西小学校
まめ・マメ・豆 調査隊		学 年	5年生
		児童数	48人
		授業者	担任団・栄養教諭
(1) 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・大豆の生産や大豆食品について調べ、人々が昔から大豆を工夫して食べてきたことをまとめることができる。 ・自分たちで大豆を育て、収穫し調理するまでの活動から地産地消について理解している。 ・食に携わる人々には、食に対する思いや願いがあり、それが、自分たちの食生活を豊かにしていることがわかっている。		・課題解決に向け、必要な情報を収集し、整理して考えている。 ・体験から自分の気づきや思い、考えが伝わるように表現し、発信している。 ・身近な人々に大豆の魅力について知ってもらえるように、自分の考えを工夫して表現している。	・大豆栽培に意欲的に取り組み、大豆や大豆食品に興味を持ち進んで情報を集めようとしている。 ・大豆作りを教わったり、地域の農家の方の話を聞いたりすることで感謝の心を持って食べ物を大切にしようとしている。 ・他者との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしている。
(2) 探究・提案・発信型学習の具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・給食にえだまめや大豆を使ったメニューが多いのはなぜか。 ・芽室町の特産物を使った地産地消について探求する。		・自分達の食生活を振り返り、児童や保護者に大豆の栄養や食品の良さを知ってもらえるように提案する。 ・大豆を使ったメニューを考え、家庭で作って食べてもらえるように提案する。	・大豆の魅力をもっと知ってもらえるように新聞にまとめ、全校児童や保護者に発信する。
(3) 単元の指導と評価の計画（全22時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	提案型	◆大豆について知っていることを交流しよう ○自分が知っていることを発表する。 ○給食のメニューに、枝豆や大豆が多いのはなぜか考える。 ○もっと知りたいことを明確にし、学習課題を考える。	【知・技】【思・判・表】 ・大豆について知っていることを発表することができる。 ・大豆についてもっとくわしく調べたいという意欲をもち、自分の課題を考えることができる。（ワークシート）
2	探究型	◆大豆について調べよう。 ○大豆は主にどこで生産され、芽室町では、どれくらい作られているのか調べる。 Chromebook の活用	【思・判・表】 ・大豆の生産量がなぜ多いのか、自分の考えを進んで発表している。（ワークシート） ・大豆についてまとめることができる。（ワークシート）
3	探究型	◆大豆の栽培方法について調べよう。 ○情報を収集し、交流する。 Chromebook の活用	【知・技】【思・判・表】 ・収集した情報から大豆の栽培方法を理解している。
4・5	探究型	◆大豆を畑にまこう。（講師） ○講師の話を聞いて、大豆の種を畑にまく。 ○大豆がよりよく成長する方法について話を聞く。	【知・技】【態度】 ・協力し、意欲的に活動している。 ・話を聞いて、大豆の成長に興味をもつことができる。

6 ・ 7 ・ 8 ・ 9	探究型	◆大豆を観察し、畑の手入れをする。 ○成長の様子を記録し、畑の手入れをする。 Chromebook の活用 *大豆の成長に合わせて行う。	【知・技】 - 調べたことをもとに大豆の世話をすることができている。 - 成長の様子が分かるように記録している。
10	探究型	◆大豆の栄養について調べる。(講師:栄養教諭) ○栄養教諭の先生から大豆の栄養について話を聞く。 ○食生活を振り返り、健康な体づくりについて考える。	【知・技】【態度】 今までの食生活を振り返り、新たな気づきを得たり、自分の見方や考え方を広げたりしている。
11	探究型 提案型	◆大豆を使った料理を調べる。 ○給食のメニューやインターネットを利用し大豆を使ったメニューを調べる。 Chromebook の活用	【思・判・表】 必要な情報を収集し、整理して内容をまとめることができている。
12 ・ 13	提案型 探究型	◆大豆を使った料理を考える。(講師:栄養教諭) ○栄養教諭にアドバイスをもらいながらグループで一つ大豆料理を考える。 Chromebook の活用	【思・判・表】【態度】 グループで協力し、必要な情報を意欲的に収集している。
14 ・ 15	探究型	◆大豆を収穫しよう。(講師:畑の先生) ○自分たちで育ててきた大豆を収穫する。 ○収穫してから大豆になるまでの話を聞く。	【態度】 自分たちが育てた大豆を喜んで収穫している。
16 ・ 17	発信型	◆大豆の成長の様子をまとめる① ○収穫までの様子をスライドにまとめる。 Chromebook の活用	【思・判・表】 収集した情報を整理し、よりよいまとめ方を考えている
18 ・ 19	提案型	◆収穫した大豆で大豆料理を作ろう。(講師:栄養教諭) ※不足分は購入 ○自分たちで考えた大豆料理を作る。	【態度】 グループで協力して安全に作業している。
20 ・ 21 ・ 22	発信型	◆大豆の成長の様子をまとめる② ○これまでの活動を通して、気づいたことや考えたことが伝わるようにまとめ、発信する。 ○プレゼンテーション。 Chromebook の活用	【思・判・表】 - 収集した情報を整理し、よりよいまとめ方を考えている。 - まとめたことをわかりやすく伝えている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
芽室で働く人から学ぶ ～「あさひや」講話～		学 年	5年生
		生徒数	48名
		授業者	担任団・外部講師 （あさひや）
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し探究的な学習のよさを理解するようにする。		実社会や実生活の中から問いを見出し、自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
課題意識をもたせ chromebook を活用したり、専門家に聞いたりして、必要な情報を収集・選択する。		相手や場・目的に応じ、自分の思いや考えを論理的にまとめる。	まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広める。
3 単元の指導と評価の計画（全2時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 発信型	◆「あさひや」さんの講話を聞くにあたって、質問したいことを考える。 ○各学級ごとに、chromebook を活用して質問を考える。 ○「パン作り」「十勝の小麦」「なぜパン屋を始めたか」等のキーワードで chromebook を活用して質問を考える。	【思考・判断・表現】【態度】 ・chromebook を活用して、「あさひや」さんに聞きたいことをまとめることができる。 ・質問を考えるという探究的な活動を、自分を見つめ直す機会とすることができる。
2	探究型 提案型	◆「あさひや」さんの話を聞いて、意見交流し、将来や職業について自分自身の考えをもつ。 ○「あさひや」さんから、パン屋としての歴史や十勝でパン屋を行うことの利点や課題、今後の取り組みについて話を聞く。 ○「あさひや」と5年生との意見交流会をする。	【思考・判断・表現】 【態度】 ・質問したい内容を適切な方法で伝え合い、自分の考えを広めることができる。 ・将来や職業を主体的に考えることができる。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
めむろ地元大学の方々と芽室町について考える ～めむクリに参加しよう！～		学 年	6年生
		生徒数	51名
		授業者	担任団・めむろ地元大学の皆さん
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し探究的な学習のよさを理解するようにする。		実社会や実生活の中から問いを見出し、自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
地元大学の皆さんの芽室町に対する思いや考えに触れることを通して、地域の人や物事について学ぶ。		地元大学に関わる高校生が考えた「めむクリ」に参加することを通して、芽室町を盛り上げるために自分たちができることを考える。	「めむクリ」イベントに、自分たちが考えた「オリジナルランタン」を出品する。
3 単元の指導と評価の計画（全2時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 発信型	◆地元大学の皆さんの考える「スペシャルクリスマスイベント」に参加するにあたって、「ランタン」の構想を考える。 ○芽室町について知り、芽室町のことを本気で考えている人たちの思いを知る。 ○氷灯夜のように芽室には素敵なイベントがあると発信するために、「ランタン」の構想を考える。	【思考・判断・表現】 【態度】 - 芽室町について知り、芽室町のことを本気で考えている人たちの思いを知ることができる。 - 氷灯夜のように芽室には素敵なイベントがあると発信するために、「ランタン」の構想を考えることができる。
2	発信型 提案型	◆自分が考えた「ランタン」を作成する。 ○芽室町のよさを発信できるような「ランタン」を考えて作成する。	【思考・判断・表現】 【知識・技能】 【態度】 芽室町を盛り上げるような「ランタン」を考えて作ることができる。

めむろ未来学（自立活動） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
『プチキッサニア』～社会福祉法人柏の里めむろ～ アットホーム パン工房「リスどん」・「オークル」		学 年	特別支援学級
		生徒数	24名
		授業者	特支担任
1 単元の目標			
・ミニ体験することで、身の回りの仕事に関心をもち、働くことへの関心・意欲を高める。 ・働く人の思いに触れ、自分の将来へ向けて、夢や憧れをもつ。			
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
社会福祉法人めむろが運営している「リスどん」「オークル」の職業体験を通して、働くことの大変さや良さに気付く。			「リスどん」「オークル」で働く人へ、体験を通して学んだこと、新しく気付いたことを発信する。
3 単元の指導と評価の計画（全2時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点 評価規準
1	探究型 発信型	◆「リスどん」の仕事の概要を理解し、おしごと体験をする。 ○写真を見たり、教師の説明を聞いたりして、リスどんの仕事の内容を理解する。 ○事前に働いている方にアンケートをとっておき、その内容を知ること、働くことの大変さや良さに気付く。 ○手順書を見て、教師の話を聞きながら、クッキーの袋詰めをする。 ○友達と体験を通して学んだ感想を交流する。 ○クッキーを焼いてくれた「リスどん」さんへ、感謝状として感想をまとめて送る。	・今日の学習に見通しをもち、意欲的に参加しようとしている。 ・教師の話をよく聞いて、パン屋さんの仕事に興味関心を抱いている。 ・体験を通して、働くことの大変さや良さに気付いている。 ・発表やワークシートに自分の感想や学んだことを書けている。
2	探究型 発信型	◆「オークル」の仕事の概要を理解し、おしごと体験する。 ○写真を見たり、教師の説明を聞いたりして、オークルのお仕事の内容を理解する。 ○事前に働いている方にアンケートをとっておき、その内容を知ること、働くことの大変さや良さに気付く。 ○手順書を見て、教師の話を聞きながら、ごみ袋を折る。 ○協力して10枚1セットの袋詰めをする。 ○友達と体験を通して学んだ感想を交流する。 ○お仕事のことを教えてくれた「オークル」さんへ、感謝状として感想をまとめて送る。	・今日の学習に見通しをもち、意欲的に参加しようとしている。 ・教師の話をよく聞いて、事業所の仕事の内容に興味関心を抱いている。 ・体験を通して、働くことの大変さや良さに気付いている。 ・発表やワークシートに自分の感想を書けている。

上記の目標を達成するために、個々に合った手立てを用いて支援し評価する。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
西小交流まつり～『株式会社そら』とのコラボ～		学 年	3～6年生
		生徒数	212名
		授業者	担任団・株式会社そら
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し探究的な学習のよさを理解するようにする。		実社会や実生活の中から問いを見出し、自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
株式会社そらの方の十勝に対する思いや考えに触れることを通して、実生活に結びつくような課題を選択・設定することができる。		株式会社そらの方の十勝に対する思いや考えに触れ、「西小交流まつり」の自分たちの店づくりに生かす。	「西小交流まつり」でいろいろなお店を回ったり、自分たちでお店を出したりする経験を通して、会社を運営することへの大変さや面白さを感じ、感じたことを交流しあう。
3 単元の指導と評価の計画（全10時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究型 発信型	◆「西小交流まつり」への学習の見通しをもつ。 ○昨年度の様子を写真や動画で見て、見通しをもつ。 ○株式会社そらの方の話を放送で聞き、みんなが楽しめるようなお店づくりの参考にする。 ○どんな交流まつりにしていきたいか、考えを発表し交流する。	【思考・判断・表現】 ・株式会社そらの方の話を参考にしながら、自分たちのお店について考えたことを交流している。 【態度】 ・「西小交流まつり」へ向けて、興味関心を持ち、しっかり話を聞いたり、これからのことを考えたりしている。
2・3	提案型 発信型	◆自分たちの学級でどんなお店（会社）を出すのか話し合う。 ○学級全体で話し合い、お店を2つに決める。 ○誰がどのお店の担当になるか話し合う。 ○そのお店を運営するための役割分担を話し合う。 ○お店を作るために必要な道具や材料を話し合って決める。	【知識・技能】 ・自分たちのお店に必要な道具や材料について考えている。 【思考・判断・表現】 ・自分たちのお店について、みんなを楽しませることができるかという視点で考え話し合っている。
5・7 4・5・	提案型 発信型	◆お店づくりをしよう。 ○前時まで考えたお店を友達と分担・協力して準備する。	【思考・判断・表現】 ・友達と分担・協力してお店づくりをしている。 【態度】 ・お店の準備に自分から進んで関わっている。

8・9	探求型 提案型	◆「西小交流まつり」をしよう。 ○自分たちが企画したお店を運営する。 ○他の学年の友達が考えたお店を体験する。 ○株式会社そらの方にも子どもたちが考えたお店を回ってもらい感想を放送で伝えてもらう。 ○後片付け。	【態度】 ・他の学年のお店にも興味をもって体験に回っている。 【思考・判断・表現】 ・お客さんに楽しんでもらうために、自分の役割を果たし、協力できている。
10	発信型	◆振り返りをしよう。 ○これまでの学習を振り返り、お店を出すこと、会社を運営することとはどんなことなのか、自分の体験を通して考えたことを友達と交流しあう。 ○もっとこうすればよかったという反省点は次年度に生かしていく。	【思考・判断・表現】 ・株式会社そらの方の話を参考にしながら、お店を運営する大変さや面白さについて考えている。 【態度】 ・自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりできている。

めむろ未来学（自立活動） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西小学校
若草学級 乗り物・買い物学習 「じゃがバスに乗って、買い物へ行こう」		学 年	特別支援学級
		生徒数	24名
		授業者	特支担任
1 単元の目標			
・見通しをもち、自分の計画に沿って落ち着いて行動できる。 ・買い物の手順を理解して、自分で買い物ができる。 ・バスの乗り降りの仕方を理解して、自分で行動できる。 ・公共の乗り物、公共の場での振る舞い方を身に付ける。			
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
地域に「じゃがバス」というコミュニティバスが走っていることを知り、これからの自分の生活にどう生かすか考える機会をもつ。		買い物の計画を立てて、それを友達と交流する。	協力してくださった地域の方（珠久ライオン堂）へ、自分が今回何を学んで、これからどうそれを生かすか感謝の手紙を通して伝える。
3 単元の指導と評価の計画（全5時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点 評価規準
1	探究型	◆学習の見通しをもち、計画を立てる。 ○「珠久ライオン堂」で買い物をして「じゃがバス」に乗って帰ってくることを理解する。 ○安全に行って帰ってくるためのめあてを確認する。 公共の乗り物に乗っている時のマナーもおさえる。 ○一人300円の使い道を考える。 ○じゃがバスの運賃が100円なので、買い物は200円であることを理解する。 ○200円では文房具類を買うことを理解する。	・教師の話を聞いて、学習に興味関心を抱いている。 ・買い物をする時やバスに乗る時に気を付けたいことを考えて発表できる。 ・確認しためあてをワークシートに書いている。 ・これからの学習に意欲をもっている。
2	探究型 提案型	◆バスの乗り降りや買い物の仕方の練習をする。 ○乗降口の場所、運賃表の見方、バスに乗っている時のマナー、降りる時の合図の出し方を学習する。 ○お買い物ごっこをして、買い物の仕方を練習する。 ○自分はどの文房具を200円で買えるのか、ワークシートを用いて考える。 ○200出して、おつりをもらう練習をする。	・教師の説明を聞いて、バスの乗り降りの仕方を理解している。 ・買い物の仕方を理解して、買い物ごっこをしている。 ・買い物の計画を立てることができる。

		○計算機を用いて、その場で計算する練習もする。 ○自分の買い物の計画を立てて、交流する。	
3 ・ 4	探究型	◆買い物・乗り物学習へ行く。 ○事前学習で確認しためあてを守って行動する。 ○練習を生かして、買い物をする。 ○公共の乗り物に乗る時のマナーを守って、バスに乗る。	・めあてを守って行動できている。 ・自分の力で買い物できている。 ・バスに乗っている時に周りのことを考えて行動できている。
5	発信型	◆今回の学習のまとめをする。 ○めあてを守って行動できたか振り返る。 ○自分の力で買い物をしてみての感想をワークシートにまとめ、友達と交流する。 ○珠久ライオン堂さんへ、感謝のお手紙を書く。	・感想を書けている。 ・友達の話を知っている。 ・協力してくださった珠久ライオン堂さんへ、お手紙を書けている。

上記の目標を達成するために個々に合った手立てを用いて支援し評価する。

めむろ未来学（社会科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西中学校
第1章 世界各地の人々の生活と環境 世界の気候帯と宗教		学 年	1 年
		生徒数	46名
		授業者	掛水 成幸
（1） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人々の生活は、自然及び社会的条件から影響を受けたり、影響を与えたりすることを理解している。		・世界各地の人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現している。	・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野に入れ、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
（2） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・芽室町と世界各地の自然や人々の生活の共通点や特色を見つける。		・芽室町と世界各地の自然や人々の生活の違いから、相互に尊重しあうために必要なことを考える。	・調べたこと考えたことを交流し合い、考えを深める。 ・学習した内容を新聞にまとめる。
（3） 単元の指導と評価の計画（全10時間）			
時	探究提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究	◆導入の活動 世界の人々の生活を探ろう ○資料を読み取る技能を身に付け、生活の工夫と自然環境について、北海道（芽室）と比較しながらまとめる。	【知・技】 ・写真資料の比較から、各地の自然環境の特色を読み取り、気付いたことを表にまとめている。
2 ～ 8	探究 発信	◆人々の暮らしは、なぜ場所によって異なるのか考えよう ○北海道（芽室）の自然環境との違いや共通点を写真や雨温図などの資料から読み取る。 ○北海道（芽室）と同じ、もしくは異なる自然環境や生活の特色が見られることを理解し、その背景を考察する。	【知・技】【思・判・表】 ・写真や雨温図から、日本と比較し、違いや共通点を読み取っている。 ・世界各地で生活する人々の暮らしについて自分たちの生活と比較しながらその特色を考察し、その結果をまとめている。
9	探究 発信	◆人々の生活に根付く宗教について理解しよう ○世界にはさまざまな宗教や、宗教と関わりの深い生活が営まれていることを、日本や北海道（芽室）の社会を踏まえて理解する。	【知・技】 ・世界に広がる主な宗教の分布や生活との関わりを把握し、説明する。
10	提案 発信	◆基礎・基本のまとめ 1章の学習を確認しよう ○学習内容を振り返り、私たち北海道（芽室）との比較をもとに、よりよい社会の実現を目指した自らの考えを新聞にまとめる。	【態度】 ・学習を振り返り、考察することを通して主体的に追究し、社会に関わろうとしている。

めむろ未来学（社会科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西中学校
第2章 世界の諸地域 5節 南アメリカ州		学 年	1 年
		生徒数	46名
		授業者	掛水 成幸
（1） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、地域的特色を理解している。		南アメリカ州に見られる課題の要因や影響を、地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	南アメリカ州について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。
（2） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
芽室町と南アメリカの州の産業の共通点や特色を見つける。		芽室町と南アメリカ州の活動と持続可能な発展とを関連させて考える。	- 考えたことを交流し合い、考えを深める。 - 学習した内容を新聞にまとめる。
（3） 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究	◆南アメリカ州の地形・気候の特色を理解しよう ○北海道（芽室）と比較しながら、南アメリカ州の自然、文化、産業の特色について基礎的・基本的な知識を身につける。	【知・技】 ・南アメリカ州の地域的特色を理解している。
2・3	探究	◆自然との共生とエネルギー問題について考えよう ○南アメリカ州では環境をどのように利用しながら生活してきたのか北海道（芽室）と比べながら考察する。 ○エネルギー問題に関わってブラジルと北海道（芽室）の共通点や特色に気づく。	【知・技】 【思・判・表】 ・自然を利用した農業や鉱業が行われていることを理解している。 ・エネルギー問題を解決するための持続可能な取り組みについて考える。
4	提案 発信	◆南アメリカ州の学習をふり返ろう ○持続可能な開発へ向けて北海道（芽室）と比較しながら、南アメリカ州の人々の生活の特色と課題を新聞にまとめる。	【態度】 ・南アメリカ州の学習を振り返り、持続可能な発展のために、私たちはどうしたら良いのか追究しようとしている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西中学校
ふるさと芽室の農業を、施設訪問や農業体験を通して深く知ろう		学 年	1 年生
		生徒数	46 名
		授業者	担任・副担任
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 芽室町の農業の特徴や現状について理解する。 - 作物の特性についての知識が身についている。		- 芽室町の農業の特徴と課題を見だし、情報を集め整理し考えることができる。 - わかりやすくまとめ、自分の考えを表現することができる。	- 芽室町の農業の特徴を意欲的に理解しようとしている。 - 現状と今後の活用について、地域産業と結びつけて考えようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 芽室ではどのような農作物が作られているのか。 - 農作物はどのように栽培され、どのように収穫されるのか。		芽室町の農産物のよさを知ってもらうには、どのような方法が効果的か。	芽室町の農産物の良さを知ってもらう。
3 単元の指導と評価の計画（全22時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究	◆芽室町の農業について調べよう。 ○Chromebook を活用し、芽室町の農業や作物について調べる。	【知・技】 ・芽室町の農業や作物生産について自分で課題を設定したり調べたりするスキルを身につける。
2 ～ 4	探究	◆芽室町の農業について詳しい人の話を聞こう。 ○JA めむろを訪問し、芽室の農業と農作物について詳しく知ろうとする。	【態度】 ・JA めむろについて興味や関心を持ち、意欲的に説明を聞こうとしている。
5 ～ 6	発信	◆調べた内容と新しく知った内容をまとめよう。 ○自分で調べたことと JA めむろを訪問して知ったことをまとめる。	【思・判・表】 ・自分で考えたことや訪問を通して知り得たことをまとめ、地域産業との関連について考えることができる。
7 ～ 10	探究	◆芽室町では、農産物でどのようなものが作られ、出荷されているかを知ろう。 ○農産物加工工場を見学し、どのようなものが作られているかを確認する。	【態度】 ・農産物加工工場について興味や関心も持ち、意欲的に説明を聞こうとしている。
11 ～ 12	提案	◆農産物加工工場の見学で、新しく知った内容をまとめ、今後について考えよう。 ○農産物加工工場の見学で知ったことをまとめ、考察し、今後の農産物加工について考える。	【思・判・表】【態度】 ・芽室町の農産物とそれを加工し流通するシステムの良さを考え、発信するスキルを身につける。 ・芽室町の農業と農産物加工について意欲的に考察したり自ら提案したりしている。
13 ～ 15	探究	◆芽室町の農業を体験しよう。 ○実際の農業を体験する。	【態度】 ・農作物がどのように作られ流通しているかに考えをめぐらせ、食のありがたみを実感することができる。

1 6 5 1 8	提案	◆今後の芽室町の農業について考えよう。 ○Chromebook を活用し、体験を通しての感想をまとめ、考察をグループでまとめる。	【思・判・表】 ・体験を通して学んだことやこれからの地域産業の生かせる方法を考え、まとめることができる。
1 9 5 2 2	発信	◆考えを交流しよう ○グループごとに発表し、交流を図る。	【思・判・表】 【態度】 ・自分たちの考えや思いを効果的に発表するスキルを身につける。 ・他のグループの発表に関心を持ったり共感したりする態度がある。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西中学校
「めむろ新嵐山スカイパーク」の魅力を効果的に伝えよう		学 年	2年
		児童(生徒)数	51名
		授業者	担任・副担任
(1) 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○「めむろ新嵐山スカイパーク」について理解する。 ○効果的な伝達方法やレイアウトの操作方法の活用を考える。		○「めむろ新嵐山スカイパーク」の魅力を調べる適切な方法を工夫する。 ○効果的かつ魅力あるまとめについて考える。	○資料を基に、自分の考えや意見を持つことができる。 ○現在の状況を理解し、課題や将来の展望も含めて考えることができる。
(2) 探究・提案・発信型学習の具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
○資料やHPから「新嵐山スカイパーク」について調べる。 ○既存の資料で解決できなかった疑問を施設の職員に質問し、さらに考えを深める。		○「新嵐山スカイパーク」の魅力を伝えるためにはどのような方法が効果的を考える。 ○「新嵐山スカイパーク」の現在の課題と今後について考える。	○ポスターやリーフレット・動画などで「新嵐山スカイパーク」の魅力を発信する。 ○まとめた資料を効果的に活用するためにはどのような場所が適切かを考える。
(3) 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究	◆「新嵐山スカイパーク」の施設について知ろう。 ○アンケート結果をもとに「新嵐山スカイパーク」施設や様子をクロームブックで調べる。	【知・技】 ・「新嵐山スカイパーク」施設について、知ることができた。
2 ～ 4	探究	◆まとめの方法を考えよう。 ○「新嵐山スカイパーク」の魅力を伝える方法を考え、活動グループを作り、役割分担をする。	【思・判・表】 ・完成したものをイメージしながら効果的な方法を考えることができた。
5 ～ 6	提案	◆充実した活動にするために活動内容を考える。 ○安全かつ充実した活動にするために、生活班ごとにルールや役割を考える。	【思・判・表】 ・集団での校外活動に必要なルールや役割を考えることができた。
7 ～ 12	探究	◆「新嵐山スカイパーク」を体験しよう ○「新嵐山スカイパーク」の施設を実際に利用し、まとめ学習に必要な情報を収集する。	【思・判・表】 ・必要な情報や写真・取材ができた。

1 3 5 1 8	探究 発信	◆「新嵐山スカイパーク」の魅力を伝えよう ○写真や取材資料をもとに、それぞれの方法で効果的に「新嵐山スカイパーク」の魅力を伝えることができるものを作る。	【知・技】 【思・判・表】 ・「新嵐山スカイパーク」の施設について理解している。 ・資料を効果的に活用し、目的にそったまとめ資料を作成できた。
1 9 ・ 2 0	発信 提案	◆「新嵐山スカイパーク」の魅力を伝えよう ○自分たちの作った資料をもとに、「新嵐山スカイパーク」の魅力を紹介する。 ○「新嵐山スカイパーク」の今後について、考える。	【思・判・表】 【態度】 ・自分たちの作った資料を適切に活用し、説明できた。 ・体験や学習を通して、今後の「新嵐山スカイパーク」について考えることができた。

めむろ未来学（社会科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西中学校
第2章 日本の地域的特色と地域区分 7節 北海道地方		学 年	2年
		生徒数	51名
		授業者	橋本 卓也
(1) 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 北海道地方の地域的特色や地域的課題を理解させる。 - 自然環境を中核とした考察で取り上げた特色ある事象と、そこで生ずる課題を理解する。		北海道地方において、自然環境を利用した産業や、そこで生ずる課題を多面的・多角的に考察し、表現させる。	北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。
(2) 探究・提案・発信型学習の具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
十勝（芽室）と北海道の各地域を比較することで共通点や特色に気づく。		十勝（芽室）や北海道の各地域が抱える課題に対してのよりよい対応方法を考え、まとめる。	十勝（芽室）や北海道の各地域の魅力を伝え合う。
(3) 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究	◆十勝（芽室）と比較しながら、北海道地方の各地域の地形・気候の特色を理解しよう ○十勝（芽室）と北海道の他都市の雨温図や地形図を比べることで、北海道の地域的な特色を概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。	【知・技】 広大な面積，冷帯の気候，盛んな農業など北海道の特色を理解している。
2・3	探究 提案	◆厳しい自然や社会の変化を乗り越える人々の工夫や努力を考えよう ○厳しい自然環境の中で，十勝（芽室）ではどんな工夫や努力を行っているのか理解する。 ○今後の十勝（芽室）の農業の在り方について，国際競争と地産地消の視点から考察する。	【知・技】【思・判・表】 - 冬の寒さや自然環境を利用した産業が行われていることを理解している。 - 北海道の課題に対して，どのように対応すべきか考察している。
4	提案 発信	◆北海道地方の学習をふり返ろう ○自然環境を中核とした考察の仕方，十勝（芽室）の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返る。	【思・判・表】【態度】 - 多くの農産物を出荷，観光客を引きつけている理由を考察している。 - なぜ，たくさんの農産物を出荷したり，観光客を引きつけたりしているのかについて，学習を振り返り，粘り強く追究しようとしている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西中学校
修学旅行を通して、芽室について見つめなおそう		学 年	3年
		生徒数	38名
		授業者	担任・副担任
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 芽室について理解を深める。 - 函館での自主研修から芽室との共通点や相違点を理解する。 - アンケート調査から芽室の現状について理解する。		- 芽室の特徴をパンフレットにまとめることができる。 - 自主研修で体験した街の良さや特徴を捉え、感想とともにまとめることができる。 - アンケート調査から芽室の現状と課題について考察する。	- 芽室を積極的に紹介しようとしている。 - より良い街にする方策を自分ごととして考え、取り組もうとしている。
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 芽室はどのようなところなのか。 - 芽室と函館の共通点や特色は何か。		芽室の良さを知ってもらうには、どのような方法が効果的か考え紹介する。（パンフレットの作成、紹介方法の工夫）	函館での学びや芽室の良さを知ってもらう。
（３） 単元の指導と評価の計画（全9時間）			
時間	探究提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 ～ 2	探究 提案	◆芽室について調べ、まとめよう ○Chromebook を活用し、芽室について調べ、パンフレットやアンケート用紙を作成する。	【知・技】【思・判・表】 ・芽室について自分で課題を設定し、調べることができた。 ・芽室のパンフレットとアンケートを作成することができた。
3 ～ 4	探究	◆函館について調べ、自主研修計画を立てよう ○Chromebook を活用し、函館について調べ、グループごとに自主研修の計画を立てる。	【知・技】 ・芽室について自分で課題を設定し、調べることができた。
5 ～ 6	提案	◆自主研修と函館でアンケート調査をしよう ○作成したアンケートで芽室の知名度を調査し、パンフレットを使い芽室の紹介する。	【態度】 ・芽室について意欲的に調査、紹介しようとしている。
7 ～ 8	探究	◆自主研修の学びと調査結果をまとめよう ○函館での学びや体験の感想、調査結果の集約、芽室との共通点や相違点をまとめる。	【思・判・表】 ・自主研修で学んだことや調査結果からこれからの芽室に生かせることを考え、まとめる。
9	発信	◆考えを交流しよう ○まとめたことを発表し、芽室について再発見したことを交流する。	【思・判・表】 ・自分の考えや思いを効果的に発表することができた。

めむろ未来学（総合的な学習の時間）				単元指導計画	
単 元 名			学校名	芽室西中学校	
芽室の開拓とアイヌの人々について学ぼう			学 年	3年	
			生徒数	38名	
			授業者	担任・副担任	
（１） 単元の目標					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・芽室の開拓の歴史について理解する。 ・アイヌの人々の生活について資料や説明から理解する。		・芽室の開拓やアイヌの文化について、情報をあつめ整理し考えることができる。 ・学んだことや自分の考えを表現することができる。		・芽室について学んだことをもとに、こらかの発展について考えようとしている。 ・アイヌの文化に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。	
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て					
探究型の学び		提案型の学び		発信型の学び	
・芽室の開拓はどう進んだのか。 ・アイヌの人々はどのような文化をもっていたのか。		・芽室の開拓やアイヌの文化人を知ってもらうには、どのような方法が効果的か。		・芽室の開拓やアイヌの文化について伝え、知ってもらう。	
（３） 単元の指導と評価の計画（全8時間）					
時間	探究提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）		評価の観点【 】 評価規準	
1 ～ 2	探究	◆芽室の開拓とアイヌの人々の関わりについて調べよう ○Chromebook を活用し、芽室の開拓やアイヌの人々について調べる。		【知・技】 ・芽室の開拓やアイヌの人々について自分で課題を設定し、調べることができた。	
3	探究	◆アイヌの人々の生活について理解を深めよう（外部講師による出前授業） ○学芸員の方の説明から、アイヌの人々の生活や、ウポポイの見どころを学ぶ。		【態度】 ・アイヌの人々の生活を学ぶことで、ウポポイの施設見学について関心をもつことができた。	
4 ～ 5	探究	◆ウポポイの見学・体験からアイヌの人々の文化について触れよう（修学旅行） ○ウポポイを見学しアイヌの文化を実際に体験することで学びを深める。		【思・判・表】 ・ウポポイの見学・体験を通して、これまで学習してきたことを確認し、考えを深めることができた。	
6 ～ 7	提案	◆ウポポイでの学びをまとめよう ○見学・体験を通しての学びや感想をまとめる。		【思・判・表】 ・ウポポイで学んだこと、体験したことをまとめる。	
8	発信	◆考えを交流しよう ○まとめたことをもとに発表し、交流する。		【思・判・表】 ・自分の考えや思いを効果的に発表することができた。	

めむろ未来学（社会科） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西中学校
現代の民主政治と社会 「地方自治と私たち」		学 年	3年
		児童(生徒)数	38名
		授業者	掛水 成幸
(1) 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解する。		民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察する。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。
(2) 探究・提案・発信型学習の具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
北海道や芽室町の役割や取組、課題等を、各 HP 等の情報から調べる。		北海道や芽室町の活動と持続可能な発展とを関連させて考える。	- 考えたことを学級内で交流し考えを深める。 - 学習内容を新聞にまとめる。
(3) 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探究提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究 提案	◆「芽室町」について知ろう。 ○町の役割を理解し、持続可能な社会づくりに向けて、調べることや、考察を通して、主体的に社会に関わろうとする。	【知・技】【態度】 - 地方公共団体の役割を理解する。 - 持続可能な社会づくりに向けて、調べることや、考察を通して、主体的に社会に関わろうとする。
2	探究	◆「芽室町」の政治について知ろう。 ○「芽室町」の町長や議会について、HP 等で調べる。	【知・技】【思・判・表】 - 地方自治の仕組みを理解する。 - 地方自治での二代表制の特徴を、国の政治との違いに着目して考察する。
3	探究 提案	◆「芽室町」の課題について考えよう。 ○「芽室町」の課題について、新聞等を活用し、どのような課題があり、どのような取り組みがあるのか考える。	【知・技】【思・判・表】 - 地方公共団体の課題を理解する。 - 地方公共団体の課題を調べ、解決のためにできることを考察する。
16 4	提案 発信	◆私たちはどのように参加できるのか考えよう。 ○住民の声を生かすために、町・私たちはどうしたらよいのか考える。	【知・技】【思・判・表】 - 住民が地方公共団体の政治に参加する方法を理解する。 - 住民の声を生かした政治をするために、どのような取り組みが必要か考察する。

令和4年度めむろ未来学検証授業のまとめ - 芽室中学校校区 -

大好き芽室プロジェクト

芽室小学校 4学年 106人 4学年担任団

【単元の目標】

- ・調べたいことについてインターネットやパンフレットなどを活用し、調べることができる。(知識・技能)
- ・調べたことをタブレットや壁新聞、リーフレットなど自分の表現したい方法でまとめることができる。(知識・技能)
- ・まとめたことをみんなに伝えることができる。(知識・技能)
- ・芽室町の「良い物（特産物や観光地）」について知ろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・知りたい情報、大事な情報を選別することができる。(思考・判断・表現)
- ・読み手に伝わりやすく工夫してまとめることができている。(思考・判断・表現)
- ・芽室町の良いと思うところや素晴らしいところを見つけることができる。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・調べ方を自分で決め、主体的に探求することができる。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・表現方法を自分で決め、相手によりよく伝わるように工夫してまとめようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

【探究・提案・発信型学びの具体】

探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び
・調べてみたい、体験してみたいことを調べたり、地域の方から教わったりして、より意欲を高める。	・調べてわかったことや発見したことを既習の国語など他教科で学習したことを生かしてまとめる。	・聞いている相手に向けて、自分たちの考えや思いが伝わるように発表する。

【単元指導計画】 本時17／18時間

時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な活動（○）	評価の観点【 】評価規準
1	探究	◆芽室について調べよう ○芽室について知っている「場所」や「モノ」、「人」について調べ整理する。	【態度】 ・芽室町について、自分の生活や町の様子を思い浮かべ、調べようとしている。
2 ・ 3	提案 発信	◆グループを決めて、テーマを決めよう ○整理した内容の中から、詳しく調べてみたいものを決める。 ○自分が調べたことのないものを選ぶ。 ○芽室町の自慢になるポイントを探して調べる。	【思考・判断・表現】 ・内容の中から、自分がどの課題にするか決める。
4	探究	◆調べ方を確認する ○タブレットの使い方や、インターネットの検索の仕方を確認する。	【知識・技能】 ・タブレットやインターネットの使い方を理解することができる。
5 ・ 8	探究	◆調べよう ○調べたいことについて情報を得る。 ○調べた情報の中から、気になることや知りたいことを整理する。	【思考・判断・表現】 ・気になることやわからないことを調べようとする。 ・インターネットで調べることができる。
9 ・ 10	提案	◆見学しに行こう ○あらかじめ質問の内容を決めておく。 ○調べたい場所へ行き、知りたいことを町や店の人にインタビューしてより詳しく調べる。	【思考・判断・表現】 ・質問したいことや、気になっていることをまとめる。

11 ・ 16.	提案	◆まとめよう ○タブレット、壁新聞、リーフレット、ポスター等、今まで国語で学習した方法などを選択肢の一つとして、児童が表現したい方法を選び、グループでまとめていく。 ○レイアウトや見出しなど、見る人にわかりやすく、伝えたいことがすぐにわかるように意識してまとめていく。 ○芽室だからこそ自慢できるポイントをおさえてまとめていく。 ○調べていく過程で、自分たちの芽室に対する思いがどのように変容していったのか、意識させながらまとめる。	【思考・判断・表現】 ・伝えたいことを明確にし、まとめようとする。 【知識・技能】 ・レイアウトや色などを工夫してわかりやすくまとめることができる。
17. ・ 18.	発信 提案	◆発表しよう ○発表原稿を作り、より効果的に発表できるように準備する。 ○発表の練習をする。 ○まとめたものを友達に発表する。 ○友達の発表を聞いて、質問したいことや感想などを言って、発表者と聞き手で交流し合う。	【思考・判断・表現】 ・発表の仕方において他者に向けて伝えるように工夫している。 【態度】 ・たくさんの発表を聞き、芽室についてさらに興味をもつ。

【当日の様子】

芽室町の自慢できるポイントをグループごとに発表しました



〈事後アンケートから〉



〈記述から〉

- ・楽しく、意欲的に活動したことが感じられる発表が多かった。資料を作成する際にも、タブレット操作を楽しんでいた様子が想像できた。
 - ・町内でも、行ったことのない施設やお店が多かった様子だった。発表を聞いて行ってみたい児童が多かった。
 - ・コロナの影響で、十分な取材とはいかなかったが、タブレットを使うことで、調べ活動を補うことができた。
 - ・子どもたちで「そうだったか!」「知らなかった!」という反応がたくさんあった。
- 〈まとめ〉
- ・取材にあたり地域の皆さんがあたたかく受け入れてくださり、また、親切に教えてくださったことが、子どもたちにとって芽室を知り、愛着をもつよいきっかけになったと思う。
 - ・大人は知っていることも、子どもにとっては一つ一つが未知であり、新たな発見が町の魅力発見につながった。

令和4年度めむろ未来学検証授業のまとめ - 芽室中学校区 -

芽室の魅力再発見！

～新嵐山を散策して芽室町の観光を提案しよう～

芽室中学校 1学年 125人 1学年担任団

【単元の目標】

- ・学習したことを発信するために簡単な資料とともに音声で発表する力を身に付けている。（知識・技能）
- ・出前講座などを基に、地域の現状や課題についての情報を集め、まとめることができる。（知識・技能）
- ・学習内容を発信する際に、どのようなことに気を付けて発表すればよいかについて考えている。（思考・判断・表現）
- ・自分が生活している身近な地域の魅力や強みについて自分なりの考えを形成し、観光プランの形で表現することができる。（思考・判断・表現）
- ・課題解決に向けて、自分のよさを発揮し、主体的に探究しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

【探究・提案・発信型学びの具体】

探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び
・芽室町の観光資源、食の特徴を外部講師の講話から知り、野外学習 当日の散策等を通して、町の魅力を見付けられるようにする。	・外部講師の講話や見学等を通して学んだことを生かして、自分なりの観光プランを考えさせる。	・外部講師、保護者、地域の人々、友達に自分の考えを簡単な資料を使って分かりやすく発表する機会を設ける。

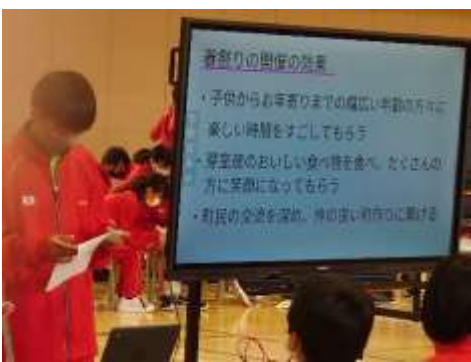
【単元指導計画】 本時10／10時間

時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】評価規準
1		◆今までの生活を通して芽室町にはどのような魅力があるかを考え、探究課題を立てよう。 ○芽室町について学んだことやよさ・強みを挙げてみる。 ○探究課題を確認し、今後の学習についての見通しをもつ。	【態度】 ・今までの生活を生かし、課題を主体的に立てようとしている。（ワークシート）
2・3	探究	◆外部講師の講話を聴き、芽室町の強みを整理してみよう。 ○芽室町の観光（サイクルツーリズム、新嵐山）、食（とうもろこし等）について外部講師から具体的に学ぶ ○講師の講話を基に、芽室町の強みを整理する。	【知識・技能】 ・出前講座などを基に、地域の現状や課題についての情報を集め、まとめることができる。
4・5	探究	◆新嵐山を実際に散策したり、見学したりしながら、芽室町の観光に生かせるところはないかを考えて見よう。 ○外部講師と共に新嵐山を散策・見学する。 ○分かったことをワークシートにまとめる。	【知識・技能】 ・散策や見学で得た情報を分かりやすくまとめることができる。（ワークシート）
6～9	発信 提案	◆今まで学んだことを基に芽室町の観光プランを立てよう。 ○町外から来た観光客に芽室町の魅力が伝わるためにはどんなプランを立てたらよいかを考えよう。 ○グループでスライド作成の分担を決め、スライドをつくろう。	【思考・判断・表現】 ・自分が生活している身近な地域の魅力や強みについて自分なりの考えを形成し、観光プランの形で表現することができる。知識・技

10	発信型	◆スライドを活用して、保護者や地域の人々に自分たちが考えた芽室町の観光プランを発表しよう。 ○自分たちで考えた観光プランを分かりやすく伝えよう。 ○今までの学習を基に、芽室町の魅力や強みを自分なりに考え、まとめよう。	【思考・判断・表現】 ・学習内容を発信する際に、どのようなことに気を付けて発表すればよいかについて考えている。
----	-----	--	--

【当日の様子】

新嵐山の魅力を powerpoint で発表し、交流しました。



〈事後アンケートから〉



〈記述から〉

- ・野外学習と地域学習を合わせた企画になりました。講師の方からのお話と新嵐山で学び、施設の方のお話から子どもたちが上手に必要なことを学びとり、自分達のできる最大値を出してくれたからこの発表内容になったと思う。
- ・自分達の身近にあった嵐山について、改めて知ることがあったみたいで、大変良かったと思いました。
- ・ただ有名なものを調べて、載せるだけでなく、他町村の取組や成功例なども資料として（根拠を示し）どのように芽室町に反映していけるか、などを盛り込めたらより一層深みのある内容になったと思います。

〈まとめ〉

- ・実際に体験したことから改善点を考えて提案する、町づくりに自ら関わっていこうという意識づけになったのではないだろうか。

令和4年度めむろ未来学検証授業のまとめ - 芽室中学校区 -

スポットCMを作ろう

芽室南小学校 5年1組 16人 担任：山田 洋

- 【単元の目標】
- ・探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識および技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習の良さを理解するようにする。(知識・技能)
 - ・実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。(思考・判断・表現)
 - ・探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。(主体的に学習に取り組む態度)

【探究・提案・発信型学びの具体】

探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び
・「町じまん」の取り組みをもととして、必要な資料を探したり調べたりする。 ・動画作成に必要な技能を身につける。	・スポットCMに盛り込む内容や、その構成などを考え、友達との意見交換を通してより良い内容になるように検討する。	・作成したスポットCMを交流し、内容・構成について意見交換をおこなう。

【単元の指導計画】 本時4／6時間

時間	探求 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探求	◆スポットCMを作ろう ○スポットCMについて知る。 ○スポットCMに盛り込む内容を決める。 ○例を見ながら、作る時に気をつける点を考える。 ※「町じまん」で扱った物のPRではなく、それらを通して芽室町をPRするというねらいを明確にする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇学習活動についての見通しを持ち、「町じまん」の候補を発表している。
2	探求	◆資料をそろえよう ○必要になりそうな画像資料を探す。 ○内容の順番や、大体の時間配分を決める。	【知識・技能】 ◇自分が必要とする内容に適した資料を選び、収集している。
3 4	探求 提案	◆シナリオを書く ○調べたことをもとに画像に合わせたシナリオを書き、お互いに読み合うなどして修正する。	【思考・判断・表現】 ◇魅力を伝える表現に気をつけながら、シナリオ作りに取り組んでいる。
5	探求	◆CMを作ろう ○クロムブックを使い、必要なページを作成する。 ○時間配分に合わせて、リハーサルをする。	【知識・技能】 ◇画像資料の貼り付け・アニメーションの設定などに取り組んでいる。
6	発信	◆CMを見せ合おう ○お互いのCMを見て、評価し合う。 ○取り組みをふり返り、自己評価をおこなう。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇自己評価・相互評価を通して、お互いのよさをとらえようとしている。

【当日の様子】

芽室の魅力を伝える表現を考え、交流しました。



〈事後アンケートから〉



〈記述から〉

- ・それぞれのシナリオが発表されて、よりよく修正されていくと思うので、次時の授業がとても見たかったです。子どもたちは意欲的に取り組んでいることが伝わりました。
 - ・調べたことを「発表する」ということではなく、「PRする」という発信の形にすることで、目的意識も生まれ、芽室中学校の1・2年生で実践している内容と繋がると感じました。
 - ・交流では、率直な感想、意見が交流され、改善点を見つけられた児童が多い。この後、修正されて、よりよいものとなっていくことが想像できる。
 - ・伝えたい内容（テーマ）について調べたことを、どう効果的に伝えるかということを検討させているのが良い。交流では、率直な感想、意見が交わされ改善点が見つけれられた子が多い。この後、よりよいものとなっていくことが想像できる。
- 〈まとめ〉
- ・自分の感じている芽室町の魅力を発信するということで、これまで知っていた芽室町より、深く調べ、新しい発信に繋がる授業だった。
 - ・本単元のような積み重ねが「ふるさとに愛着と誇りをもつ児童」の育成に繋がると考えられる。

令和4年度めむろ未来学検証授業のまとめ

- 上美生中学校区 -

地域とのかかわり（農園活動）

上美生小学校3・4学年 12人 担任：土屋 朝美

【単元の目標】		
・地域の農産物を育て、自然や環境について体感する。（知識・技能）		
・地域の農家にインタビューを行い、農作物や乳牛を育てるために必要な仕事について知る。（知識・技能）		
・作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、調べたことをもとに、状況を考えながら栽培する。（思考・判断・表現）		
・農家の人の苦労や喜びを知り、感想をもつ。（思考・判断・表現）		
・作物の成長を楽しみながら、目的意識を持ち、意欲的に取り組む。（主体的に学習に取り組む態度）		
・身近な人と力を合わせ活動に取り組む。（主体的に学習に取り組む態度）		
・地域の農業に関心をもち、知りたいことを進んで質問をする。（主体的に学習に取り組む態度）		
【探究・提案・発信型学びの具体】		
探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び
・地域の産業を知り、栽培や飼育をするために必要な仕事について知る。	・インタビューや活動を通しての結果や発見を、今までの観察記録やまとめをもとに、自分なりに分析・整理しまとめる。	・農家の方にインタビューした内容や感想をまとめて発表し交流する。
・より良い栽培方法や作業工程、成長過程での気づき（疑問）について調べ、調べたことを活用し、意欲的に観察する。	・グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	・全校での収穫祭を通して、地域の良さや採れた作物のおいしさについて実感し合い、学習の成果を交流し合う。

【単元指導計画】		本時15／20時間	
時間	探求 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1・2	探究	◆課題の設定 ○上美生の農業や農産物について知り、栽培するものを決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。【思・判・表】 ●地域の農業について関心をもつ。【態度】
3・4	探究	◆課題解決・見通す ○栽培方法や地域の農業について調べる。 「Chromebook」の活用 ○作物を植える。	●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てることができる。【思・判・表】
6～9	探究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し記録する。 ○農家への質問を考えまとめる。 ○計画の振り返り。「Chromebookの活用」	●作物の生長について観察してわかったことを記録することができる。（知・技） ●農家の仕事について知りたいことをまとめたり、成長過程を楽しみにしながら栽培活動に取り組んだりすることができる。【態度】
10・11	探究	◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理する。 ○農家の人にインタビューする。	●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持つことができる。【思・判・表】 ●農家の仕事に関心をもちながら、進んで質問することができる。【態度】
12～14	提案	◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。 ○農家の人にインタビューしたことをまとめる。	●作物の収穫に意欲的に取り組んだり、インタビューした内容を進んでまとめたりする。【態度】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。【知・技】
15～17	発信	◆まとめる ○作物を調理する。（全校活動） ○活動のふり返りをする。（学級） ○農家の方にインタビューした内容や感想をまとめる。	●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】 ●活動をふり返り、良かった点や反省点、感想を考え、まとめることができる。【思・判・表】

18～19	発信	◆伝える ○発表に向けて準備する。 ○発表会を行う。 「Chromebookの活用」	●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えながら、友達の発表をしっかりと聴きながら考えることができる。【思考・判断・表現】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】
20	提案	◆振り返り ○活動をふり返り、次年度の取組を考える。	●達成できたことなどをふり返ることができる。【思考・判断・表現】 ●ふり返りをもとに次年度への課題を見つけることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

【当日の様子】 検証授業では、収穫した育てた作物を、地域の方々といっしょに調理しました。



〈事後アンケートから〉



〈記述から〉

- ・普段の学びだけでは得がたい経験（火おこし、薪割り）もでき、日常生活の便利さや昔の人々の苦労などにも思いを馳せることができた。
- ・自分たちで育て収穫し、調理したカレーライスのおいしさをみんなで味わうことができ良かった。
- ・ふだん食事を作ってくれる家族、給食センターの方々、食材を作ってくれる方に感謝できるようになるといいですね。

〈まとめ〉

- ・地域の方やコーディネータにも協力をいただき、児童の主体的な活動となった。
- ・身近な農業について、体験を通して興味関心を抱き、探究、提案、発信の学びへ繋がられた。

令和4年度めむろ未来学検証授業のまとめ - 上美生中学校区 -

芽室町の農業を知る ～長いも事典をつくろう～

上美生中学校 1学年 5人 担任：卯月 しおり

【単元の目標】

- 芽室町の農業の特徴や主な生産物について理解する。(知識・技能)
- 収穫体験を通じて農業や農産物への理解を深め、芽室町の農業が食を支え、地域を支えていることに気づく。(知識・技能)
- 芽室町の農業や農産物について、働いている方から聞いた話をもとに自分自身で課題を設定し、見通しをもつことができる。(思考・判断・表現)
- 目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりすることができる。(思考・判断・表現)
- 芽室町の基幹産業である農業について関心をもち、自身の生活との関わりについて積極的に考えようとする。(主体的に学習に取り組む態度)
- 芽室町を支える農業や農産物について、学んだことの中から伝えたいことを明確にして、学習のまとめの事典を作成しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

【探究・提案・発信型学びの具体】

探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び
・長いも掘り体験を通して、芽室町の特産物がどのように生産されているかを理解し、農業の果たす役割や地域との関わりについて探求する。	・生産者の方の話を聞き、事典を作成する際のテーマを決める。	・収穫体験やインタビューを通して新たに学んだことを整理・分析し、Chromebookを利用して事典にまとめる。

【単元指導計画】 本時7／7時間

時間	探求 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探求	◆芽室町の農業について知ろう。 ○芽室町の農業の特徴や主な生産物について Chromebook を活用して調べ、理解を深める。 ○長芋掘り体験時に質問する内容を考える。	【知・技】 ・芽室町の農業の特徴や主な生産物について理解している。 【態度】 ・芽室町の基幹産業である農業について関心をもち、自身の生活との関わりについて積極的に考えようとしている。
2 ・ 3	探求	◆農業についての理解を深めよう。 ○長芋掘り体験から収穫までの流れや収穫方法の種類について学び、収穫された作物がどのようにして食卓に届くのかを理解する。	【知・技】 ・収穫体験を通じて農業への理解を深め、芽室町の農業が食を支え、地域を支えていることに気づいている。
4 ・ 7	提案 発信	◆芽室町の農業についてまとめ、発信しよう。 ○収穫体験やインタビューを通して感じたことを2班に分かれて整理・分析する。 ○班ごとに Chromebook を活用し、スライドを用いてまとめる。	【思・判・表】 ・芽室町の農業や農産物について、働いている方から聞いた話を通して自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。 ・目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。

※パンフレットは中学校近隣の店舗 KAMIBI に設置させていただき、店舗を利用する近隣住民の方に見ていただく。

【態度】

- 芽室町を支える農業や農産物について、学んだことの中から伝えたいことを明確にして、学習のまとめの事典を作成しようとしている。

【当日の様子】 長芋について調べたことをスライドにまとめ発表しました。



みんなのお店 KAMIBI の店員さんに「長いも事典」をわたしました。



〈事後アンケートから〉



〈記述から〉

- 授業者としては、インタビューの時間、まとめの時間をもう少しとって、まとめの内容を充実させたいところでした。
 - 発表する姿が堂々としていて良かった。自信を持って学校生活を過ごしていることが伝わりました。
 - 発信先は KAMIBI だけではなく、HP に載せるなどの方法をとると広がると思いました。
 - 小中連携という視点からも有意義な授業交流でした。小学校でできることをさらに検討したい。
- 〈まとめ〉
- めむろ未来学という視点から、芽室町で生産している「長いも」について調べ、長いも掘りを体験し、みんなのお店 KAMIBI に長いも事典を渡すなど、芽室町を活用した学びとなった。

令和4年度めむろ未来学検証授業のまとめ - 芽西中学校校区 -

おとしよりとふれあおう

芽室西小学校 3学年 60人 担任：高木 裕介・小野 泰雅

- 【単元の目標】
- ・「福祉」とは、どんなことなのかを理解する。（知識・技能）
 - ・「認知症」について理解する。（知識・技能）
 - ・自分たちと体の不自由な人たちとの違いについて考え、今、自分たちにできることはどんなことなのかを考える。（思考・判断・表現）
 - ・お年寄りや体の不自由な人たちに関心を持ち、自分にできることを積極的に考えようとする。（思考・判断・表現）
 - ・自分が学んだことを家族や他学年の児童に伝えようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

【探究・提案・発信型学びの具体】

探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び
・いろいろな人の考えを認め、みんなが自分らしくいきいきとくらししていくためには、どんなことができるかを探究する。	・りらく訪問や認知症サポーター講座から、知っていれば自分たちでもできることがあるということを提案する。	・りらく訪問や認知サポーター講座から、学んだことや自分たちができることを Chromebook を使ってまとめ、発表する。

【単元指導計画】

本時12／16時間

時間	探究提案発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1～3	探究	◆ふくしについて考えよう。 ○自分が知っていることを発表する。 ○ちがいについて考え、ふくしとはどういうことなのかを考え、理解する。	【知・技】【思・判・表】 ・ちがいや相手の考えを認めることができる。 ・ふくしの意味について理解できる
4	提案	◆不自由について考え、自分たちができることを考えよう。 ○自分たちの体と不自由な体の違いについて考え、不自由な人にどんなことができるかを考えよう。	【思・判・表】 ・自分の体が不自由な体になるとどうなるのかを考え、自分ができることはないか考えることができる。
5～8	探究	◆りらく訪問の準備をしよう。 ○交流で発表する内容を決める。 ○グループごとに発表の練習をする。 ○質問の内容を考える。	【思・判・表】【態度】 ・相手を意識した発表内容や質問を考えようとしている。 ・グループで協力しながら練習をすることができる。
9～11	探究	◆りらく訪問をしよう。 ○グループごとに発表する。 ○グループごとにお話しをする。 ○施設の様子について見学し、気がついたことを記録する。	【思・判・表】【態度】 ・自分から施設利用者さんに話しかけようとしている。 ・気がついたことを記録することができる。
12～14	探究発信	◆認知症サポーター講座 *講師 ○認知症について理解する。 ○認知症の方やお年寄りに接するときに気を付けることがわかる。 ○認知症について学んだことをお家の人に伝える。	【知・技】【態度】 ・講師の話を意欲的に聞こうとしている。 ・認知症について理解できたか。 ・学んだことをお家の人に伝えようとしているか。

15・16	発信	◆まとめよう。 ○体験して学んだことをまとめる。 ○自分が学んだことを家族や他学年の児童にも知ってもらえるように、まとめたものを発表する。 Chromebook の活用	【思・判・表】【態度】 ・体験を通して、これからお年寄りや体の不自由な人とどのように関わっていけばいいのか。考えをまとめることができる。 ・Chromebookを活用しながらまとめることができる。
-------	----	---	--

【当日の様子】

出前授業「認知症サポーター講座」の講師の方にわかりやすく説明していただきました。



〈事後アンケートから〉



〈記述から〉

- ・本来は、この学習後に「りらく訪問」を計画に入れたところだったがコロナ禍では無理であり、認知症を学習するところまでの学習計画になった。「めむろ未来学」の観点、地域との関わりがうすくなってしまった。しかし、芽室町で暮らす上で、色々な人と関わるといことを考えると少しは未来学につながったのではないかと思います。
- ・地域と直接関係していないが、大きな視点で見ると、未来の芽室のことも考えられる授業だったと思う。講師の方の話方や「記憶のつぼ」などの工夫がよかったと思う。
- ・町内在住の講師により、親近感がより深まった。
- ・まちの人の講師、まちのデータや情報を使った授業は教科に取り入れるヒントになる。

〈まとめ〉

- ・「地域の教育資源を活用した」ということでは、「認知症サポーター養成講座」の出前授業良かったと思います。授業の最初に芽室町の高齢者についての話をしていただいたことに加えて、最後に自分が考える芽室町の福祉についてなどの振り返りがあるとめむろ未来学に沿うのではないかと思います。

令和4年度めむろ未来学検証授業のまとめ - 芽西中学校区 -

めむろ新嵐山スカイパークの魅力を効果的に伝えよう!!

芽室西中学校 2学年 51人 担任：小林 京子・伊藤 史郎

【単元の目標】

- ・「めむろ新嵐山スカイパーク」について理解する。(知識・理解)
- ・効果的な伝達方法やレイアウトの操作方法の活用を考える。(知識・技能)
- ・「めむろ新嵐山スカパークの魅力」を調べる適切な方法を工夫する。(思考・判断・表現)
- ・効果的かつ魅力あるまとめについて考える。(思考・判断・表現)
- ・資料を基に、自分の考えや意見を持つことができる。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・現在の状況を理解し、課題や将来の展望も含めて考えることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

【探究・提案・発信型学びの具体】

探究型の学び	提案型の学び	発信型の学び
・資料やHPから「新嵐山スカイパーク」の現有施設について調べる。 ・既存の資料で解決できなかった疑問を施設の職員に質問し、さらに考えを深める。	・「新嵐山スカイパーク」の魅力を伝えるためにはどのような方法が効果的を考える。 ・「新嵐山スカパーク」の現在の課題と今後について考える。	・ポスターやリーフレット・動画などで「新嵐山スカイパーク」の魅力を発信する。 ・まとめた資料を効果的に活用するためにはどのような場所が適切かを考える。

【単元指導計画】

本時19／20時間

時間	探求 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究	◆「新嵐山スカイパーク」の施設について知ろう。 ○アンケート結果をもとに「新嵐山スカイパーク」の施設や様子をクロームブックで調べる。	「新嵐山スカイパーク」施設について、知ることができた。【知識・技能】
2 ～ 4	探究	◆まとめの方法を考えよう。 ○「新嵐山スカイパーク」の魅力を伝える方法を考え、活動グループを作り、役割分担をする。	完成したものをイメージしながら効果的な方法を考えることができた。【思考・判断・表現】
5 ～ 6	提案	◆充実した活動にするために活動内容を考える。 ○安全かつ充実した活動にするために、生活班ごとにルールや役割を考える。	集団での校外活動に必要なルールや役割を考えることができた【思考】
7 ～ 12	探究	◆「新嵐山スカイパーク」を体験しよう ○新嵐山スカパーの施設を実際に利用し、まとめ学習に必要な情報を収集する。	必要な情報や写真・取材ができた。(思考・判断・表現)
13 ～ 18	探究 発信	◆「新嵐山スカイパークの魅力を伝えよう」 ○写真や取材資料をもとに、それぞれの方法で効果的に「新嵐山スカイパーク」の魅力を伝えることができるものを作る。	・「新嵐山スカイパーク」の施設について理解している。(知識・技能) ・資料を効果的に活用し、目的にそったまとめ資料を作成できた。(思考・判断・表現)
19 ・ 20	発信 提案	◆「新嵐山スカイパークの魅力を伝えよう」 ○自分たちの作った資料をもとに、「新嵐山スカイパーク」の魅力を紹介する。 ○「新嵐山スカイパーク」の今後について、考える。	・自分たちの作った資料を適切に活用しし、説明できた(思考・判断・表現) ・体験や学習を通して、今後の「新嵐山スカイパーク」について考えることができた。(思考・判断・表現)

【当日の様子】

体育館ステージのスクリーンに作成した映像を映して発表を行いました。



＜事後アンケートから＞



〈記述から〉

- ・生徒ひとりひとりが課題をもって芽室について学習していたと思います。ただ、パンフレットをプロジェクターで映すとせっかくまとめた文章力がわからなかったのもったいないと思いました。
 - ・本日の授業、芽室西中学校の2年生が毎年みらい学として学ぶ題材として、とてもふさわしいと思いました。欲を言えば、発信に関わって、自分達の作った資料が、いつ、どこで、誰の目に触れるのか、ゴールが定まっているとモチベーションの維持に繋がるのではと思いました。
 - ・ポスターやパンフレット、動画の作成について、生徒1人1人の個性が発揮されて良かったと思います。
 - ・中学生の話の聞き方、姿勢、落ち着きに感心してみていました。各班の資料の内容も大変素晴らしく、もっと近くでゆっくり見てみたい気持ちになりました。
 - ・発表の練習時間があれば、もっと上手に発表できたと思いました。
- 〈まとめ〉
- ・生徒が体験を基に発表していたので、新嵐山の新たな魅力を発信することができた。生徒自身も故郷の良さを感じ、愛着と誇りをもつことに繋がったと考える。
 - ・今後の課題として、発信の場を拡げられると、生徒の学習に対するモチベーションがあがり、学習したことが実社会で生かされ、真にめむろ未来学にふさわしい教育活動となると思われる。

担当者一覧（3 年分）

令和 2 年度

・教育研究所	所長	（芽室南小学校校長）	吉 本 徹
・教育研究所	副所長	（芽室西小学校教頭）	菅 原 晴 彦
・教育研究所	所員	（芽室中学校教諭）	松 本 健 二
・教育研究所	所員	（上美生中学校教諭）	大 原 卓 也
・教育研究所	所員	（芽室西中学校教諭）	小 林 京 子
・教育研究所	協力員	（芽室小学校教諭）	西 川 周 作
・教育研究所	協力員	（上美生小学校教諭）	中 山 隆
・教育研究所	協力員	（芽室西小学校教諭）	川 上 浩 樹
・教育研究所	協力員	（芽室南小学校教諭）	長 尾 和 彦

令和 3 年度

・教育研究所	所長	（芽室西小学校校長）	阿 部 立
・教育研究所	副所長	（芽室南小学校教頭）	日根野 郁 代
・教育研究所	所員	（芽室中学校教諭）	川 人 美波子
・教育研究所	所員	（上美生中学校教諭）	卯 月 しおり
・教育研究所	所員	（芽室西中学校教諭）	小 林 京 子
・教育研究所	協力員	（芽室小学校教諭）	橋 本 貴 之
・教育研究所	協力員	（上美生小学校教諭）	霜 野 美 江
・教育研究所	協力員	（芽室西小学校教諭）	浪 岡 成喜子
・教育研究所	協力員	（芽室南小学校教諭）	山 田 洋

令和 4 年度

・教育研究所	所長	（芽室西小学校校長）	阿 部 立
・教育研究所	副所長	（芽室南小学校教頭）	日根野 郁 代
・教育研究所	所員	（芽室小学校教諭）	高 橋 志 保
・教育研究所	所員	（上美生小学校教諭）	水戸部 淳
・教育研究所	所員	（芽室西小学校教諭）	岩 見 恭 子
・教育研究所	所員	（芽室南小学校教諭）	大 草 恵 輔
・教育研究所	所員	（芽室中学校教諭）	川 人 美波子
・教育研究所	所員	（上美生中学校教諭）	大 島 護
・教育研究所	所員	（芽室西中学校教諭）	掛 水 成 幸
・教育研究所	協力員	（芽室小学校教諭）	酒 井 正 明
・教育研究所	協力員	（上美生小学校教諭）	霜 野 美 江
・教育研究所	協力員	（芽室西小学校教諭）	浪 岡 成喜子
・教育研究所	協力員	（芽室南小学校教諭）	山 田 洋
・教育研究所	協力員	（芽室中学校教諭）	内 田 夕 子
・教育研究所	協力員	（上美生中学校教諭）	卯 月 しおり
・教育研究所	協力員	（芽室西中学校教諭）	小 林 京 子

「発刊にあたって」

めむろ未来学 3 年次の報告をお届けします。

今回は、2 年次報告への追録とし、各エリアにおける令和 5 年度全体計画と単元計画の追加分（小学校 12 単元、中学校 9 単元ずつ）、検証授業のまとめを綴じ込んであります。どれも各校、地域の特性や特色が生かされ、担当者の創意工夫や子どもたちへの願いが詰め込められています。作成にあたり取り組んでいただいた各校選出の研究所員、協力員はもとより、協力いただいた各校のすべての先生方に心からお礼申し上げます。

今後は、全町一斉の取り組みから、創意工夫を生かした実際の各校の取り組みに比重を移すこととなりますので、今後の新たな授業、活動の構築や改善、新展開の参考にご活用いただけると幸いです。

芽室町教育研究所所長 阿 部 立

めむろ未来学 3 / 3 年次報告

令和 5 年 3 月 9 日発行

編集者 芽室町教育研究所

発行者 芽室町教育委員会

教育長 程 野 仁